八尾市文化財調查報告14昭和61年度国庫補助事業

八尾市内遺跡昭和61年度発掘調查報告書 I

一恩智遺跡の調査一

1987.3

八尾市教育委員会

はしがき

昭和61年度に実施した文化財室の発掘調査は、範囲確認調査、立会調査も含めて、約 150件になりました。文化財保護法57条の2による届出件数は、引き続き500件を数えました。

そのうち大規模な発掘調査は、働八尾市文化財調査研究会に指示し、調査を 行いましたが、小規模な発掘調査や立会調査は、八尾市教育委員会文化財室が 担当しました。

また、生駒山地西側の恩智遺跡での範囲確認調査では、鹿の下顎に歯が付着 したものや猪の骨、土器類が出土し、縄文時代晩期にあたる2500年前の先人の 遺物が多数出土しました。

この報告書は、この1年間に取扱った発掘調査の概要ですが、先にその例を 紹介しましたように、貴重な文化遺産の資料収集ができ、後世に伝える成果の あった年だと自負しております。

本市は市域の6割が、埋蔵文化財包蔵地となっておりますが、それらの地域での調査には、多くの市民の方々や関係者のご協力がありました。この報告書を作成するにあたり、改めて厚くお礼を申しあげるものです。

八尾市教育委員会 教育長 西 **崎** 宏

例言

- 1. 本書は、八尾市教育委員会が昭和61年度国庫補助事業として実施した恩智遺跡の発掘調査 報告書である。
- 2. 発掘調査は八尾市教育委員会文化財室嶋村友子を担当者として昭和61年7月21日に着手し、 昭和61年9月15日に終了した。
- 3. 本調査に際し、石田敬司・岩見貴美子・大崎雪子・岡田清一・桂和美・杉本賀津子・杉本 尚子・高橋康史・土田雅巳・都築聡子・堤真也・富田芳久・鳥井一志・中野龍介・中村哲士 ・林賢吾・藤田徹・藤田義成・益本浩・森本啓二朗・八元聡志・吉永勉・大阪府教育委員会 ・財団法人八尾市文化財調査研究会・早稲田大学所沢文化財調査室の参加、協力を得た。
- 4. 土器の実測・トレースは嶋村友子・杉本尚子、石器の実測は川本素行(早稲田大学所沢文 化財調査室)・加藤勝仁・加瀬達人・中沢道彦・野崎哲令・田村充・小山英樹・小林千浪・ 関本淳子・長谷川祐紀(以上早稲田大学学生)、石器のトレースは川本素行が行った。
- 5. 本書の執筆は第1章、第2章、第3章(1)(2)1.3.、第4章を嶋村友子、第3章(2)2を川本素 行が行った。また、石材の鑑定・土器の胎土分析を八尾市立刑部小学校奥田尚氏に、獣骨の 鑑定を奈良国立文化財研究所松井章氏に依頼し、玉稿を寄せていただいた。編集は嶋村友子 が行った。
- 6. 本調査にあたっては以下の諸氏の御教示を得た。記して感謝の意を表する。(敬称略) 佐川正敏・玉田芳英(奈良国立文化財研究所)、粉川昭平(大阪市立大学理学部)、堀田啓 一(大阪府立泉尾高校)、大野薫・佐久間貴士・福田英人・渡辺昌宏(大阪府教育委員会)、 福岡澄男・山口誠治(財団法人 大阪文化財センター)、家根祥多(京都大学)、工藤利幸 (財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター)、安井良三(仮称八尾市立歴史民俗 資料館建設準備室)
- 7. 出土遺物並びに記録図面は一括して八尾市教育委員会文化財室に保管してある。

凡 例

1. 遺物実測図の表示は以下のとおりである。

器表の赤彩 一

- 2. 遺物には土器、石器の別に通し番号をつけ、挿図・図版の番号を一致させた。
- 3. 遺物観察表における遺物の色調は小山正忠・竹林秀雄「新版標準土色帳」(1976)に従って 記述した。また、砂粒の大きさは 0.5 mm未満を小、 0.5 mm以上 2 mm未満を中、 2 mm以上を大 として記述した。
- 4. 本書で用いた方位は座標北を指す。
- 5. 本書で用いた高さの基準は東京湾の平均海面である。

本文目次

はしがき		
例言		
凡 例		
第1章 はじめに		1
第2章 層 序		3
第3章 遺構•遺物	· 物	8
(1) 遺 構		8
(2) 遺 物		14
1. 土 器	₹]	14
2. 石 器	문 (99
3. 植物遺存	字体	4
4. 動物遺存	字体 奈良国立文化財研究所 松 井 章 11	15
第4章 まとめ	5	17
第5章 土器胎土の	D砂礫観察 ········ 八尾市立刑部小学校 奥 田 尚······ 11	9

挿 図 目 次

第1図	調査区設定図		1
第2図	周辺の遺跡分布図		2
第3図	第6層小調査区設定図		3
第4図	調査地周辺図		5~€
第5図	土層断面図		7
第6図	第7 • 8 層上面検出遺構全体図		9
第7図	第6層検出土器集積		9
第8図	土器集積(SW)1 平面図 …	1	1~12
第9図	第4層上面検出遺構全体図		13
第10図	第3層上面検出遺構全体図		13
第11図	落ち込み(SO)1出土土器(1)		17
第12図	落ち込み(SO)1出土土器(2)		18
第13図	土器集積(SW)1出土土器(1)		19
第14図	土器集積(SW)1出土土器(2)		20
第15図	土器集積(SW)1出土土器(3)		21
第16図	土器集積(SW)1出土土器(4)	·	22
第17図	土器集積(SW)1出土土器(5)		23
第18図	土器集積(SW)1出土土器(6)		24
第19図	土器集積(SW)1出土土器(7)		25
第20図	土器集積(SW)1出土土器(8)	:	26
第21図	土器集積(SW)1出土土器(9)		27
第22図	土器集積(SW)1出土土器(II)		28
第23図	土器集積(SW)1出土土器印		29
第24図	土器集積(SW)1出土土器(12)		30
第25図	土器集積(SW)1出土土器(I3)		31
第26図	土器集積(SW)1出土土器(14)		32
第27図	土器集積(SW)1出土土器(15)		33
第28図	土器集積(SW)1出土土器(I6)		34
第29図	土器集積(SW)1出土土器(17)		35

第30図	土器集積 (SW) 1 出土土器(18)	36
第31図	土器集積 (SW) 1 出土土器(19)	37
第32図	第 5 層出土土器(1)	40
第33図	第 5 層出土土器(2)	41
第34図	第 5 層出土土器(3)	43
第35図	第 4 層出土土器(1)	44
第36図	第 4 層出土土器(2)	45
第37図	第 4 層出土土器(3)	46
第38図	第 4 層出土土器(4)	47
第39図	小穴(SP)7出土土器 ·····	47
第40図	第 2 層出土土器(1)	48
第41図	第 2 層出土土器(2)	49
第42図	落ち込み(SO)1出土石器	99
第43図	土器集積 (SW) 1出土石器(1)	100
第44図	土器集積 (SW) 1出土石器(2)	101
第45図	土器集積 (SW) 1出土石器(3)	102
第46図	土器集積 (SW) 1出土石器(4)	103
第47図	土器集積 (SW) 1出土石器(5)	104
第48図	第 5 層出土石器(1)	106
第49図	第 5 層出土石器(2)	107
第50図	第 5 層出土石器(3)	108
第51図	第 5 層出土石器(4)	109
第52図	第 4 層出土石器(1)	110
第53図	第 4 層出土石器(2)	111
第54図	第 4 層出土石器(3)	112
第55図	第 4 層出土石器(4)	113
第56図	小穴(SP)7出土石器	113
第57図	第2層出土石器	114

表 目 次

第1表	既応の調査一覧表	4
第2表	出土土器観察表	52
第3表	動物遺存体一覧表	116
第4表	十器胎土の砂礫種構成表	123

第1章 はじめに

恩智遺跡は生駒山地の扇状地に位置し、八尾市の東南部恩智中町を中心に広がる遺跡である。この付近には古いたたずまいを残す民家が密集しており、古くから集落が形成されたことがうかがわれる。東高野街道を西側に見おろす高台には中世に恩智の豪族恩智左近満一によって恩智城が築かれ、現在でも二の丸に当たると言われるところが残っている。また、地元の方のお話では現在見られる恩智の集落のなかでも東側の東高野街道沿いが最も古く、大正時代末に近鉄恩智駅が旧集落の西方に作られてから、「天王の杜」付近まで集落が広がったとのことである。

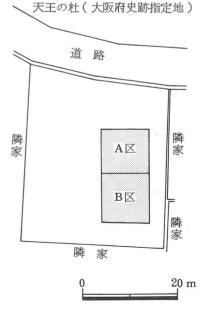
生駒山地は南北に連なる山地であるが、その西麓の恩智付近には背後に大きな谷が存在している。そのため、その西方には大きな扇状地が形成されており、この付近の等高線は大きく西側にはりだしている。おそらく、このような安定した地形環境が居住に適し、古くから集落形成の行われた要因の一つとなったのであろう。

恩智遺跡は大正時代に行われた梅原末治、島田貞彦両氏による発掘調査(註1)以降、過去数回の発掘調査が実施されており(第1表)、古くから弥生時代を中心とする大遺跡であることが知られている。これらの成果をもとに昭和初期には恩智神社の御旅所である「天王の杜」に「恩智石器時代遺跡」の碑が建てられ、昭和18年にはこの「天王の杜」は大阪府の史跡とし

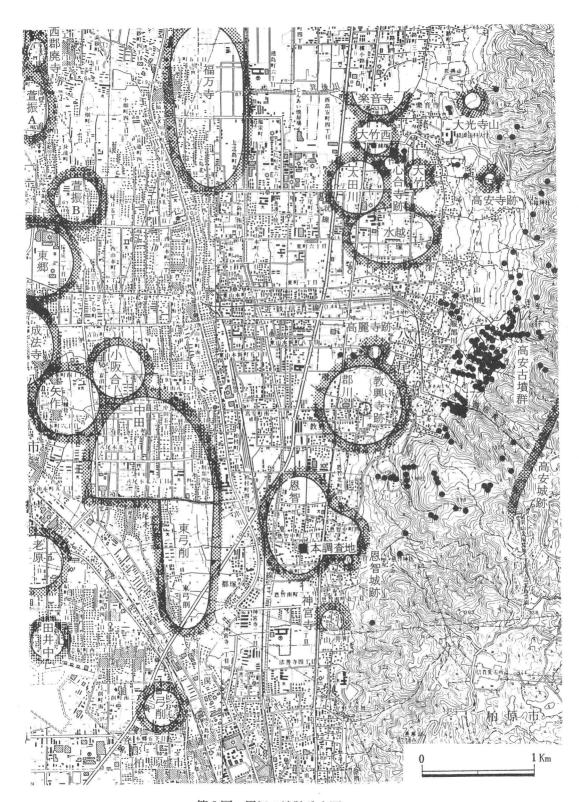
て指定された。なお、戦後まもなく井戸掘削中に縄 文土器が人骨とともに出土したことが今里幾次氏に よって報告されており(註2)、恩智遺跡は縄文時 代から始まる遺跡であることも知られていた。

このように恩智遺跡は遺跡としての存在は古くから知られており、「天王の杜」の西方では恩智川改修事業に伴う発掘調査をはじめ大規模な発掘調査が数回行われてきた。しかし、「天王の杜」付近での調査はいずれも工事立会程度のものにとどまっているため、この付近での遺跡の詳細な状況は不明であった。そのため、「天王の杜」付近での遺跡の広がり・遺物包含層の深さ等の確認を目的に地主の承諾を得て今回の調査を実施した。

調査は調査地内の東部に5m×10mのトレンチを



第1図 調査区設定図



第2図 周辺の遺跡分布図

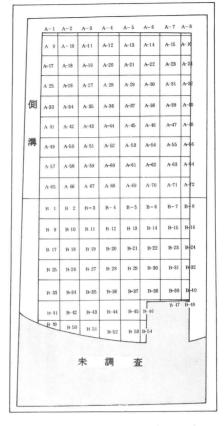


任意に設定して行った。調査地は調査以前に木造店舗付住宅が建築されており、かなり深くまで攪乱されていた。そのため、八尾市水道局等の協力を得て盛土・攪乱層を機械掘削し、それ以下を人力掘削した。

調査区の設定においてはトレンチを南北2区に分け、北側をA区、南側をB区と呼称した(第1図)。また、第6層上部で検出された土器集積の実測・取り上げにおいては50cm×50cmの小調査区を設定して(第3図)、調査を行った。なお、発掘調査中、財団法人大阪文化財センター山口誠治氏の指導を得て、調査区西壁の最北端部の土層断面の剝ぎ取りを実施した。

註

- 1. 梅原末治•島田貞彦「河内国府石器時代 遺跡発掘報告書」『京都大学文学部考古学 研究報告』第2冊(1923)
- 今里幾治「河内恩智の縄文土器」『日本 考古学』1-3 (1948)



0 1 m

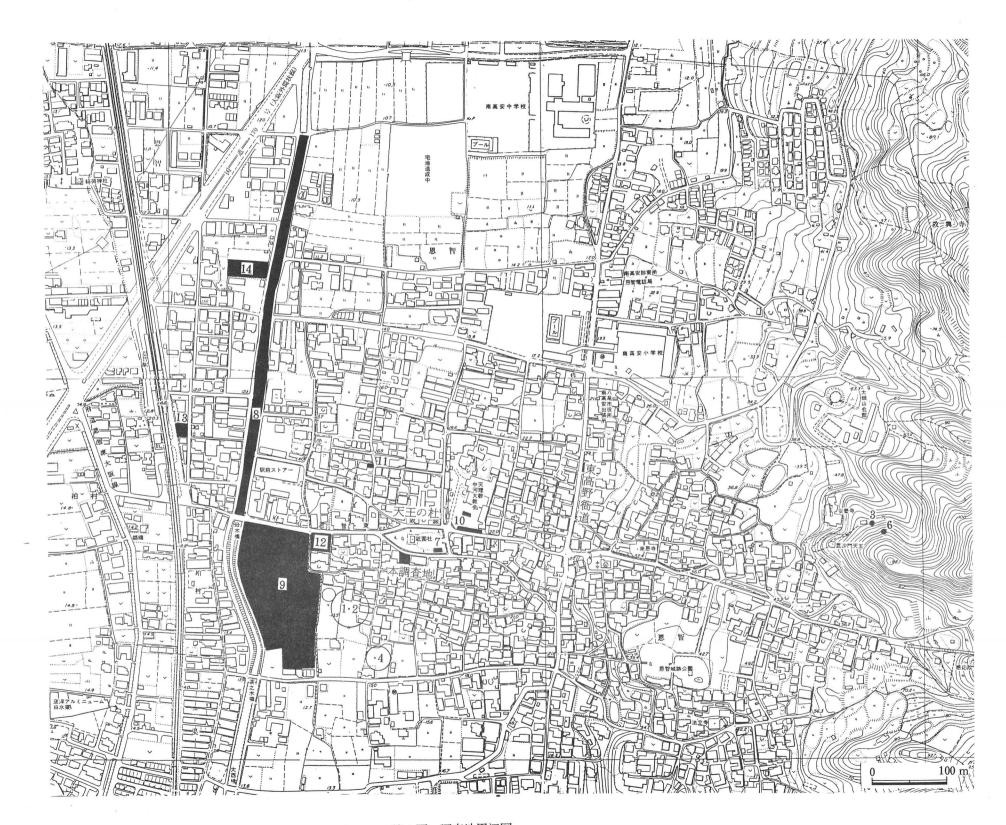
第3回 第6層小調查区設定図

第2章 層 序

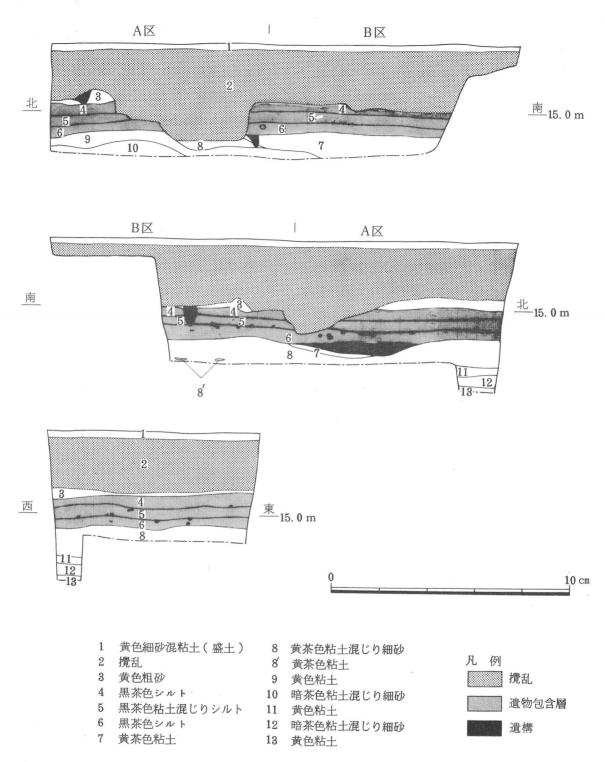
調査区の層位は第5図に示すとおりである。第2層は調査開始以前に既存していた木造店舗付住宅の建築による攪乱層である。第3層~第7層の一部を削平しており、弥生土器・縄文土器をまばらに含んでいた。第3層は黄色粗砂で、遺物を含まない層である。砂の粒子は均等ではないことから、山砂の堆積であると思われる。おそらく、山の土砂崩れによって、一気に堆積したものであろう。なお、この層の上部は第2層によって削平されていたが、第3層上面では縄文時代・弥生時代の遺構の一部が残存していた。第3層上面で検出された小穴(SP)1から縄文時代晩期(詳細な時期は不明)の土器が出土し、第4層~第6層は縄文時代晩期

第1表 既応の調査一覧表

	調査地	調査主体	調査期間	調査原因	主な検出遺構・出土遺物	11/
	恩智中町3丁目	京都大学 梅原末治•島田貞彦	大正 6 (1917)年7月		弥生土器(前期~後期)• 土師器•石器出土	梅原末治、島田貞彦「河内国府石器時代 遺跡発掘報告書」『京都大学文学部考古 学研究報告』第2冊(1923)
2	恩智中町3丁目 (字茶の木)	鳥居龍蔵	大正 6 (1917)年8月		弥生土器•石器出土	鳥居龍蔵、岩井武俊「石器時代遺跡調査 (15)」大阪毎日新聞大正6年8月12日付 (1917)
co.	安養寺裏山(通称垣内山)		大正 7 (1918)年	耕作中出土	流水文銅鐸(外緣付紐 式)出土	梅原末治『銅鐸の研究』(1926)
4	恩智中町3丁目	超二難 园 攤	昭和14(1939)年	史前遺跡調査事業	弥生土器(前期~後期)。 須恵器•石器出土	藤岡謙二郎「中河内郡南高安村恩智弥生 式遺跡」『大阪府史跡名勝天然記念物調 査報告』第12冊(1941)
2	「天王の杜」北方 (詳細は不明)	-	昭和16(1941)年	井戸掘削中出土	人骨•縄文土器出土	今里幾次「河内恩智の縄文土器」『日本 考古学』1-3 (1948)
. 9	安養寺裏山(通称都塚山)		昭和24(1949)年	耕作中出土	级浆櫸文銅鐸(扁平紐 式)出土	梅原末治『銅鐸の研究』(1926)
7	恩智中町3丁目 「天王の杜」内東南部	八尾市教育委員会		八尾市消防署防火 用貯水槽設置	縄文土器 (晩期)。弥生 土器 (前期~後期)。 瓦 出土	山本昭、泉本知秀、福岡澄男「八尾市恩 智遺跡の出土遺物について」『大阪文化 誌』第2巻1号 (1976)
8	恩智北町~恩智中町	瓜生堂遺跡調査会	昭和50(1975)年	恩智川改修工事	弥生時代(前期~後期)の溝・木棺墓・土壙・自然河道、古墳時代(前期)の井戸・溝検出	瓜生堂遺跡調査会『恩智遺跡Ⅰ・Ⅱ』 (1980)・『恩智遺跡Ⅲ』(1981)
6	恩智中町 3 - 240 • 245	八尾市教育委員会	昭和51~53(1976~ 1978)年	マンション建築	弥生時代の遺構・遺物多 数検出	ئ ا
10	恩智中町2-94.	八尾市教育委員会	昭和54(1979)年	天理教教会增築	弥生時代の遺構・遺物多 数検出	ئ ا
11	恩智中町2-265	八尾市教育委員会	昭和58(1983)年2月	個人住宅建築	弥生時代(前期)の土壙 検出	八尾市教育委員会『八尾市内遺跡昭和57年度発掘調査報告書』(1983)
12	恩智中町 3 - 214	八尾市教育委員会	昭和59(1984)年6月	個人住宅建築	弥生時代の遺構検出	八尾市教育委員会『八尾市内遺跡昭和59年度発掘調査報告書』(1985)
13	恩智中町 177-2	八尾市教育委員会	昭和59(1984)年6月	銀行建築	弥生時代(中期)の遺構 検出	八尾市教育委員会『八尾市内遺跡昭和59 年度発掘調査報告書』(1985)
14	恩智中町 1 51	侧八尾市文化財調査 研究会	昭和60(1985)年6月	マンション建築	古墳時代(前期~中期) の土壙・溝検出	側八尾市文化財調査研究会『昭和60年度 事業概要報告』(1986)



第4図 調査地周辺図



第5図 土層断面図

(滋賀里Ⅲ式~長原式)の遺物を包含していることから、第3層の堆積の時期は長原式の範ちゅうであると考えられる。また、第4層上面、第7層上面でも遺構が検出された。第7層上面で検出された遺構は第6層と同様滋賀里Ⅲ式の土器を含む。第7層・第8層は少量の炭化物を含む層で、遺物は出土しなかった。なお、第7層以下は調査区の周囲を部分的に掘削した側溝で部分的に調査しただけであり、特に、第11層~第13層は土層断面の剝ぎ取りのため部分的に掘り下げた調査区の北西隅の部分でその堆積を確認しただけである。そのため、今回の調査では第7層以下においては遺物を確認できなかったが、その有無は確定できない。また、層序の比較・検討をおこなった結果、第3層は本調査区の西方約200mの地点で行った恩智川改修事業に伴う発掘調査(註1)において確認された第4層~第7層に対応するものと考えられることから、本調査区で確認された第12層は恩智川調査区の第12層に対応するものと思われる。これらのことから、本調査区で掘削した第12層の0.08㎡中には遺物は含まれていなかったが、本調査区の第12層は縄文時代後期の遺物包含層の可能性が高いものと考えられる。

註

1. 瓜生堂遺跡調査会「恩智遺跡 Ⅰ・Ⅱ」(1980)

第3章 遺構・遺物

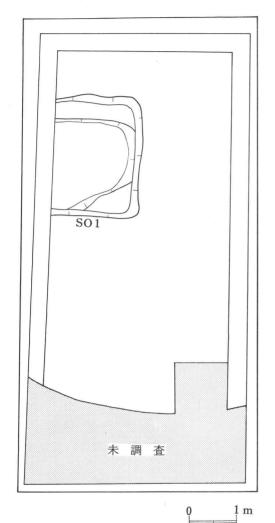
今回の調査では第7・8層上面で縄文時代晩期の落ち込み1基(SO1)、第6層で土器集積(SW1)、第4層上面で小穴5個(SP18~SP22)、第3層上面で縄文時代・弥生時代の小穴17個(SP1~SP17)が検出された。また、第4層~第6層から多量の縄文時代の土器(コンテナ30箱)・石器(コンテナ2箱)・植物遺存体(3個体)・動物遺存体(コンテナ5箱)が出土した。また、第2層は弥生時代の遺物包含層と縄文時代の遺物包含層の攪乱層で、縄文土器・弥生土器が少量出土した。

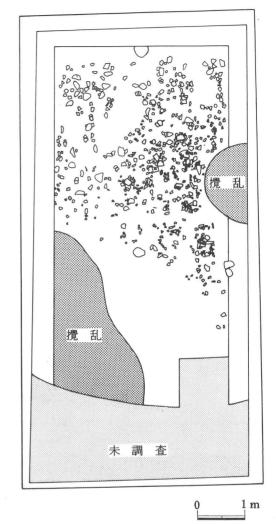
(1) 遺 構

1. 第7・8層上面の調査

落ち込み(SO) 1 A区西部で検出された。遺構の西部は調査区外に及ぶため全体は不明である。平面形はほぼ方形を呈すると思われ、南北2.6 m、東西2.2 m以上を測る。断面形は皿状を呈し、深さ0.2 mを測る。埋土は黒茶色粘土混じりシルトで、縄文土器・







第6図 第7・8層上面検出遺構全体図

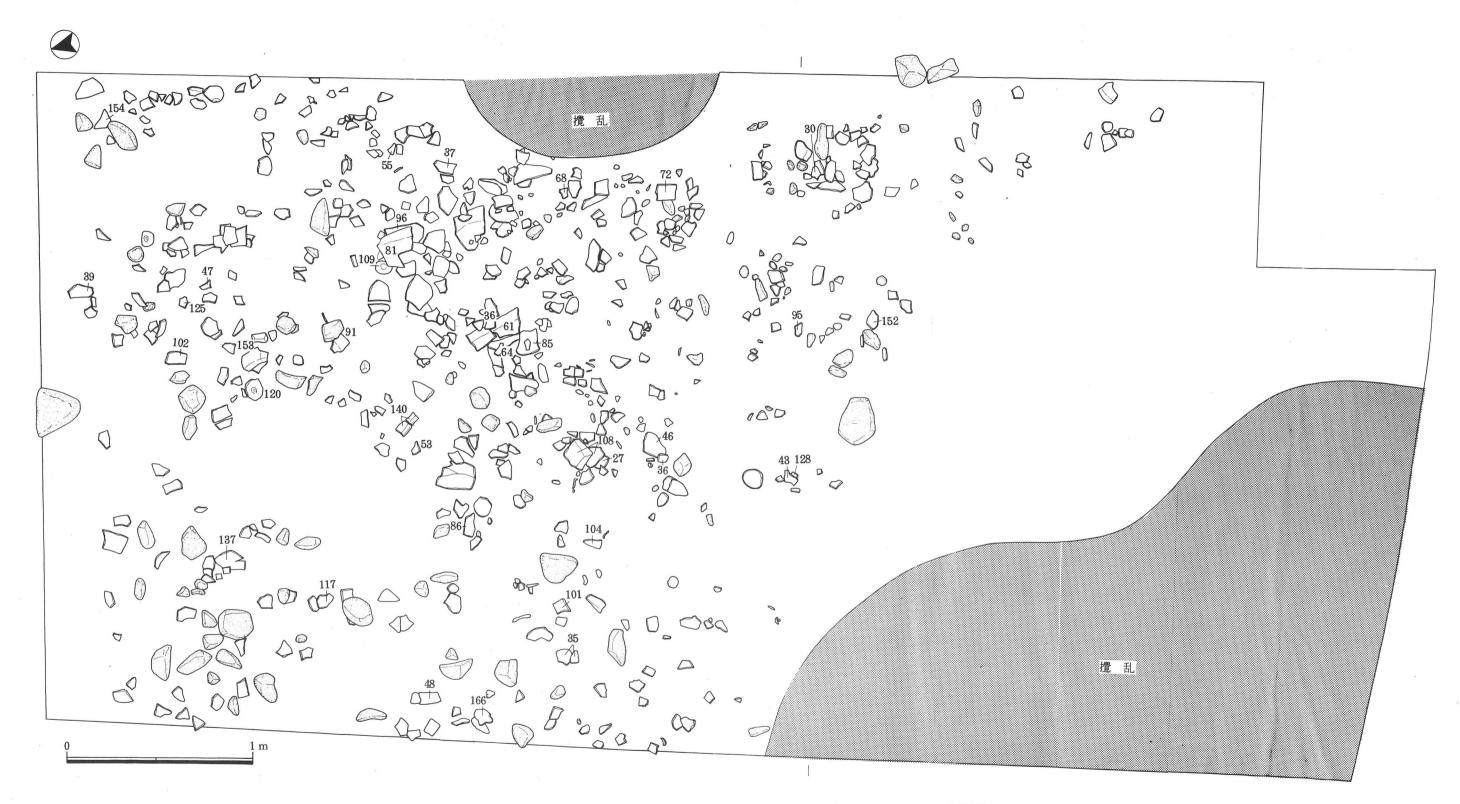
第7図 第6層検出土器集積

石器・動物遺存体が出土した。

2. 第6層の調査

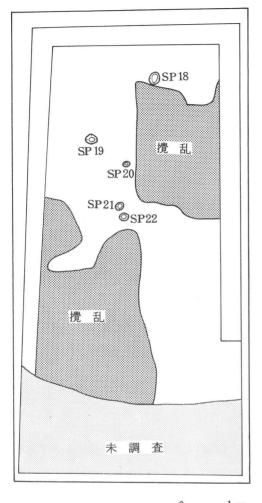
土器集積 (SW) 1 A区、B区北部で検出さた。この集積はA区では調査区外に及び、一部攪乱を受けているため全体は不明である。土器の集積は特に第6層上部に顕著である。土器はいずれも、小破片であり、完形品は見られない。第6層上部から出土した土器片と第6層下部のものとが数点接合したことから、土器はかなり短時間のうちに集積したものと思われる。日常の容器である深鉢・浅鉢の他にミニチュア土器の破片や土製品が出土した。また、土器に混じって自然石(主に花こう岩)・石器・植物遺存体・動物遺存体がみ

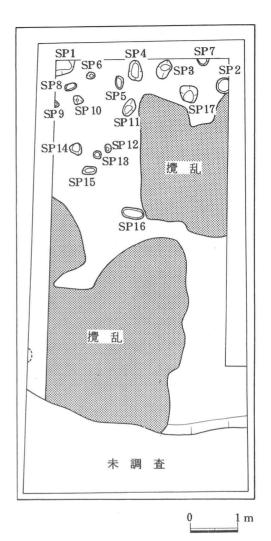




第8図 土器集積(SW)1 平面図







第9図 第4層上面検出遺構全体図

第10図 第3層上面検出遺構全体図

られた。土器はいずれも小破片の状態で出土しており、煤の付着したものが多いことから、使用後の廃棄物であると思われる。また、祭祀具であると思われるミニチュア土器、石棒が出土していることから、廃棄に伴う祭祀が行われたものと思われる。

- 3. 第5層の調査 遺構はみられなかった。縄文土器・石器・動物遺存体が少量出土した。
- 4. 第4層の調査 遺構はみられなかった。縄文土器・石器・動物遺存体が少量出土した。
- 5. 第4層上面の調査

小穴 (SP) 18~22 いずれもA区で検出された。径15~25cm、深さ10cm前後を測る。 SP18の埋土は黄灰色粗砂で、SP19~SP21の埋土は暗茶灰色細砂混じり粘土である。 SP21から少量の縄文時代晩期の土器片が出土した。

6. 第3層上面の調査

小穴(SP)1 A区北西隅で検出された。一部は側溝に切られているため不明である。 平面形は方形を呈すると思われ、一辺 0.3 mを測る。断面形は台形を呈し、深さ 0.3 mを 測る。埋土は黒色シルト混り粘土で、埋土から縄文時代晩期の深鉢片の他少量の土器片が 出土した。

小穴(SP) 2~6 いずれもA区で検出された。いずれも平面形はほぼ円形を呈し、径 0.2~0.4 m、深さ 0.05~0.3 mを測る。いずれも埋土は黒色シルト混り粘土で、小量の弥生時代中期の土器片が出土した。

小穴(SP)7 A区北東で検出された。平面形はほぼ円形を呈し、径0.3 mを測る。 断面形は台形を呈し、深さ0.2 mを測る。埋土は黒色シルト混り粘土で、弥生時代中期の 壺が口縁部を下にして出土した。

小穴(SP) 8~17 いずれもA区で検出された。平面形はほぼ円形を呈し 径0.1~0.4 mを測る。SP8・11・15・16・17からは少量の弥生時代中期の土器片が出土した。

(2) 遺 物

1. 土器

縄文時代中期、後期、晩期の土器がみられる。土器の大半は縄文晩期中葉のものである。 これらの土器のうち在地のものと思われるものについては以下のように分類をおこなった。

深鉢Ⅰ類

口頸部外面に突帯を施さないもの。

- 【A】外面に主として二枚貝条痕を施すもの。
- 【B】外面に主としてケズリを施すもの。
 - (1) 波状口縁のもの。
 - (a) 口縁部に二枚貝条痕を施すもの。
 - (b) 口縁部にケズリを施すもの。
 - (c) 口縁部にナデを施すもの。
 - (2) 平口縁で、頸部が屈曲し、口縁部が外反するもの。
 - (a) 口縁部に二枚貝条痕を施すもの。
 - (b) 口縁部にケズリを施すもの。

- (c) 口縁部にナデを施すもの。
- (3) 平口縁で、頸部が屈曲し、口縁部がたちあがるもの。
 - (a) 口縁部に二枚貝条痕を施すもの。
 - (b) 口縁部にケズリを施すもの。
 - (c) 口縁部にナデを施すもの。
- (4) 頸部が屈曲せず、まっすぐにのびるもの。
 - (a) 口縁部に二枚貝条痕を施すもの。
- (b) 口縁部にケズリを施すもの。
- (c) 口縁部にナデを施すもの。
- 【C】外面にヘラミガキを施すもの。

深鉢Ⅱ類

口縁部下に突帯を施すもの。

- 【A】頸部が屈曲するもの。
 - (1) 突帯にキザミメを施すもの。
 - (2) 突帯にキザミメを施さないもの。
- 【B】頸部が屈曲せず、まっすぐのびるもの。
 - (1) 突帯にキザミメを施すもの。
 - (2) 突帯にキザミメを施さないもの。

深鉢Ⅲ類

口縁部下と肩部に突帯を施すもの。

深鉢Ⅳ類

口唇部に接して突帯を施すもの。

深钵底部

- 【A】上げ底を呈するもの。
- 【B】突出する小さな平底のもの。
- 【C】丸底のもの。
- 【D】突出しない平底のもの。

浅鉢Ⅰ類

七宝文を施すもの。

浅鉢Ⅱ類

口縁部下に突帯を施さないもの。

- 【A】口縁部が短く外反し、体部が強く張り出すもの。
- 【B】頸部が屈曲し、口縁部が長くのびるもの。
 - (1) 口縁部が短く終わるもの。
 - (2) 口縁部が長くのびるもの。
 - (a) 口縁部内面が肥厚するもの。
 - (b) 口縁部内面に沈線を施すもの。
 - (c) 口縁部が丸くおわるもの。
- 【C】頸部が屈曲せず、口縁部が内わんするもの。
 - (1) 口縁部をつまみあげるもの。
 - (2) 口縁部内面が肥厚するもの。
 - (3) 口縁部内面に沈線を施すもの。
 - (4) 口縁部が丸くおわるもの。
- 【D】体部から口縁部がまっすぐのびるもの。
- 【E】船形を呈するもの。

浅鉢Ⅲ類

口縁部下に突帯を施すもの。

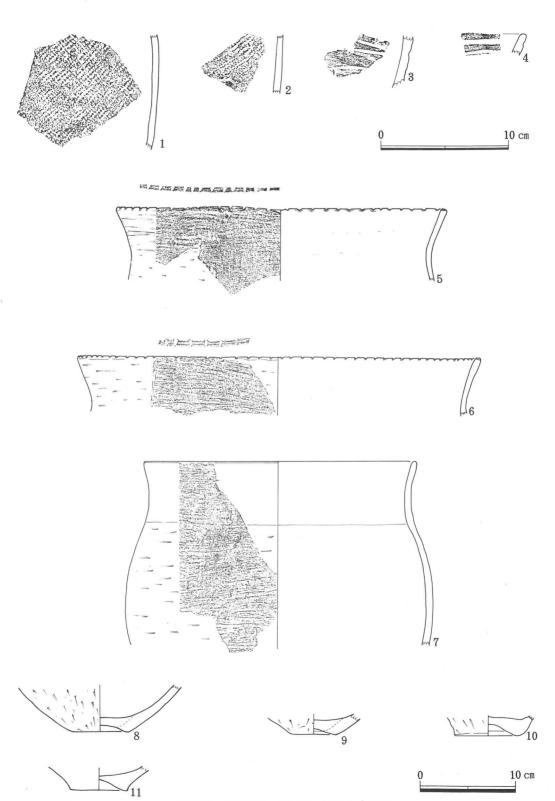
口縁部・底部破片は1540点を数えるが、在地のものと思われるもののなかでは圧倒的に深鉢の占める割合が大きい。なお、深鉢のなかでも外面にヘラミガキを施すもの(深鉢 I 類 C)がみられる。このなかには外面に赤彩の施されているものもみられるが、煤が付着しているものも多いことから、その機能は粗製土器と同様であると思われる。また、キザミメの分類は家根祥多氏と同様にD字、O字、小さなD字、小さなO字、V字の5つに分類した(註1)。以下、図化した土器について出土位置ごとに説明を加える。

(a) 落ち込み(SO) 1出土土器

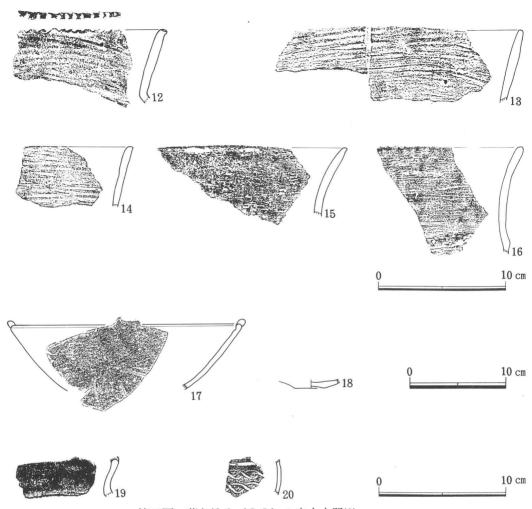
明らかに在地の胎土をもち、縄文の施された器種不明の破片(1・2)、縄文時代晩期前半のものと思われる口縁部片(3・4)の他に晩期後半の滋賀里Ⅲ式の土器がコンテナ一箱出土した。

深鉢I類

- B-2 a (5 12 13 14) 5 12は口唇部にキザミメ (D字) が施される。
- $B-2b(6 \cdot 15)$ 6は口唇部にキザミメ(V字)が施される。
- B-2c (16) キザミメは施されない。
- B-3c (7) 体部上半に最大径をもつ。キザミメは施されない。



第11図 落ち込み(SO)1出土土器(1)



第12図 落ち込み (SO) 1 出土土器(2)

深鉢底部

A (8~11) いずれも体部外面にケズリが施されたものであろう。11の体部は底部付近であることから、ナデが施されているが、体部の大部分はケズリが施されたものと思われる。

浅鉢Ⅱ類

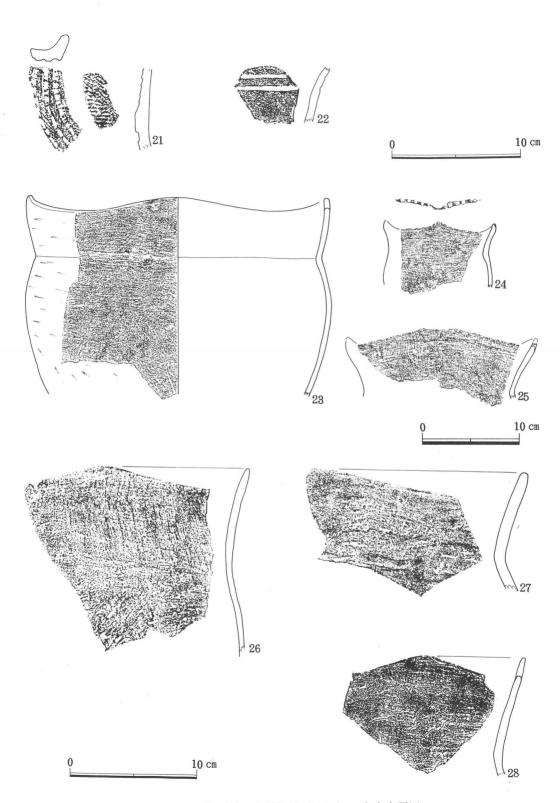
C-3 (17) 口唇部には突起が施される。

他地域の土器・他地域の影響を受けた土器(20) 結節縄文が施される。

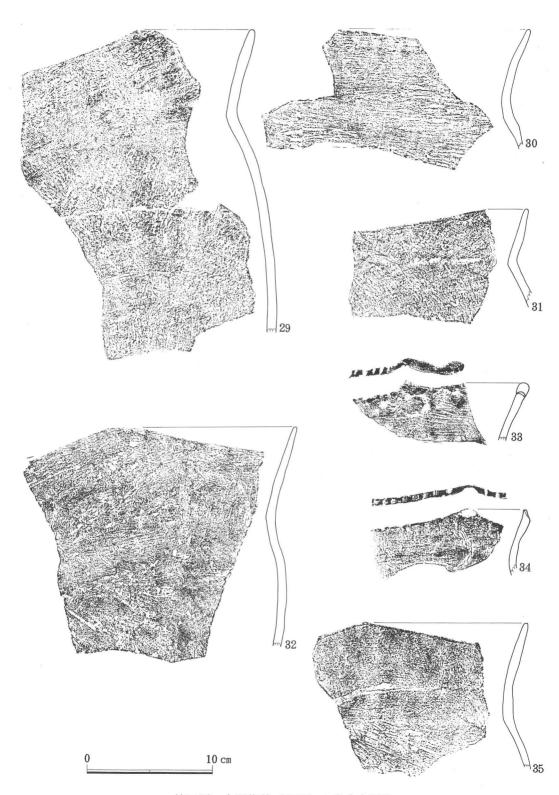
(b) 土器集積 (SW) 1出土土器

縄文時代中期末の深鉢の口縁部破片(21)、沈線を施した時期不明の土器破片(22)の他に 晩期中葉の滋賀里Ⅲ式の土器がコンテナ19箱出土した。

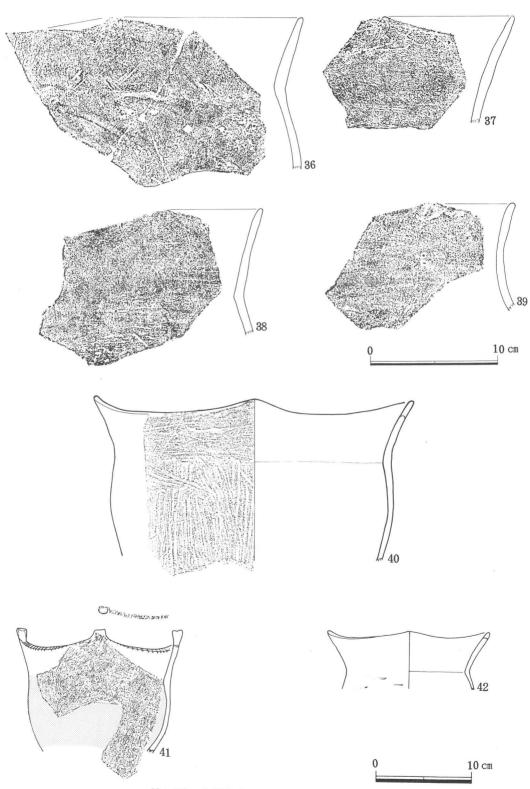
深鉢Ⅰ類



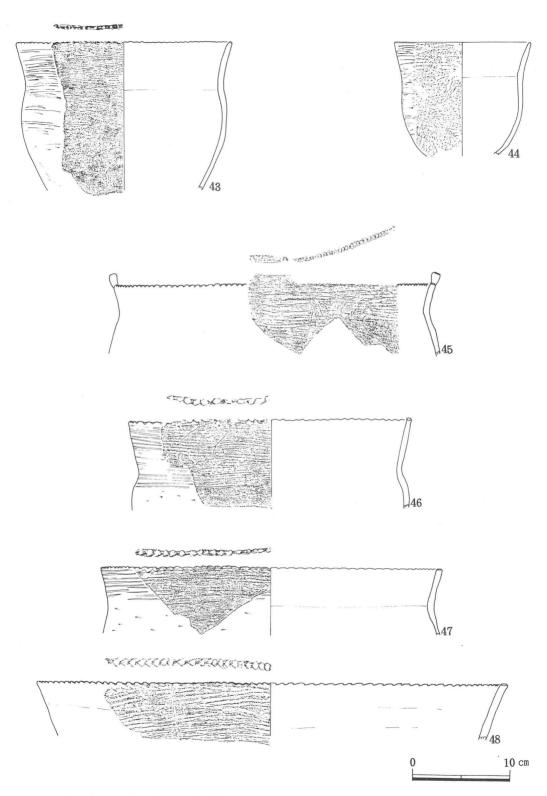
第13図 土器集積(SW)1出土土器(1)



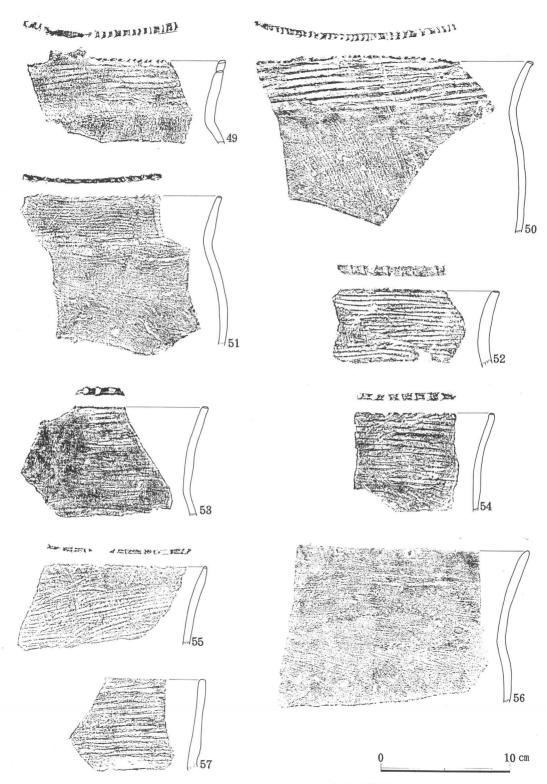
第14図 土器集積(SW)1出土土器(2)



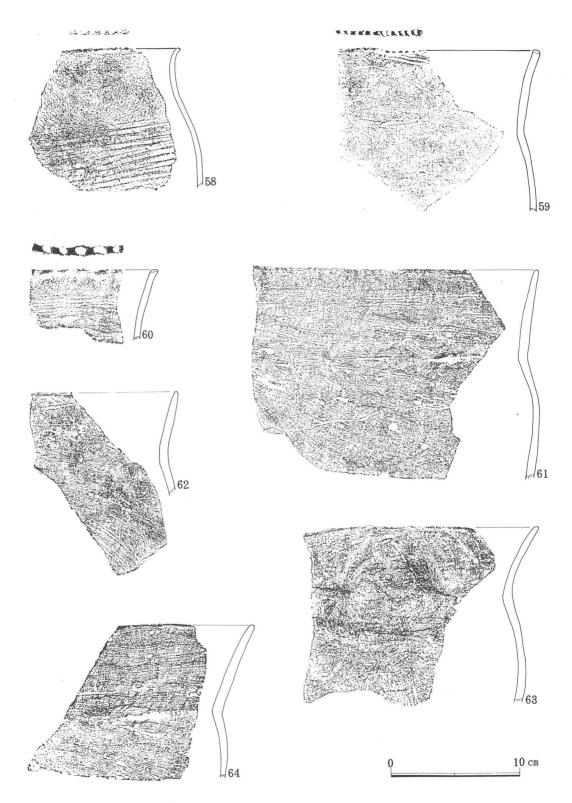
第15図 土器集積(SW)1出土土器(3)



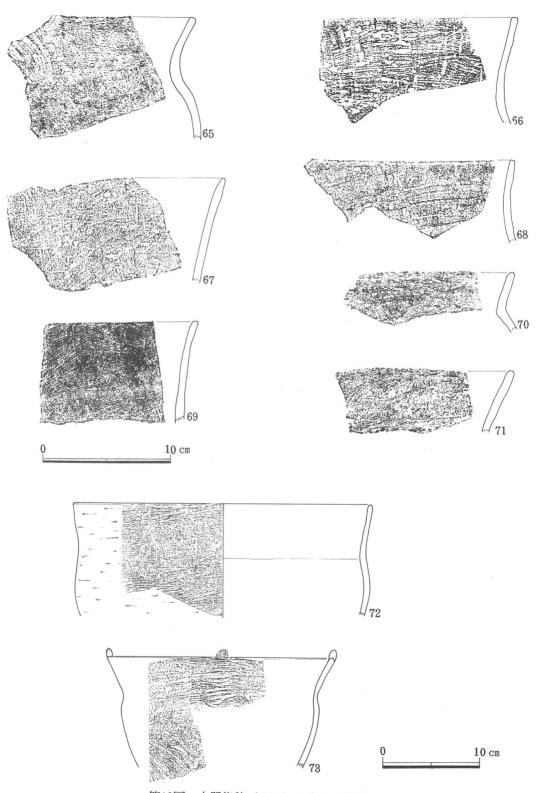
第16図 土器集積 (SW) 1出土土器(4)



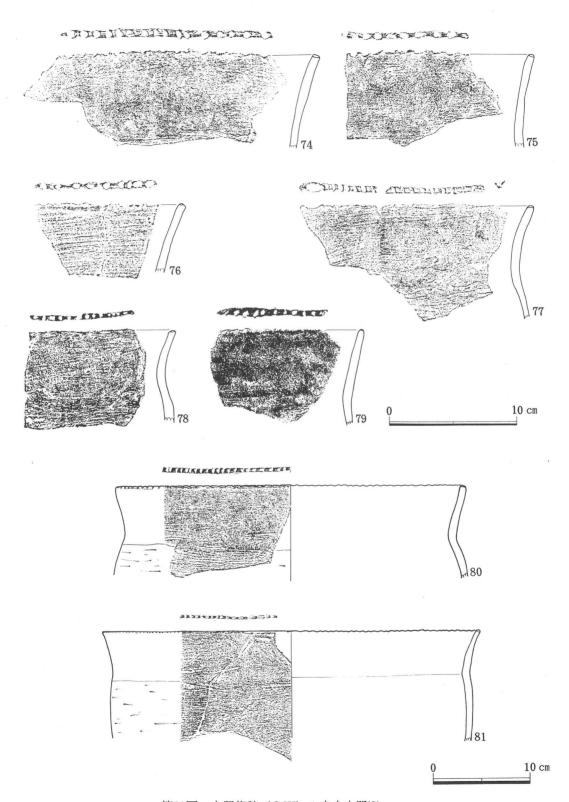
第17図 土器集積 (SW) 1出土土器(5)



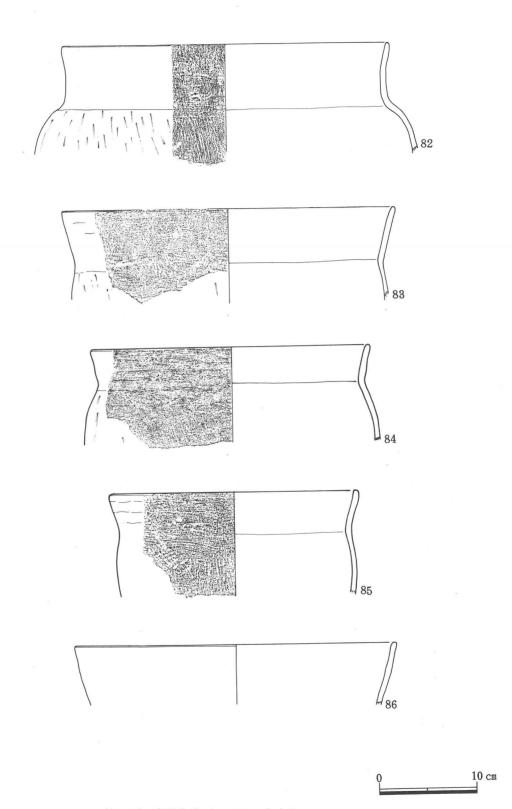
第18図 土器集積 (SW) 1出土土器(6)



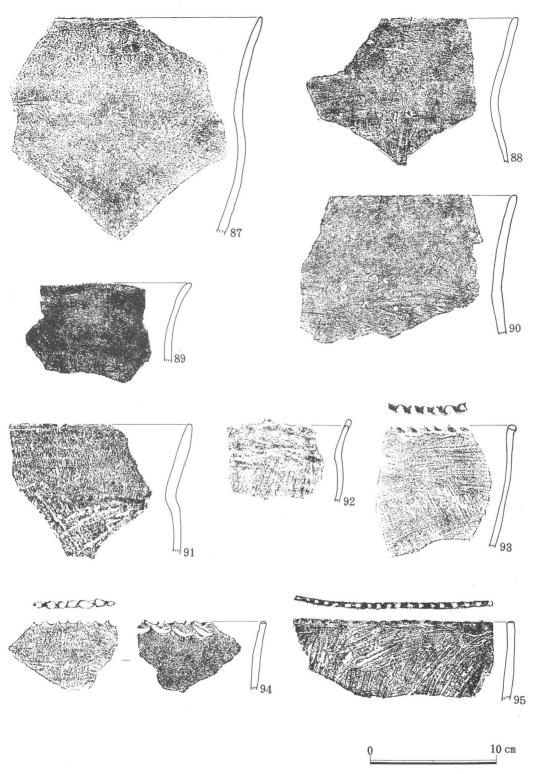
第19図 土器集積 (SW) 1出土土器(7)



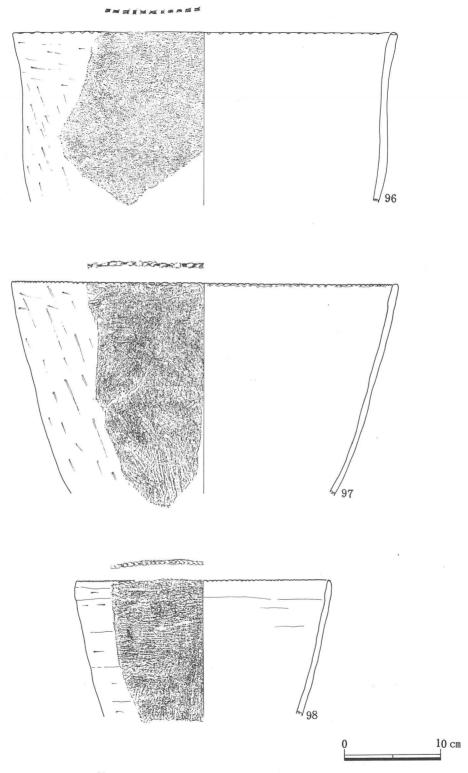
第20図 土器集積 (SW) 1出土土器(8)



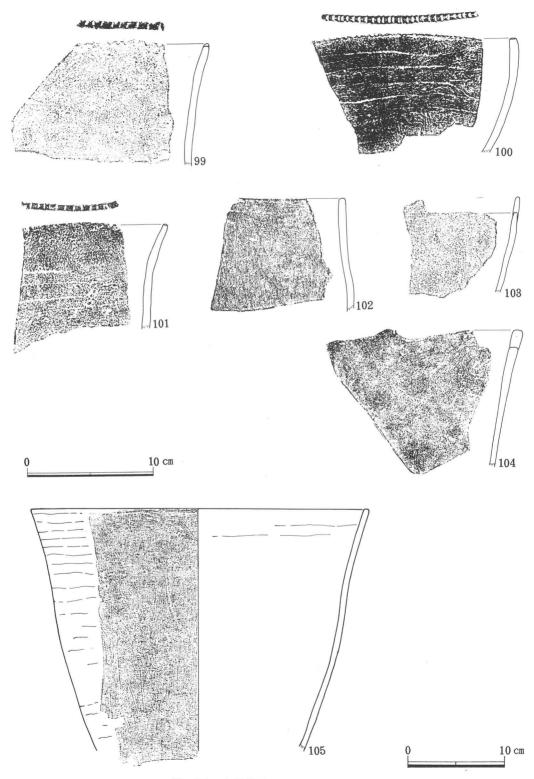
第21図 土器集積 (SW) 1出土土器(9)



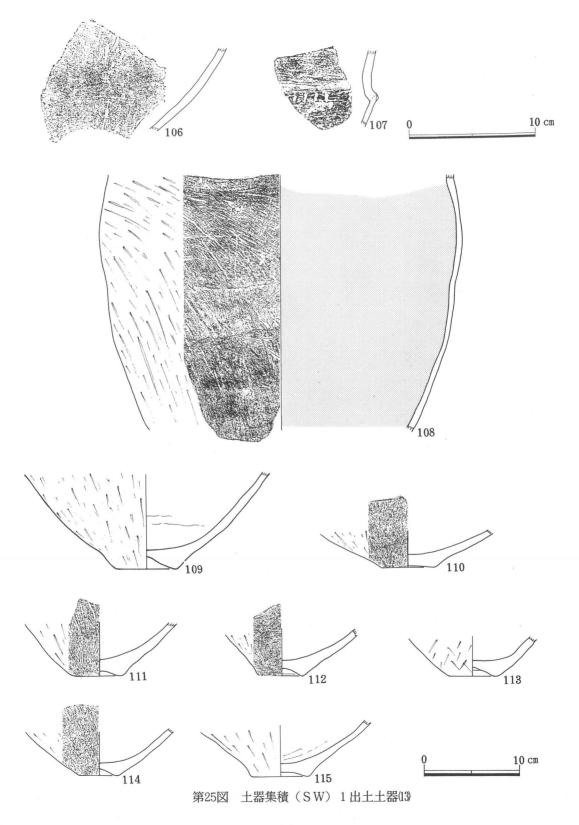
第22図 土器集積 (SW) 1出土土器(10)

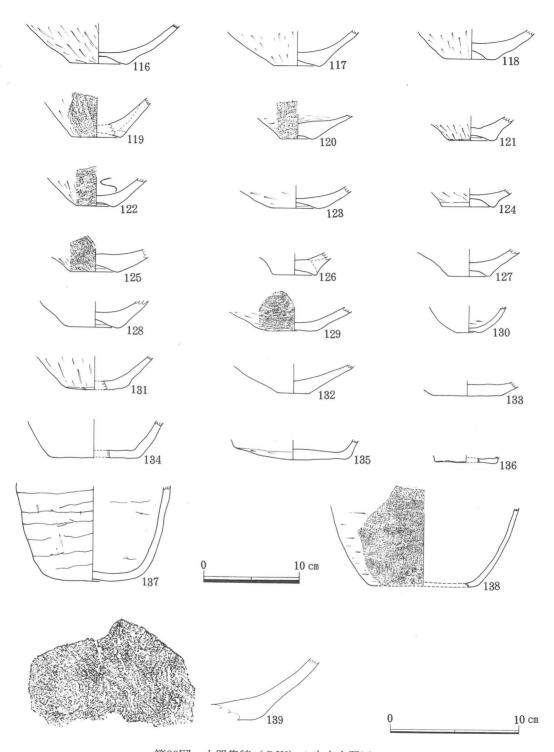


第23図 土器集積 (SW) 1出土土器(II)

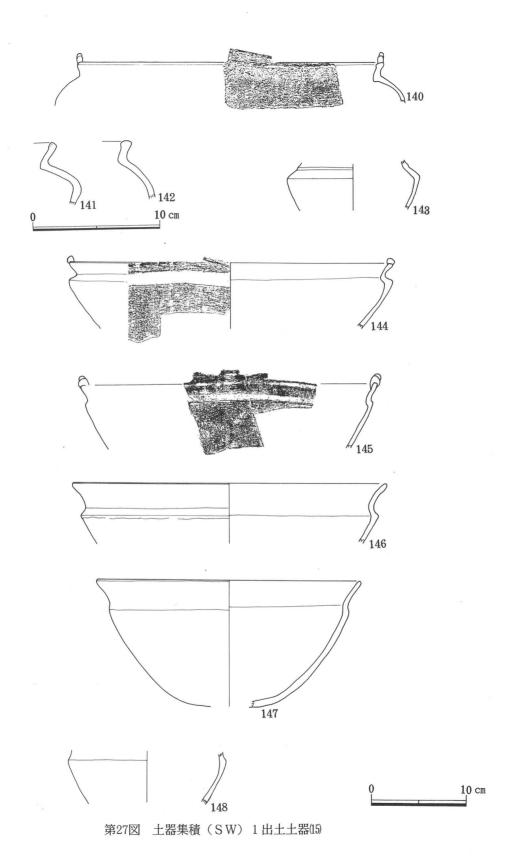


第24図 土器集積(SW)1出土土器(12)

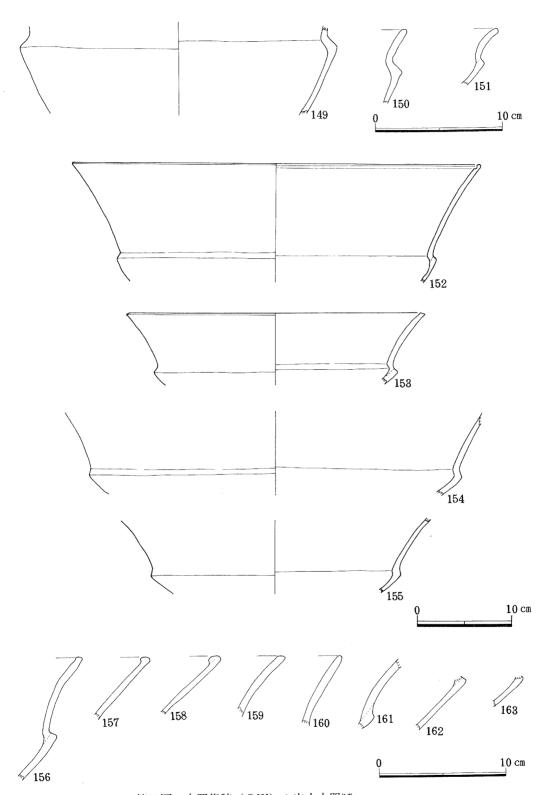




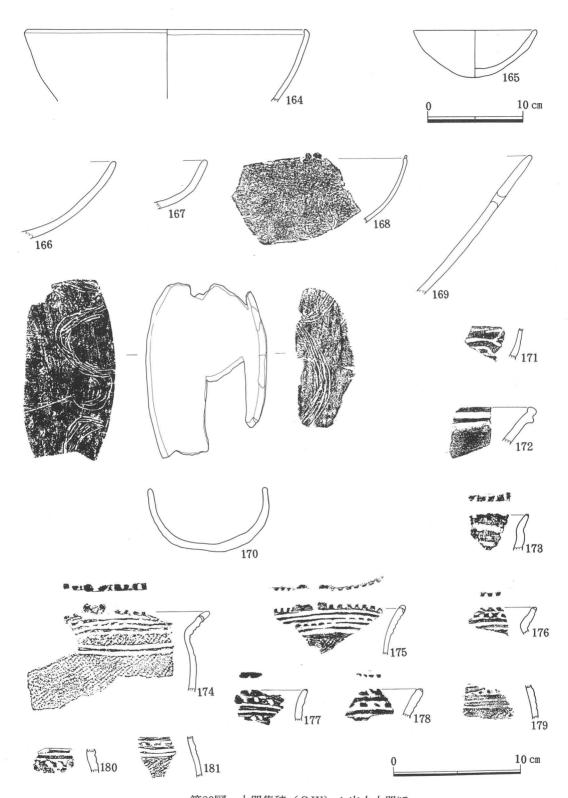
第26図 土器集積(SW)1出土土器(14)



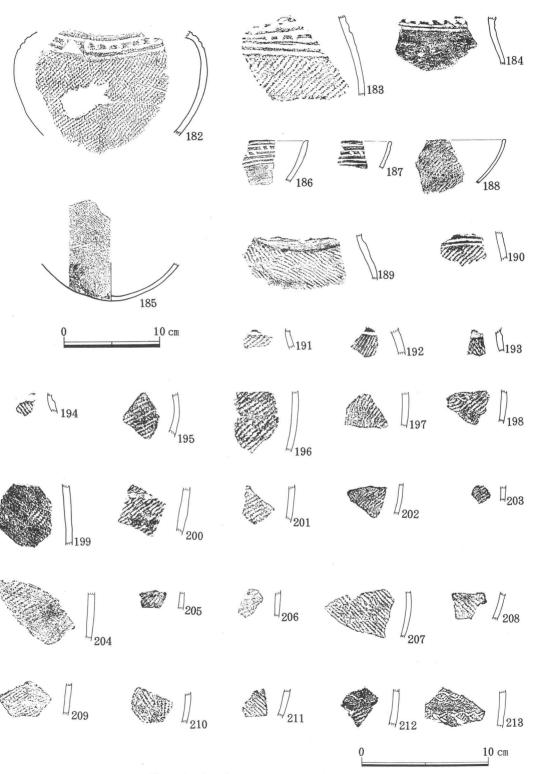
-33-



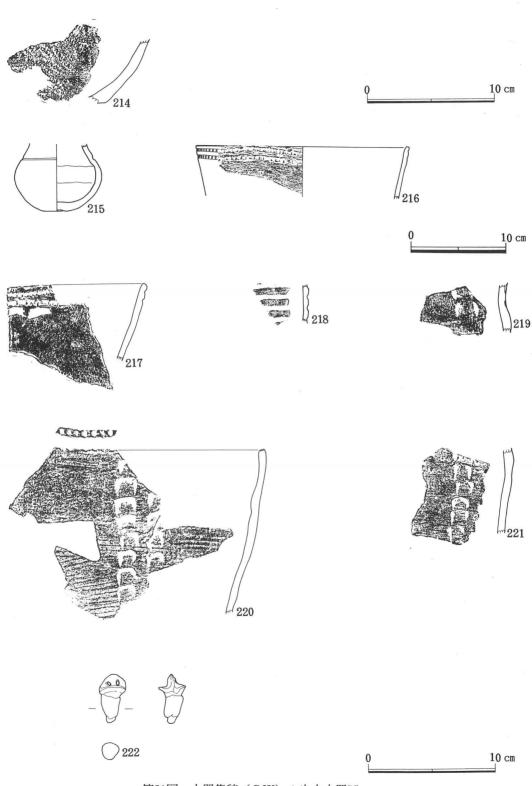
第28図 土器集積(SW)1出土土器(16)



第29図 土器集積(SW)1出土土器(17)



第30図 土器集積(SW)1出土土器(18)



第31図 土器集積 (SW) 1出土土器(19)

- A $(43 \cdot 44 \cdot 58)$ $43 \cdot 44$ は口縁部から体部に二枚貝条痕を施す。58は体部に二枚貝条痕を施すが、口縁部にはナデを施す。また、 $43 \cdot 44$ は深鉢 I 類 B-2 と同形態であるが、58の形態は本遺跡出土土器のなかでは例をみない。43 (D字) $\cdot 58$ (二枚貝のちょうつがいによる) は口唇部にキザミメが施される。
- B-1b(23~32) 24~32は深鉢 I 類 B-2と同様に口縁部が外反するが、23は口縁部が内傾する。26の口縁部のヘラケズリは縦方向、23~25・27~32は横方向に施される。ケズリの方向は土器の法量、頸部の屈曲の具合によって削り易い方向に施されたものと思われる。なお、一気に口縁部から体部までケズリが施されたものはみられない。24は口唇部にキザミメが施される。
- B-1 c (33~40) 体部は深鉢 I 類 B-2 と同形態である。33 34は口唇部にキザミメ(D字)が施される。
- B-2 a (45~57) 57以外はすべて口唇部にキザミメ (D字) が施され、45には突起がみられる。56は二枚貝条痕を施したのち、ヘラケズリを施す。
- B-2b (59~67・69・71~73) 59・60は口唇部にキザミメ (D字) が施される。73 には口唇部に突起がみられる。
- B-2 c $(74\sim81\cdot83\sim92)$ 口縁部のナデにはヘラ状工具によるもの $(74\sim78)$ と、擦痕の残らないもの $(79\sim81\cdot83\sim92)$ がある。 $74\sim76\cdot78\sim81$ にはキザミメ(D字) が施され、77はキザミメ(V字) が施される。
- B-3b (68) キザミメは施されない。
- B-3c (82) 体部上半が強くはりだす。キザミメは施されない。
- B-4b ($93\sim98 \cdot 105$) 体部外面にヘラケズリを施すもの ($93\sim98$)、繊維束によるケズリを施すもの(105) がある。 $96 \cdot 97$ は口縁部だけに横方向のケズリが施される。 繊維束によるケズリが施される105 はケズリがあまり顕著ではなく、粘土紐の接合痕が残る。 $93\sim95 \cdot 97 \cdot 98$ は口唇部にキザミメ (D字)、96はキザミメ (V字)が施される。ヘラ状工具を用いない105 にはキザミメは施されていない。
- B-4c (99~101) いずれも破片であるので、外面全体にナデを施したものか、口縁部だけにナデを施したものかは不明である。口縁部が外反気味に終わるもの (99・101)と内わん気味に終わるもの (100)がみられる。 $100 \cdot 101$ は粘土紐接合痕が残る。 $99 \cdot 101$ はキザミメ (V字)、100 はキザミメ (D字)が施される。
- C (41・42・102 ~104) 41・42・104 は波状口縁、102・103 は平口縁で、103 には 突起がみられる。41は体部に赤彩が施され、口唇部にキザミメ(D字)が施される。

深鉢底部

- A(109~128・139) いずれも体部外面にケズリが施されたものであろう。断面観察 のできるものもあり、上げ底の成形は弥生時代第V様式の甕にみられる底部輪台技法 とほぼ同じ技法によることがうかがわれる。底部周縁をヘラ状工具で調整したものも かなり多くみられる。
- B (129) 底部Aとほぼ同径である。平底であるが、底部付近の断面の観察で、底部A と同様の成形技法によるものであることがわかる。
- D (133 ~138) 底部外面はヘラミガキを施したもの (133)、ナデを施したもの (134 ~136)、ヘラケズリを施したもの (135 •137 •138)がある。

浅鉢 [類(171)

体部小破片であるため全体の形態は不明である。

浅鉢Ⅱ類

- A $(140 \sim 143)$ いずれも口縁部内面は肥厚する。140 には口唇部に突起がみられる。143 の肩部には沈線が施される。
- B-1 (144 \sim 151) 146 150 は外面にヘラケズリが施されており、粗製土器である。 144 • 145 には口唇部に突起がみられる。
- B-2a(153・156~159) 口縁部内面の肥厚が大のもの(157・158)と、小のもの(153・156・159)がみられる。
- B-2b(152) 口縁部内面は肥厚しない。浅鉢Ⅱ類B-2aの手法の退化したものであろう。
- B-2c(160) 小破片であり、突起の有無等は不明である。
- C-1 (164) □唇部に突起等はみられない。
- C-4 (165~168) 168 の口唇部には突起がみられる。
- D (169) 破片のため底部の形状等は不明である。補修孔と思われる穴が1個みられる。
- E (170) 体部外面に集合沈潜による文様が描かれている。

浅鉢Ⅲ類(172)

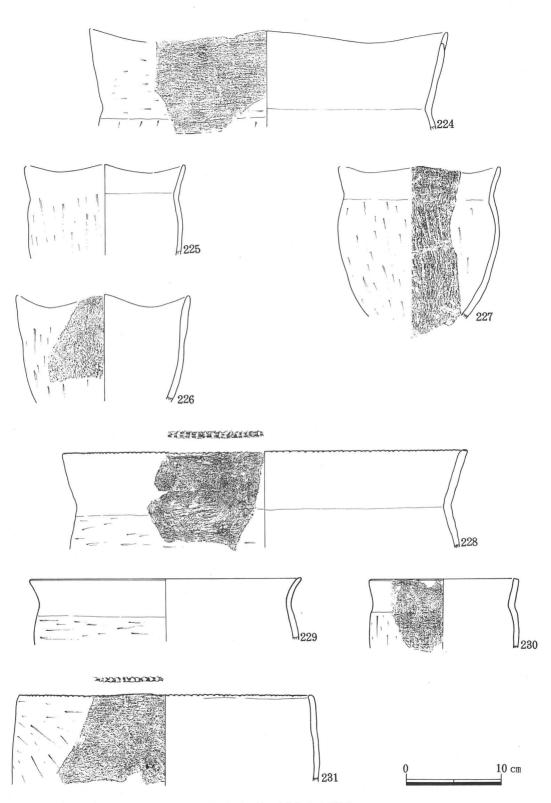
突帯は張り付けによる。

ミニチュア土器 (173)

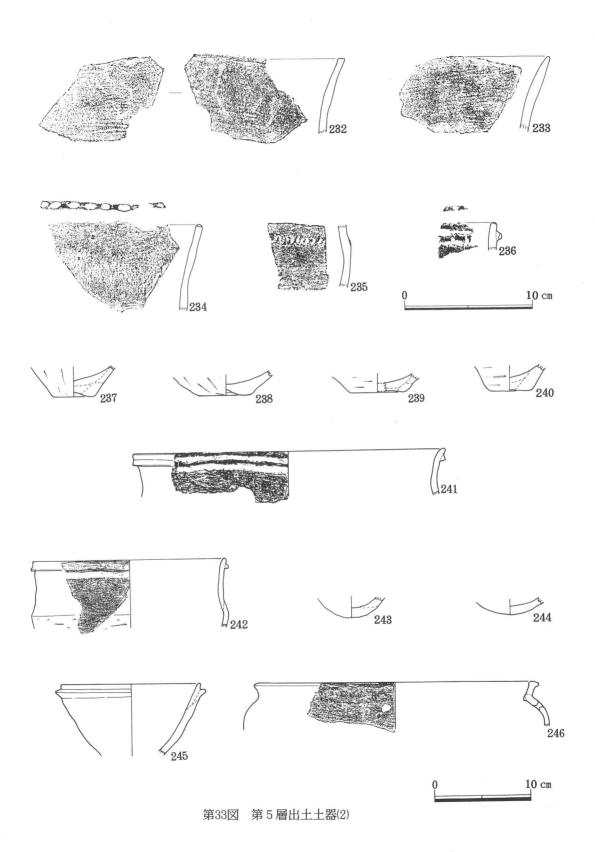
深鉢のミニチュアであると思われる。口唇部にはキザミメ(D字)が施される。

他地域の土器・他地域の影響を受けた土器(174~221)

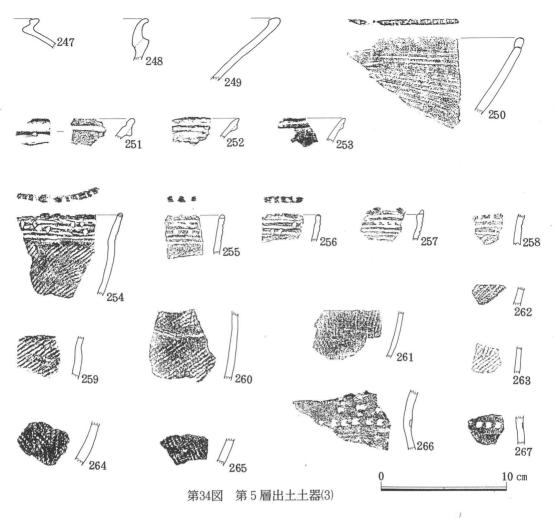
亀ヶ岡式 (174~184・186・187・215)、原下層式 (219 ~221)、縄文を施す土器 (185・188~214)口縁部に刺突文をめぐらす土器(216・217)などがある。179・183 は羊歯状文が施されることから、大洞B-C式であると思われる。また、174~178・182・186・187



第32図 第5層出土土器(1)



-41-



は沈線間に刺突が施されることからは大洞C」式であると思われる。なお、 215は亀ケ岡式の壺で、底部は上げ底を呈する。

土 製 品(222)

断面が偏平な部分には2個の穿孔(棒状工具による両面穿孔)があり、その下部には鰭 状のものがつまみ出されている。また、その下部は断面が円形を呈しており、粘土紐が 巻き付けられている。

(c) 第5層出土土器

縄文時代晩期中葉の土器がコンテナ5箱出土した。

深鉢I類

B-1 a(232) 内外面に二枚貝条痕が施される。深鉢 I 類 B-2 と同形態である。口唇部にキザミメは施されない。

B-1b(224•226) 224は深鉢Ⅰ類B-2と同形態である。 226の口縁部の屈曲は顕

著でない。そのため、224では口縁部横方向、体部は縦方向にヘラケズリが施されるのに対し、226では口縁部から体部まで一気にヘラケズリが施される。いずれも口唇部にキザミメは施されない。

- B-1 c(225•227•233) 233 はヘラ状工具によってナデが施されるが、225•227 の口 縁部には擦痕はみられない。いずれも口唇部にキザミメは施されない。
- B-2 c (228~230•234) いずれも口縁部には擦痕がみられない。 228には口唇部にキザミメ (D字)、 234にはキザミメ (O字) が施される。

深鉢Ⅱ類

236はこの類に含まれるが、口縁部破片のため細分は不可能である。

A-2 (241・242) いずれの突帯も張り付けによる。 241の突帯は上辺、下辺の両方から同時にナデが施され、断面形は二等辺三角形を呈する。 242の突帯は下辺の調整ののち、上辺にナデを施しており、断面形は直角三角形に近い。口唇部にキザミメは施されない。

深鉢底部

- A (237~239) いずれも体部外面にはケズリが施される。
- B (240) 底径は底部Aに含まれるものとほぼ同径を測り、同様の成形方法によって 成形されている。また、体部外面にはケズリが施される。
- C (243・244) いずれも底部外面はナデが施されている。底部A・Bとは異なり、小 円盤を成形し、その上に粘土紐を積み上げている。

浅鉢∏類

- A (246・247) 246は破片であるが、体部割れ口近くには補修孔と思われる円孔が 1 個みられる。
- B-1 (248) 破片のため、詳細は不明である。
- B-2a (249) 口縁部内面の肥厚はあまり顕著ではない。

浅鉢Ⅲ類 (251~253)

いずれも突帯は張り突けによる。 251の内面には沈線が施される。

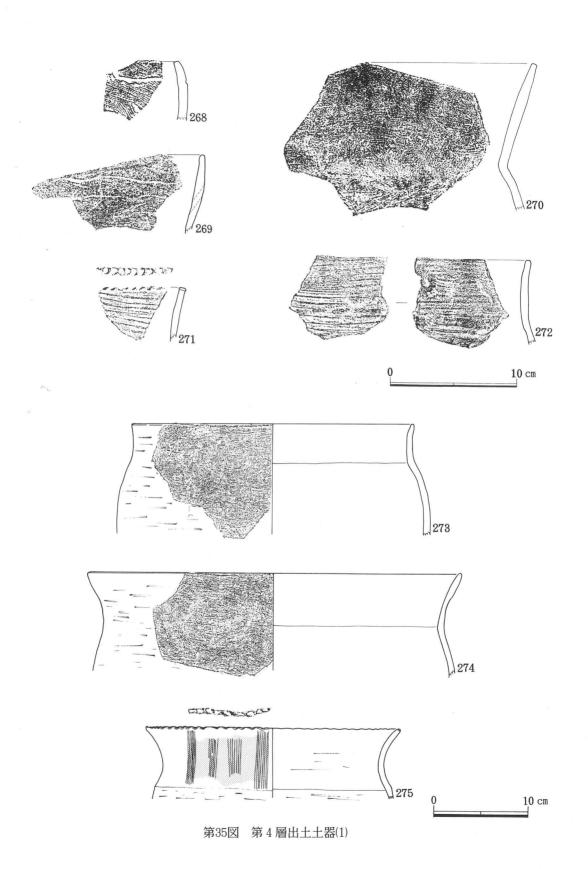
他地域の土器・他地域の影響を受けた土器(254~267)

亀ヶ岡式(254~258)、原下層式(266・267)、縄文を施す土器(259~265)がある。 254は 口唇部にB突起がみられる。 254~258 は大洞C 」式に比定されよう。

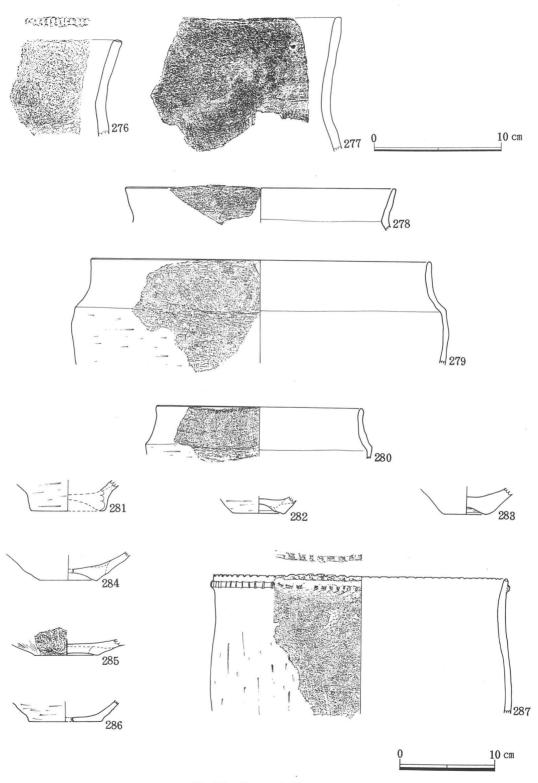
(d) 第4層出土土器

縄文時代後期の土器(268)の他に、縄文時代晩期中葉の土器がコンテナ4箱出土した。

深鉢 [類

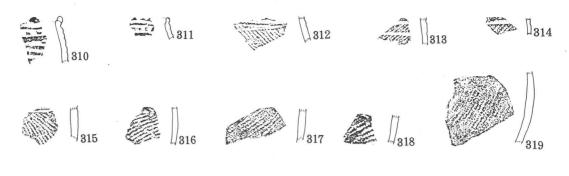


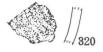
-44 -



第36図 第4層出土土器(2)









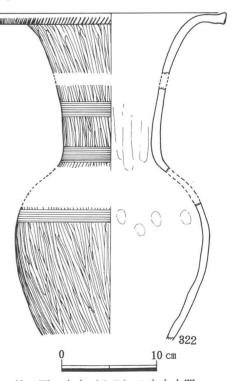


第38図 第4層出土土器(4)

- B-1b (270) 口縁部は横方向にヘラケズリが施される。口唇部にキザミメは施されない。
- B-1 c (269) 外面には粘土紐接合痕が残り、擦痕はみられない。口唇部にキザミメ は施されない。
- B-2a(271) 破片のため体部の調整は不明である。口唇部にキザミメ(D字)が施される。
- B-2b(274) 口唇部にキザミメは施されない。
- B-2 c (275~278) 275は口縁部外面に集合沈線が数単位施されており、その間は赤彩が施される。 275・276 はキザミメ (D字) が施される。
- B-3 a(272) 内外面ともに二枚貝条痕が 施される。口唇部にキザミメは施されない。
- B-3b(273) 口縁部には横方向のヘラケ ズリが施される。口唇部にキザミメは施さ れない。
- B-3c (279 \sim 280) いずれも口唇部にキザミメは施されない。

深鉢Ⅱ類

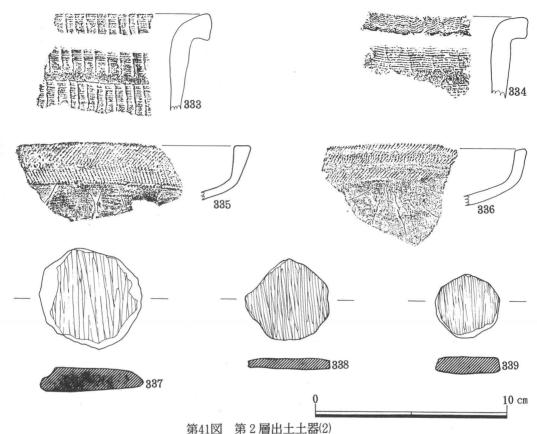
A-1 (288 \sim 292) いずれも突帯は張り付けによる。また、突帯のキザミメはD字である。 291は小破片のため不明であるが、他はいずれも口唇部にキザミメ (D字)が



第39図 小穴(SP)7出土土器

m323 10 cm 10.cm m_{330} 331 10 cm 332

第40図 第2層出土土器(1)



7,110 7,07

施される。

- B-1 (287) 突帯は張り付けによる。突帯・口唇部のキザミメはV字である。
- B-2 (293・294) いずれも突帯は張り付けによる。口唇部にもキザミメは施されない。

深鉢Ⅲ類(295~297)

いずれも頸部破片で口縁部を欠損する。肩部のキザミメはD字である。

深鉢IV類(298)

突帯は張り付けによる。突帯はキザミメ(D字)が施され、突帯の断面形は深鉢Ⅱ類、深鉢Ⅲ類に比べて丸味を帯びる。

深鉢底部

- A (281~285) 282・283 の底部周辺はヘラミガキが施される。
- B (286) 底部の器壁が比較的薄いことから、底部Aの成形方法とは異なり、円盤状の粘土板の上に粘土紐を積み上げることによって成形したものと思われる。

浅鉢Ⅱ類(302・303)

小破片のため細分は不可能であるが、いずれもこの類に含まれる。

浅鉢Ⅲ類(304~306)

いずれも突帯は張り付けによる。 304の体部はヘラケズリが施される。

ミニチュア土器(300・301)

いずれも粗製土器である。300は浅鉢、301は深鉢のミニチュアである。

他地域の土器・他地域の影響を受けた土器(307~321)

亀ヶ岡式(307~312)、原下層式(321) 、縄文を施す土器(313~320)がある。 307~312 は大洞C」式に否定されよう。

(G) 小 結

今回の調査では3層にわたる遺物包含層等から、数片の縄文時代中期・後期・晩期前半の土器と多量の縄文時代晩期中葉の土器を検出することができた。これらの晩期中葉の土器は前述のように分類をおこない、報告を行なった。本調査地で出土した深鉢は突帯を施したもの(深鉢II類〜深鉢IV類)も微量みられるが、ケズリ調整を主とし、頸部の屈曲するものが大部分を占める(深鉢I類【B】(2)・(3))。深鉢の底部も丸底(深鉢底部【C】)・平底(深鉢底部【B】・【D】)が少量みられるものの、上げ底を呈するもの(深鉢底部【A】)が大部分を占める。浅鉢は突帯文を施すもの(浅鉢II類)も微量含まれているが、突帯を施さず、頸部が屈曲し、口縁部が長くのびるものが少量みられる(浅鉢II類【B】)。また、七宝文を施すもの(浅鉢I類)は第6層土器集積(SW1)から1片出土したのみである。これらの土器はその特徴から滋賀里IIIも式に比定される(註2)。また、第6・5層出土の突帯を施す土器(深鉢II類・浅鉢II類)は滋賀里IV式で、第4層出土の深鉢II類は船橋式、深鉢IV類は長原式の特徴をもつ。これらのことから、縄文時代中期・後期・晩期前半の土器を数片含んでいるものの、第6層(土器集積1)・第5層出土土器のほとんどは滋賀里III b 式であるが、一部滋賀里IV式もみられ、また、第4層出土土器はそのほとんどが滋賀里III b 式であるが、一部滋賀里IV式・船橋式・長原式もみられると言えよう。

また、在地の土器にまじって他地域の土器が少量出土した。これらの土器はその形態・文様から中部瀬戸内地方の原下層式、東北地方の大洞式B-C式 \sim C」式と思われる(註 3)。原下層式・大洞B-C、C」式の土器は本調査地だけではなく、大阪府下の滋賀里皿式の遺跡の大部分から出土していることから(註 4)、当時の活発な地域間交流がうかがえよう。

註

- 1. 家根祥多「縄文土器から弥生土器へ」『縄文から弥生へ』帝塚山考古学研究所(1984)
- 2. 家根祥多「近畿地方の土器」『縄文文化の研究』 4 (1981)

- 3. 奥田尚氏の分析(第5章に掲載)では形態・文様から、亀ケ岡式・原下層式と判断される 土器の中にも在地の土器と同様の胎土をもつものがあることが指摘されている。
- 4. 大阪市森の宮遺跡、東大阪市の日下貝塚・鬼塚遺跡、富田林市錦織南遺跡等がある。

第2表 出土土器観察表

, da. d. d.					城む込み(SO) 1
動 後 切 切	器種	法量(現存率) (単位 cm)	成形。調整	色調。胎土	焼成•備老
	ò	体部破片		外ー黒褐色~灰褐色。内一褐灰色~に ぶい赤褐色。断一暗赤灰色~にぶい橙 色。白色砂粒(小・中・大)少量、雲母	焼成良好。外面・内面の の一部に煤。
			内面 ナデ。	(小・中・大) やや多量、角関石(小 ・中・大) やや多量含む。生駒西麓。	
23	خ	体部破片	外面 縄文L.K。 内面 ナデ。	外ー黒褐色~褐色。内・断ーにぶい褐色。白色砂粒(小・中・大)少量、角関石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。外面に煤。
က	¢.	体部破片	外面 ナデののち、沈線。 内面 ナデ。	外一灰赤色。内・断一にぶい赤褐色。 白色砂粒(小・中)少量、雲母(小・ 中)少量、角閃石(小・中)少量を含 む。生駒西麓。	焼成良好。
4	¢.	口縁部破片	外面 ナデののち、沈線。 内面 ナデ。	外・内・断ー黒褐色~にぶい橙色。 白色砂粒 (小・中)少量、雲母 (小・中)少量、角関石 (小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。内面に煤。
ro %7	深	推定口径 33.8(1/2)	ロ唇部にキザミメ (D字)。 外面 ロ縁部ー二枚貝条痕。体部 ーヘラケズリ。 内面 ナデ。	外一黒褐色。内・断一にぶい楢色。 白色砂粒 (小・中・大) やや多量、角 閃石 (小・中) 少量、雲母 (小・中) 少量、雲母 (小・中) 少量を含む。	焼成良好。外面に煤。
9	深	推定口径 41.2(1/8)	ロ唇部にキザミメ (V字)。 外面 ヘラケズリ。 内面 ナデ。	外ー暗赤褐色~にぶい橙色。内・断一褐灰色~にぶい橙色。白色砂粒(小・中・大) 砕多量、雲母(小・中)少量、角因行(小・中)少量、角関石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。外面に煤。
	渁	推定口径 27.6(1/8)	外面 口縁部-ヘラ状工具による ナデ。体部-ヘラケズリ。 内面 口縁部-ナデ。体部-ヘラ 状工具によるナデ。	Kally Imim II.	焼成良好。口縁部~体部 外面の一部に煤。口縁部 内面に黒斑。

遺物 配品	器	重	法 量 (現存率) (単位 cm)		成形•調整	色 調 • 胎 土	焼成•備老
∞	跃	禁	推定底径 5.6(1/2)	外面 内面	体部-ヘラケズリ。底部- ナデののち、周縁のみヘラ ミガキ。 ナデ。	外ーにぶい橙色。内ー黒褐色〜にぶい橙色。断ー赤褐色。白色砂粒(小・中橙色。断ー赤褐色。白色砂粒(小・中大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中・大)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。体部内面に煤
6	跌	禁	底 径 4.6(完存)	A 石 面 面	体部 – ナデ。底部 – ナデののち、周縁のみへラミガキ。 ナデ。		焼成良好。底部内面に煤
10	账	蓉	底 径 6.2(完存)	外面 内面	7,	外-橙色。内・断-にぶい黄橙色。白 色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母 (小・中) 少量、角閃石 (小・中) 少 量を含む。生駒西麓。	焼成良好。
П	账	本	推定底径 6.0(1/2)	水 内 固 固	体部-ナデ。底部-ナデ。 ヘラ状工具によるナデ。	外-にぶい橙色。内・断-黒色~にぶい褐色。白色砂粒(小・中・大)少量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中) 少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。底部内面に煤
12	渁	李	口縁部破片	四 女 石 国 国 国 国 国	ロ唇部にキザミメ(D字)。 外面 二枚貝条痕。 内面 ナデ。	外・内・断ーにぶい黄橙色。白色砂粒 (小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を 力)の量、角閃石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。
13	账	蓉	口縁部破片	人 四 回	二枚貝条痕。 ナデ。	外・内ー黒褐色。断一褐灰色。白色砂粒 (小・中・大) 少量、雲母 (小・中・大) 少量、雪母 (小・中) 少量、角関石 (小・中) 少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部外面・ 内面に煤。
14	脒	≉	口縁部破片	<u>冬</u> 石 桓 桓	二枚貝条痕。 ナデ。	外・内・断ー黒褐色~にぶい褐色。白 色砂粒 (小・中) 少量、雲母 (小・ 中) 少量、角閃石 (小) 少量を含む。 生駒西麓。	焼成良好。外面・内面に 煤。

遺物番号	器	重	法 量 (現存率) (単位 cm)		成形。調整	色 調 • 胎 土	焼成•備考
15	迷	禁	口縁部破片	外面 内面	ヘラケズリののち、一部ナ デ。 ナデ。	外・内・断ー暗赤灰色~明赤褐色。白 色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母 (小・中)少量、角閃石(小・中)少 量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部外面内面に揉。
16	跌	李	口縁部破片	外面 外面	ロ緑部ーナデ。体部-ヘラ ケズリ。 ナデ。	外-褐灰色~灰褐色。内・断ーにぶい 橙色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小 ・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。
17	幾	華	推定口径 24. 6(1/8)	四 女 石 쪰 画 届	ロ唇部に突起。 外面 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキ。ロ緑部下に沈 線。	外-黒色~灰褐色。内-灰褐色。断-にぶい橙色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)やや多量、角関石(小・中)をや多量、角関石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。黒色磨研。
18	幾	鉢?	底部破片	女 石 固	体部 - ヘラミガキ。底部 - ヘラミガキ。 ナデ。	外ー黒褐色~にぶい赤褐色。内-暗赤褐色。断-暗赤灰色~明赤褐色。白色砂粒(小・中)少量、雲母(小・中)少量、角型、山・中)少量、角関石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。体部外面•内 面に煤。
19	郑	李	口縁部破片	口唇部 外面 内面	ロ唇部に突起。 外面 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキ。	外-黒色。内-黒褐色。断-にぶい褐色。白色砂粒(小・中)を少量、雲母(小)を少量を含む。	焼成良好。黒色磨研。
20		ن	体部破片	外面 内面	沈線。結節縄文。 ヘラミガキ。	外-黒褐色。内・断-褐灰色。白色砂 粒 (小・中) 少量、雲母 (小・中) 少 量を含む。	焼成良好。

土器集積 (SW) 1

工命来價(3w)1	生 焼成・備考	5章「土器胎土の砂 焼成良好。	- にぶい黄橙 大) やや多 大) やや多 に、黒色砂粒	- 明褐灰色~ 焼成良好。口縁部~体部 5砂礫観察」 上半外面・体部下半内面 に煤。	5。内・断- 焼成良好。体部内面の―ト・中)、雲 部に煤。 1 (小・中・ 2 (小・中・	持名ははははりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり<th>5色。内一黒 地位 (小・中 ト・中) 少量 さむ。生駒西</th><th>5福色。内- 9砂粒(小・ 9砂粒(小・ 中・大)多 やや多量を</th>	5色。内一黒 地位 (小・中 ト・中) 少量 さむ。生駒西	5福色。内- 9砂粒(小・ 9砂粒(小・ 中・大)多 やや多量を
	色調。 胎	にぶい黄橙色。第5章「士 機観察」に記載。	外・断ーにぶい稽色。内ーにぶい黄橙 色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、黒色砂粒 (小・中)少量を含む。	夕梅云	外ー黒褐色~にぶい赤褐色。内・断一にぶい橙色。白色砂粒(小・中)、雲母(小・中)、山田石石(小・中)、雪子(小・中)、上野田石(小・中・大)、少量を含む。生駒田麓。	外・断ー褐灰色~にぶい赤褐色。内一 黒褐色。白色砂粒(小・中・大)小量 雲母(小)少量、角閃石(小)少量を 含む。生駒西麓。		外・断ー褐灰色~にぶい赤褐色。内一
	成形。 調整	外面 押し引き、縄文。 内面 ナデ。	外面 ナデののち、沈線。 内面 ナデ。	波状口縁。 外面 口縁部ーナデののち、ヘラ ケズリ。体部ーヘラケズリ 内面 ナデ。	波状口線 (キザミメ D字) 外面 ヘラケズリ。 内面 ナデ。	放状口縁。 外面 口縁部上半ーナデ。口縁部 下半~体部-ヘラケズリ。 内面 ナデ。	放状口縁。 外面 口縁部ーナデののち、ヘラ ケズリ。体部-ヘラケズ リ。 内面 ナデ。	波状口縁。 外面 口縁部ーナデののち、ヘラ ケズリ。体部ーヘラケズリ。 内面 ナデ。
- 1	法 量 (現存率) (単位 cm)	破片	体部破片	推定口径 31.2(1/4)	推定口径 10.6(1/6)	推定口径 18.8(1/3)	口縁部破片	口縁部破片
	器種	深	c·	紫	深	紫	黙	踩
	遺物 番号	21	22	23	24	25	56	27

焼 成。 備 考	焼成良好。口縁部外面の 一部・内面に煤。	焼成良好。口縁部~体部 外面・口縁部~体部内面 に煤。	焼成良好。体部外面・口 緑部~体部内面に煤。	焼成良好。口縁部~体部 外面・内面に煤。	焼成良好。外面に煤。	焼成良好。内面に黒斑。
色調。胎土	外ー褐灰色~にぶい橙色。内・断-灰黄褐色。白色砂粒(小・中)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を与む。生駒西麓。	外ー暗赤褐色~にぶい赤褐色。内一黒褐色。断ーにぶい橙色。白色砂粒(小・中)やや多量、雲母(小・中・大)多量、角閃石(小・中・大)多量を含む。生駒西麓。	外・断一暗赤褐色~にぶい赤褐色。内 一黒褐色。白色砂粒(小・中・大)や や多量、雲母(小・中)少量、角閃石 (小・中)少量を含む。生駒西麓。	外・断ー黒褐色~ヒミルン橙色。内-褐灰色~黒褐色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	外ー黒褐色~にぶい橙色。内一褐灰色。断一明褐灰色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中・大)多量、角閃石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	外・内・断一灰黄褐色。白色砂粒(小・中・大)少量。雲母(小・中・大) 少量、角閃石(小・中・大) 生物西麓。
成形。調整	波状口縁。 外面 口縁部上半ーナデ。口縁部 下半ーヘラケズリ。体部ー ヘラケズリ。	波状口縁。 外面 口縁部-ヘラケズリののち 上端のみナデ。体部-ヘラ ケズリ。 内面 ナデ。	外面 ヘラケズリ。 内面 ナデ。	波状口縁。 外面 ヘラケズリ。 内面 口縁部ーナデ。体部-ヘラ 状工具によるナデ。	波状口緑。 外面 口緑部~体部-ヘラケズリ。 内面 ナデ。	□唇部に突起・キザミメ (D字)。 外面 ナデ。 内面 ナデ。
法量(現存率) (単位 cm)	口縁部破片	口縁部~体部破片	口縁部破片	口縁部破片	口縁部破片	口縁部破片
器種	深	深	踩	踩	毲	深
量 番 号	28	29	30	31	32	33

遺物番号	器	重	法	成形。調整	色調。 胎土	焼成•備考
34	烪	#	口縁部破片	ロ唇部にキザミメ (D字)。 外面 口縁部ーナデ。体部-ヘラ ケズリ。 内面 ナデ。	外ーにぶい赤褐色。内・断ー黒褐色~明赤褐色。白色砂粒(小・中)少量、雲母(小・中)小量、角閃石(小・中)少量を含む。生物西麓。	焼成良好。体部外面に煤。
35	烪	***	口縁部破片	波状口縁。 外面 口縁部ーナデ。体部ーヘラ ケズリ。 内面 ナデ。	外・内ー褐灰色~~にぶい橙色。断一浅黄橙色。白色砂粒(小・中)少量、雲母(小・中)少量を含む。	焼成良好。口縁部外面に 煤。口縁部内面に黒斑。
36	朕	***	口縁部破片	波状口縁。 外面 口縁部ーナデ。体部ーヘラ ケズリののち、ナデ。 内面 ナデ。	外一赤灰色~赤褐色。内。断一灰褐色 ~橙色。白色砂粒(小。中。大)少量、雲母(小。中)少量、角閃石(小 。中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。体部外面の一部に集。
37	踩	禁	口縁部破片	波状口縁。 外面 ナデ。 内面 ナデ。	外・内・断ー橙色。第5章「土器胎土 の砂礫観察」に記載。	焼成良好。内面の一部に 煤。
38	炭	₩	口縁部破片	波状口縁。 外面 口縁部ーナデ。体部ーヘラ ケズリ。 内面 ナデ。	外ー橘灰色~にぶい赤褐色。内・断一淡赤橙色~橙色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中・大)やや多量、角閃石(小・中・大)や音を量、角閃石(小・中・大)やや多量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部~体部外面に煤。
39	朕	☆	口縁部破片	波状口縁。 外面 ナデ。 内面 ナデ。	外・断ー褐灰色~にぶい黄橙色。内-黒色。白色砂粒(小・中)やや多量、 雲母(小・中・大)やや多量、角閃石 (小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。内面に煤。
40	烪	₩ 1	推定口径 23.0(1/3)	波状口縁。 外面 口縁部-ナデ。体部-繊維 東によるケズリ。 内面 ナデ。	外・内・断ーにぶい褐色。白色砂粒 (小・中・大)やや多量、雲母 (小・中・大)やや多量、角閃石 (小・中)やや多量を含む。	焼成良好。口縁部の一部 外面・口縁部~体部に内 面に煤。

遺物 番号	器	種	法量(現存率) (単位 cm)	成形。調整	6 調 • 胎 土	焼成•備老
41	账	◆	推定口径 14.6(1/3)	波状口縁。口唇部にキザミメ (D 字)。 外面 ヘラミガキ 内面 口縁部ーナデ。体部ーヘラ 状工具によるナデ。	外-黒褐色。内・断-褐灰色~にぶい 橙色。白色砂粒(小・中)少量、雲母 (小・中)少量、角閃石(小・中)少 量を含む。生駒西麓。	焼成良好。体部外面・内面に煤。口縁部~体部上半に赤彩。
42	跌	本	推定口径 17.2(1/3)	外面 口縁部ーナデののち、ヘラ ミガキ。体部ーヘラケズリ ののち、ヘラミガキ。 内面 口縁部ーナデののち、ヘラ ミガキ。体部ーナデ。	外・内-黒褐色。断-にぶい橙色。 第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載	焼成良好。外面・内面に煤。
43	朕	李	推定口径 22. 6(1/6)	ロ唇部にキザミメ。 外面 二枚貝条痕ののち、一部ナ デ。 内面 ナデ。	外ー黒褐色~にぶい橙色。内・断-黒褐色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中・大)やや多量、角関石(小・中・大)やや多量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部~体部外面•内面に煤。
44	炭	李	推定口径 7.2(1/4)	外面 二枚貝条痕。 内面 ナデ。	外・内-黒褐色。断-黒褐色~明褐灰色。白色砂粒(小・中)少量、雲母(小・中・大)多量、角閃石(小・中)やや多量を含む。生駒西麓。	焼成良好。外面・内面に 煤。
45	朕	李	推定口径 33. 0(1/5)	ロ唇部に突起(キザミメV字)。 キザミメ(V字)。 外面 口縁部-二枚貝条痕。体部 -ヘラケズリ。 内面 ナデ。	外一暗赤褐色。内-黒色~にぶい橙色。断-浅黄橙色。白色砂粒(小・中)少量、雲母(小・中)微量、角閃石(小・中)微量、角閃石(小・中)微量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部内面に黒斑。
46	朕	4	推定口径 29.0(1/6)	ロ唇部にキザミメ (D字)。 外面 ロ緑部-二枚貝条痕。体部 -ナデ。 内面 ナデ。	外・断ー褐灰色~にぷい橙色。内-黒色。第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。口縁部外面の一部、内面に煤。

遺物番号	器	種	法 量 (現存率) (単位 cm)	成形•調整	色 調 • 胎 土	焼成•備考
47	朕	1 4	10	ロ唇部にキザミメ (D字)。 外面 ロ縁部ー二枚貝条痕。体部 ーヘラケズリ。 内面 ナデ。	外・断ーにぶい褐色。内ー黒色。白色砂粒 (小・中) 多量、雲母 (小・中) やや多量、角閃石 (小・中) やや多量 を含む。生駒西麓。	焼成良好。内面に煤。
48	朕	*	推定口径 48.2(1/6)	ミメ (D字) 条痕。	外ーにぶい橙色。内ー黒色〜にぶい橙 色。断ー褐灰色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、 角閃石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部外面に煤。
49	践	*	口縁部破片	ロ唇部に突起、キザミメ (D字)。 外面 ロ縁部ー二枚貝条痕。体部 ーヘラケズリ。 内面 ナデ。	外・内・断 広褐色~にぶい橙色。第 5 章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。口縁部~体部外面、口縁部内面に煤。
50	践	4	口縁部破片	ロ唇部にキザミメ (D字)。 外面 ロ縁部-二枚貝条痕。体部 -ヘラケズリ。 内面 ナデ。	外ー褐灰色~にぶい褐色。内-黒色。断ー浅黄橙色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量、麓。	焼成良好。内面に煤。
21	朕	***	口縁部~体部破片	ロ唇部にキザミメ(D字)。 外面 口縁部-二枚貝条痕。体部 ヘラケズリ。 内面 ナデ。	外・内・断ーにぶい黄橙色。白色砂粒 (小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角関石(小・中)少量を む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部~体部外面の一部に煤。
52	朕	ব	口縁部破片	口唇部にキザミメ (D 字)。 外面 二枚貝条痕。 内面 ナデ。	外・内ーにぶい赤褐色。断ーにぶい橙色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中・大)やや多量、角因石(小・中)やや多量を含む。生駒西麓。	焼成良好。

動 場	器	種	法量(現存率) (単位 cm)	成形。調整	色調。 胎土	焼成•備老
23	践	金本	口縁部破片	口唇部にキザミメ (D字)。 外面 二枚貝条痕。 内面 ナデ。	外・断ーにぶい橙色。内ー黒色~にぶい黄色のウンサい黄橙色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中・大)やや多量、角閃石(小・中・大)やや多量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部内面に煤。
54	朕	本	口縁部破片	ロ唇部にキザミメ (D字)。 外面 二枚貝条痕。 内面 ナデ。	外・断ーにぶい樒色。内-黒色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)、角閃石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。内面に煤。
22	账	**	口縁部破片	ロ唇部にキザミメ (D字)。 外面 二枚貝条痕。 内面 ナデ。	外ー褐灰色~にぶい褐色。内・断ーに ぶい橙色。白色砂粒(小・中)少量、 雲母(小・中)微量、角閃石(小・ 中)微量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部外面に煤。
26	践	**	口縁部破片	外面 口縁部-二枚貝条痕ののち、ヘラケズリ。体部-ヘラケズリ。 ラケズリ。 カケズリ。 内面 ナデ。	外-黒褐色。内-黒褐色~にぶい楢色 断-淡橙色。白色砂粒(小・中・大) 多量、雲母(小・中・大)多量、角閃 石(小・中・大)多量を含む。生駒西 麓。	焼成良好。口縁部~体部上半外面、口縁部下半~ 上半外面、口縁部下半~ 体部内面に煤。
57	烪	禁	口縁部破片	外面 二枚貝条痕。 内面 ナデ。	外・内ー褐灰色~にぶい褐色。断一浅 黄橙色。白色砂粒(小・中・大)やや 多量、雲母(小・中)少量、角閃石 (小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。外面の一部、 内面の一部に煤。
28	踩	茶	口縁部破片	ロ唇部にキザミメ(二枚貝のちょうつがいによる)。 外面 口縁部ーナデ。体部-二枚 貝条痕。 内面 ナデ。	外-榕色。内・断-にぶい黄橙色。白色砂粒(小・中)少量、雲母(小・中)少量、黒色砂粒(小・中)や今多量を含む。	焼成良好。内面の一部に煤。

遺物番号	器	種	法量(現存率) (単位 cm)	成形。調整	色調。胎士	焼 成・ 備 考
59	践	黄	口縁部破片	ロ唇部にキザミメ (D字)。 外面 ヘラケズリ。 内面 ロ縁部ーナデ。体部ーヘラ 状工具によるナデ。	外・断一黒褐色~にぶい褐色。内一にぶい褐色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中・大)やや多量、角関石(小・中・大)やや多量、角関石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部~体部 外面、口縁部~体部内面 に煤。
09	账	≉	口縁部破片	ロ唇部にキザミメ(0字)。 外面 ヘラケズリ。 内面 ナデ。	外・内・断ーにぶい橙色。白色砂粒 (小・中・大)やや多量、雲母(小・ 中)小量、角閃石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部内面に 煤。
61	脒	蒋	口縁部破片	外面 ヘラケズリ。 内面 ナデ。	外・断ー黒褐色~にぶい橙色。内一黒褐色。白色砂粒(小・中)やや多量、 雲母(小・中)少量、角閃石(小・ 中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部~体部 外面の一部・内面に煤。
62	跃	**	口縁部破片	外面 ヘラケズリ。 内面 ナデ。	外ー黒褐色~にぶい褐色。内ーにぶい褐色。断ー褐灰色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角関石(小・中)少量、角関石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。外面に煤。
63	跃	禁	口縁部破片	ヘラケズリ。 ナデ。	外ー黒褐色~にぶい赤褐色。内一黒色。断ーにぶい橙色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)やや多量、角関石(小・中)かを多量、角関石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部~体部外面・内面に煤。
64	朕	A	口縁部破片	外面 ヘラケズリ。 内面 ナデ。	外・断ー褐灰色~にぶい橙色。内-黒褐色。白色砂粒(小・中・大)多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を開石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部内面に煤。

遺物番号	器	重	法量(現存率) (単位 cm)		成形・調整	色調•胎士	焼 成。備考
65	践	鉢	口縁部破片	外面 内面	口縁部~体部-ヘラケズリナデ。	外・断ー褐灰色~にぶい褐色。内-黒褐色。白色砂粒(小・中・大)多量、雲母(小・中)少量を含む。	焼成良好。口縁部外面の 一部、内面に煤。
99	账	苓	口縁部破片	外	ヘラケズリ。 ナデ。	外ーにぶい稽色。内ー褐灰色~にぶい 橙色。断-明褐灰色。白色砂粒(小・ 中・大)やや多量、雲母(小・中)少 量、角閃石(小・中)少量を含む。生 駒西麓。	焼成良好。外面・内面に煤。
29	账	横	口縁部破片	外面,	ヘラケズリめのち、ナデ。 ナデ。	外・断ー褐灰色~にぶい稽色。内-黒褐色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部外面の一部・内面に煤。
89	账	***************************************	口縁部破片	<u>冬</u> 内 面 面	ナデののち、ヘラケズリ。ナデ。	外・断ーにぶい褐色。内-黒色。白色砂粒 (小・中・大) やや多量、雲母(小・中) 少量、角閃石 (小・中) 少量 豊を合む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部外面・内面に煤。
69	践	***	口縁部破片	太 百 面	ヘラケズリ。 ナデ。	外・断ーにぶい稽色。内ー黒褐色。白色砂粒(小・中・大)少量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。内面に煤。
02	账	泰	口縁部破片	人 百 回	ヘラケズリ。 口縁部-ヘラミガキ。体部 -ナデ。	外・内ー褐灰色~にぶい橙色。断一橙色。白色砂粒(小・中・大)砕多量、 雲母(小・中・大)多量、角閃石(小 ・中・大)多量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部外面に煤。
71	踩	禁	口縁部破片	外面 内面	ヘラケズリ。 ナデ。	外・内-黒褐色~にぶい赤褐色。断-橙色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中・大)多量、角閃石(小・中)多量を負む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部外面に煤。

遺物品	器	種	法量(現存率) (単位 cm)	成形・調整	色調。 胎土	焼 吹・備 考
72	朕	本	推定口径 30.8(1/4)	外面 ヘラケズリ。 内面 ヘラ状工具によるナデ。	外・内・断一灰黄褐色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(中)少量、角閃石(小・中)少量を含む。生物西麓。	焼成良好。口縁部内面に黒斑。
73	账	***************************************	推定口径 23.2(1/2)	ロ縁部に突起(推定4個)。 外面 ヘラケズリ。 内面 ナデ。	外・断一暗赤褐色~橙色。内一橙色。 白色砂粒(小・中・大)多量、雲母 (小・中) 微量、角閃石(小・中) 微量を含む。	焼成良好。外面に煤。
74	朕	***	口縁部破片	ロ唇部にキザミメ(D字)。 外面 へう状工具によるナデ。 内面 ナデ。	外-灰褐色。内-黒色。断-にぶい橙色。白色砂粒(小・中・大)少量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を開石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部外面の一部・内面に煤。
75	跌	**	口縁部破片	ロ唇部にキザミメ(D字)。 外面 へう状工具によるナデ。 内面 ナデ。	外・内・断-黒褐色~にぶい橙色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を含む。生物西麓。	焼成良好。口縁部外面・内面の一部に煤。
92	跌	禁	口縁部破片	ロ唇部にキザミメ(D字)。 外面 ヘラ状工具によるナデ。 内面 ナデ。	外・断ーにぶい黄橙色。内-明赤褐色。第5章「土器胎土の砂礫観察」に 記載。	焼成良好。口縁部内面の一部に煤。
77	朕	李	口縁部破片		外・内・断ー褐灰色~にぶい橙色。白色砂粒(小・中)少量、雲母(小・中)少量、雪母(小・中)少量、雪母(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部外面・内面の一部に黒斑。
78	账	4	口縁部破片	ロ唇部にキザミメ (D字)。 外面 ロ縁部-ヘラ状工具による ナデ。体部-ヘラケズリ。 内面 ナデ。	外・断ー褐灰色~にぶい橙色。内-黒褐色~明褐灰色。白色砂粒(小・中・褐色~明褐灰色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)やや多量、角閃石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部内面のに煤。

遺物番号	器	種	法量(現存率) (単位 cm)	成形。調整	色調•胎土	焼 以。 備 考
62	脒	*	口縁部破片	ロ唇部にキザミメ (D字)。 外面 口縁部ーナデ。体部ーヘラ ケズリ。 内面 ナデ。	外ーにぶい橙色。内・断ー黒褐色~に ぶい橙色。白色砂粒(小・中・大)少量、雲母(小・中)少量を含む。	焼成良好。内面に煤。
80	账	本	推定口径 35.2(1/4)	ロ唇部にキザミメ (D字)。 外面 口縁部ーナデ。体部ーヘラ ケズリ。 内面 ナデ。	外・内・断一灰黄褐色。白色砂粒(小・中)少量、雲母(小・中)少量、角 関石(小・中)少量を含む。	焼成良好。口縁部外面に煤。
81	践	**	推定口径 40.0(1/6)	ロ唇部にキザミメ (D字)。 外面 ロ縁部ーナデ。体部ーヘラ ケズリ。 内面 ナデ。	外・内・断一灰黄褐色。白色砂粒(小・中・大)少量、雲母(小・中)少量 角閃石(小・中・大)少量を含む。 生駒西麓。	焼成良好。体部外面に煤
83	账	茶	推定口径 34.0(1/6)		外・内・断ー黒褐色~にぶい橙色。白色砂粒(小・中・大)少量、雲母(小・中)少量、角間(小・中・大)を ・中)少量、角関石(小・中・大)を 少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部~体部 外面・口縁部~体部内面 の一部に煤。
83	账	蒋	推定口径 34.4(1/5)		外・断ー黒褐色~にぶい赤褐色。内一黒褐色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石 (小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部外面・ 口縁部~体部内面に煤。
84	踩	泰	推定口径 29.4(1/5)	外面 口縁部ーナデ。体部-ヘラ ケズリ。 内面 ナデ。	外・断一灰黄褐色~にぶい褐色。内一黒褐色~褐灰色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量、駒西麓。	焼成良好。口縁部~体部 外面•内面に煤。
85	踩	森	推定口径 23.4(1/5)	外面 口縁部-粘土紐接合痕残 存。ナデ。体部-ヘラケズ リ。 内面 ナデ。	外・内・断-灰黄褐色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角関石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部内面に煤。

• 胎 土 焼 成 • 備 考	外・内・断一灰黄褐色。白色砂粒(小) 焼成良好。口緑部内面に ・中・大)少量、雲母(小・中)微 煤。 量、角閃石(小・中)微量を含む。	外・内・断ー褐灰色~にぶい黄橙色。 焼成良好。口縁部~体部白色砂粒(小・中・大)少量、雲母 外面の一部・口縁部~体(小・中)少量、角閃石(小・中)少 部内面の一部に煤。量を含む。	外・内・断ー褐灰色~にぶい橙色。白 焼成良好。口緑部内面に 色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母 煤。 (小・中)少量、角閃石(小・中)少 量を含む。生駒西麓。	外・内・断ー黒褐色~灰褐色。白色砂 焼成良好。口縁部外面・粒(小・中)やや多量、雲母(小・内面の一部に煤。中)少量、角閃石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	外一褐色。内・断一にぶい橙色。白色 焼成良好。 砂粒(小・中・大)やや多量、雲母 (小・中)少量、角閃石(小・中)少 量を含む。牛駒西麓。	外・内・断一灰褐色~にぶい赤褐色。 焼成良好。 白色砂粒 (小・中・大)多量、雲母 (小・中)多量、角閃石 (小・中)多 量を含む。生駒西麓。	外ーにぶい褐色。内・断一灰黄褐色。 焼成良好。口縁部~体部 白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲 外面・口縁部内面に煤。 母(小・中・大)少量、角閃石(小・ 中)少量を含む。生駒西麓。
白	外・内・断-灰黄褐色。 ・中・大)少量、雲母 量、角閃石(小・中)後	外・内・断ー褐灰色~にぶい黄橙色 白色砂粒 (小・中・大) 少量、雲 (小・中) 少量、角閃石 (小・中) 量を含む。	外・内・断ー褐灰色~にぶい橙色。 色砂粒(小・中・大)やや多量、雲 (小・中)少量、角閃石(小・中) 量を含む。牛駒西麓。	外・内・断ー黒樹 粒 (小・中) やや 中) 少量、角閃石 む。生駒西麓。	外ー褐色。内・断一は砂粒(小・中・大) 砂粒(小・中)少量、角り 量を含む。牛駒西麓。		外ーにぶい褐色。内・断一万日色砂粒(小・中・大)や社母 (小・中・大) 少量 (小・中・大) 少量、角切中) 少量を含む。生駒西麓。
成形。調整	, ř, †	□ 口縁部-ナデ。体部-ヘラケズリ。「ナデ。	1 口緑部ーナデ。体部-ヘラケズリ。 ケズリ。 1 ナデ。	ナギ。・デナー・ディング	「口縁部ーナデ。体部ーヘラケズリ。ナデ。	「口縁部-ナデ。体部-ヘラケズリののち、一部ヘラミガキ。「ナデ。	15F
法 量 (現存率) (単位 cm)	推定口径 32.8(1/4) 内面	口縁部~体部破片	口綠部破片	口綠部破片 內面	口綠部破片	口綠部破片 內面	口唇部 小面 口線部破片 内面
器種	茶	※ 禁	森	深	森	深	※
量 番 号	98	87	88	89	06	91	85

深 鉢 口縁部破片 内面 トラケズリ。 内 ー におい 赤褐色。内・断ーにぶい 結 規収良好。 深 鉢 口縁部破片 内面 トラ・スラケズリ。 A・助・第5章 「上器胎土の砂糠観索」に 外面に線。 内面 トラ・スプスリ。 A・内・断・暗赤褐色~複色。 日色砂 様成良好。 内面 トラ・スプスリ。 A・内・断・暗赤褐色~複色。 日色砂 様成良好。 内面 トラ・スプスリ。 A・内・断・暗赤褐色~複色。 日色砂 様成良好。 は 内面 トラ・スプスリ。 A・内・断・暗赤褐色~を垂っ 壁 様に良好。 内面 トラ・スプスリ。 A・一般を表した。 上野西麓。 地域良好。 上野西麓。 内面 トラ・スプスリ。 日色砂粒(小・中・大)やや多量、雲 塚。 日色砂粒(小・中・大)やや多量、雲 塚。 内面 トラ・スプスプスリ。 日色砂粒(小・中・大)やや多量、雲 塚。 内面 トラ・スプスプスリ。 ス・断・高灰色~にぶい 赤褐色。 内面 トラ・スプスプスリ。 ス・断・一様のとしておい 赤褐色。 内面 トラ・スプスプスリ。 大・断・一様のと 白色砂粒(小・中・大)をや 部に線。 今量、雲母 (小・中) 少量、全色で、生駒西麓。 内面 ナラ。 内面 ナラ・ イ・エネラケズリ。 大・佐色・日の砂粒(小・中)を少量 角肉石(小・中)を少量 角肉石(小・中)を少量、角肉石(小・中)を少量 角肉石(小・中)を少量 角肉石(小・中)を少量 角肉石(小・中)を少量 角肉石(小・中)を少量 角肉石(小・中)を少量 角肉石(小・中)を少量 角肉石(小・中)を少量 角肉石(小・中)を少量 量、雲母(小・中)の量、角肉石(小・中)を少量 角肉石(小・中)の量、角肉石(小・中)の量、角肉石(小・中)の量、角肉石(小・中)の量、角肉石(小・中)の量、角肉石(小・中)の量、角肉石(小・中)の量、角肉石(小・中)の量、角肉石(小・中)を少量 量、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、二、	動 品	器	種	法 量 (現存率) (単位 cm)	以 形 • 調 幣	色調。胎士	焼成•備考
深 鉢 口縁部破片 内面 ナデックラン。 A・内・断・暗が振竜へを抱む。 A・内・断・暗が振竜へを抱む。 A・内・断・暗が振竜へを抱む。 A・内・断・暗が飛竜へを抱む。 A・内・断・暗が飛竜へを抱む。 A・内・断・暗が飛竜へを抱む。 A・内・断・暗が飛竜へを抱む。 A・内・断・暗が飛竜へを抱む。 A・内・断・暗が飛竜へを抱む。 A・放けらり。 A・内・断・暗が飛竜へを抱む。 A・放けらり。 A・内・断・暗が飛竜へを抱む。 A・放けらり。 A・か・明・少量を含む。生物西達。 株成良好。 深 鉢 推定口径 小面 ハラケズリ。 A・所・一様が使し、日舎む。生物西達。 株のは良好。 A・断・一様が使し、こまりでき重、実体、・加・大りを全量を含む。生物西達。 株のは良好。 深 鉢 推定口径 小面 ハラケズリ。 A・断・一様が使し、小・中・入りを量を含む。生物西達。 A・面・内面・大りを型・高内面・大い着の上のがでしているいを型を含む。生物西達。 深 鉢 はだ口径 小面 ハラケズリ。 A・所・一様がし・大りを型を含む。生物西達。 株は良好。 深 鉢 口縁部破片 小面 カテブ。 A・所・一様がし・大りを少量、有関していますりを少量を含む。生物西達。 株は良好。 深 鉢 口縁部破片 内面 ナデ。 A・下の静心をいき、角型を含む。生物西達。 会はしたい中・大りを少量、有関していますりを少量を含む。生物西達。 水面 ナデ。 内面 ナデ。 A・下の静心を、角型・大りを少量、重要を含む。生物西達。 会は、生物西達。 水面 ナデ。 内面 ナデ。 A・下の神のと、ない中・大りを少量、重要を含む。生物西・角ではい中、カンを、角型を含む。生物西・カンを、角型・変してい中、カンを、角型・大りを少りを、重要を含む。生物西・カンを、角型・大りを少りを、重要を含む。生物西・カンを、角型を含む。生物西・カンを、角型・大りを少りを、またまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた	63		*	口缘机佛片	部にキザミメ(D字) ヘコケブニ	外ーにぶい赤褐色。内・断ーにぶい橙色 第5音「十哭胎+の恥躑網索」に	焼成良好。口縁部~体部 从面に棋
深 鉢 口唇部にキザミメ (D 字) 。 外・内・断 (D 辛) 。 様 (小・中) 少量、 連母 (小・中) 少量、 赤砂粒子	3	<u> </u>	À	H8 H2 BX)		このよう・土田加工ので来覧がられて記載。	/ LHI / / ANO
深 鉢 口線部破片 外面 ヘラケズリ。 粒 (小・中) 少量、雲母 (小・中) 少				-	口唇部にキザミメ (D字)。	外・内・断一暗赤褐色~橙色。白色砂	焼成良好。
	5	<u> </u>	**	一个多数174	外面 ヘラケズリ。	粒(小・中)少量、雲母(小・中)少	
(小・中) 少量を含む。生物西麓。		£	*			量、角閃石(小・中)少量、赤色粒子	
深 鉢 口線部破片 内面 トデ。 外 - 灰褐色。内・断ーにぶい褐色。 中で小・中・大)やや多量、雲 様。 株成良好。 中で小・中・大)やや多量、雲 様。 深 鉢 性定口径 小面 トデ。 A・断ー褐灰色~にぶい赤褐色。内 - 株の面・内面・大)をや多量、雲 様。 深 鉢 推定口径 小面 トデ。 A・断ー褐灰色~にぶい赤褐色。内 - 株の面・内面・大)を全、重な良が・中・大)を全、角肉 - 株の面・ラケズリ。 A・断ー褐灰色~にがい赤褐色。内 - 株の面・内面・大)を全、角肉 - 株の直 トデ。 A・町・大)を全、角面・内面・内面・大)をやる量を含む。生駒西麓。 深 鉢 推定口径 A面 トデ。 A 面 トデ。 A・町・大)をやる量を含む。生駒西麓。 株成良好。 深 鉢 はに口径 A 面 トデ。 A・町・中・大)を全、角肉 - 株の良好。 株成良好。 深 鉢 はた口径 A面 トデ。 A・町・中・大)を少量、雲母 (小・中) 少量を含む。生駒西麓。 株成良好。 深 鉢 口線部破片 内面 チデ。 A・灰褐色。内・断・にぶい倍色。 株成良好。 深 鉢 口線部破片 内面 チデ。 A・下海の中・大)を少量、雲母 所 サデ。 内面 チデ。 A・上駒田崎。内・断・によい倍色。 内面 チデ。 A・一筋一褐灰色~にぶい暗色。 株成良好。 (か・中) 少量、角切石(小・中) とか量、電母 金砂量、電母 (か・中) からを) 会は、生駒西麓。 毎日の砂粒(小・中・大) をや多 (か・中) か音、白の砂型、(か・中・大) をやき 電のはり、 (か・中) からを) 会は、白色砂粒(小・中) か音、角田、 (か・中) からを) 本の量、毎日のでしい中、大)をや多 (か・中) からを) 本のはりか音、角田・ 中のりか量、角田・ (からりを) 中のりか量、台のはりからなりを) 中のりか音、はいいりのとのりか					形文。	(小・中) 少量を含む。生駒西麓。	
深 鉢 口縁部破片 外面 ヘラケズリ。 白色砂粒 (小・中・大) やや多量、雲 様。 深 鉢 推定口径 小(1/6) 内面 ナデ。 り量を含む。生物西麓。 様 (外一灰褐色。内・断一にぶい褐色。	焼成良好。口縁部外面に
(本) 中部 Libraria 内面 ナデ。 母 (小・中) 少量、角閃石(小・中) (小・中) 少量、角閃石(小・中) (本) (本) <td>0 ر</td> <td>以</td> <td>☆</td> <td>日都海路口</td> <td>外面 ヘラケズリ。</td> <td>白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲</td> <td>煤。</td>	0 ر	以	☆	日都海路口	外面 ヘラケズリ。	白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲	煤。
深 体 小量を含む。生物西麓。 供表日産 小面 へラケズリ。 外・断・褐灰色~にぶい赤褐色。内・特氏良好。 株成良好。 深 株 40.0(1/6) 内面 イラケズリ。 無視色。白色砂粒(小・中・大)を量、角肉 A面・ヘラケズリ。 A面・ヘラケズリ。 A面・ヘラケズリ。 A面・ヘラケズリ。 A面・内面・大)やや A面・内面・大)やや A面・内面・大)やや A面・内面・大)やや A面・ヘラケズリ。 A面・ヘラケズリ。 A面・ヘラケズリ。 A面・ヘラケズリ。 A面・ヘラケズリ。 A面・ヘラケズリ。 A面・中・大)をつ 基・角肉 Am・成長好。 A面・大)やや 部・はたは、Am・本の・大)やや 部・はたな。 Am・大・中・大)を小量、角肉石・ボッ・種で、またので、またので、またので、またので、またので、こぶいをの は、またので、こぶいをの 量・等ので、こがいをの 量・等ので、上駒 五麓。 株成良好。 Am・大・中・大)を小量、等中 株成良好。 人の・中・大)を小量、等中 本のをし 基・日本のをの 量・等ので、大・中)を小量、等中 本のをは、表のをしま、またので、たい。 本のをし 自む砂粒(小・中)を小量、角切石(小・中)を少量、角切石(小・中)を少量 本のをし 自む砂粒(小・中)かりを、角切石(小・中)を少す、角切石(小・中)を少す 本のをし 自む砂粒(小・中)かりを、角切石(小・中)かりを、角切石(小・中)かりを、角切石(小・中)かりをいるをしまるをしているをしまるをしている。 本のをし 自む砂粒(小・中・大)を小を多りをしまるをしまるをしている。 本のをしまるをしているをしまるをしているをしまるをしているをしまるをしている。 本のをしまるをしているをしまるをしているをしている。 本のをしているをしているをしているをしている。 本のをしているをしている。 本のをしているをしているをしているをしている。 本のをしているをしている。 本のをしているといるとしている。 本のをしているといるとしているとしている。 本のをしているといるとしているといるとしているといるといるとしているといるとしているといるとしているといるとしているといるとしているといるとしているといるとしているといるとしているといるとしているといるとしているといるとしているといるとしているといるとしているといるとしているといるとしているといるといるとしているといるとしているといるとしているといるとしているといるとしているといるとしているといるとしているといるとしているといるとしているといるとしているといるとしているとして	G 	<u>K</u>	1	L AN EID WX /	内面・ナデ。	母(小・中)少量、角閃石(小・中)	
深 体 体 (V字)。 外・断・褐灰色~にぶい赤褐色。内一株成良好。 深 体 40.0(1/6) 内面 トデ。 A・助・褐灰色~にぶい赤褐色。内・ 株成良好。 深 体 中の(1/6) 内面 トデ。 クラ量、毎時 内面 内面・大プ・ターター・大プ・ターターを全量を含む。生物西 麓。 外面・カライズリ。 外面・カライズリ。 外面・カライズリ。 外面・カライズリ。 ク量、毎日 内面・大プ・ターターを全量を含む。生物西 様に良好。 株成良好。 深 株 株定口径 外面・大プ・スプ・カー・大プ・マー・大プ・ターを全合む。生物西麓。 外面・大プ・マー・大プ・マー・大プ・マー・スプ・エー・スプ・エー・スプ・スプ・マー・スプ・マー・スプ・スプ・スプ・ロ唇がにキザミメ(ソ字)。 株 中の ・断・相反色~にぶい 様は良好。 深 対面・ナデ。 内面・ナデ。 内面・ナデ。 中の・ガー・地の・ボー・スプ・マー・スプ・スプ・スプ・スプ・スプ・スプ・スプ・スプ・スプ・スプ・スプ・スプ・スプ・						少量を含む。生駒西麓。	
深 鉢 推定口径 外面 ヘラケズリ。 黒褐色。白色砂粒(小・中・大)やや 名量、 第四 石(小・中・大)を量、角関石(小・中・大)を量、角関石(小・中)やや多量を含む。生駒西窟。 深 鉢 推定口径 外面 ヘラケズリ。 外面 ヘラケズリ。 外面 トデ。 外面 トデ。 小・中・大)を量、角関石(小・中・大)を量、角関石(小・中)少量を含む。生駒西麓。 深 鉢 推定口径 外面 トデ。 小・中)少量を含む。生駒西麓。 一次もの・大)を少量、第四 (小・中) 少量、角関石(小・中) 少量、角関石(小・中) 少量、塩砂西麓。 深 鉢 10縁部破片 内面 ナデ。 人の・中)、角関石(小・中)を少量、電母 (小・中) を少量、電母 (小・中) を少量、電母 (小・中) か量、角関石(小・中) を少量、電母 (小・中) 少量、色のを受量を含む。生駒西麓。 一位砂粒(小・中)少量を含む。生駒西麓。 深 鉢 口縁部破片 内面 ナデ。 人の・中・大) やや多量、電子の・中・大) やや多量、電子の・中・大) やや多量、電子の・中・大) やや多量、電子の・中) 少量を含む。生駒西麓。 中) 少量を含む。生駒西麓。 深 は 口縁部破片 内面 ナデ。 人の・中・大) やや多量、電子の・中・大) やや多量、電子の・中・大) やや多量、電子の・中・大) やや多量、電子の・中・大) やや多量、電子の・中・大) やや多量、電子の・中・大) やや多 中) 少量を含む。生駒西麓。 深 口縁部破片 内面 ナデ。 中) 少量を含む。生駒西麓。 中) 少量、角田石のが、(小・中・大) やや多 中) 少量を含む。生駒西麓。						外・断ー褐灰色~にぶい赤褐色。内一	焼成良好。口縁部~体部
深 鉢 描定口径 内面 ナデ。 多量、雲母(小・中・大)多量、角閃石(小・中)やや多量を含む。生駒西麓。 深 鉢 推定口径 外面 ヘラケズリ。 外一暗赤灰色~灰白色。内・断ーにぶい橙色。日色砂粒(小・中・大)やや 多量、4(1/6) 内面 ナデ。 外面 粘土粗接合痕残存。繊維束 白色砂粒(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を含む。生駒西麓。 深 鉢 推定口径 外面 粘土粗接合痕残存。繊維束 白色砂粒(小・中・大)を少量、雲母 によるケズリ。 外一灰黄色。内・町・大)を少量、雲母 によるケズリ。 小・中)、角閃石(小・中)を少量、雲母 によるケズリ。 深 鉢 口唇部にキザミメ(D字)。 外一灰黄色の内・断ー伝が心管色。でい・中)大を少量、雲母 によるケズリ。 合む。生駒西麓。 深 鉢 口唇部にキザミメ(V字)。 科一灰褐色。内・断一褐灰色~にぶい 格色。白色砂粒(小・中)少量、角閃石(小・中)少量、角閃石(小・中)少量、角閃石(小・中)少量、角閃石(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を含む。生駒西麓。 深 鉢 口縁部破片 内面 ナデ。 本中)少量を含む。生駒西麓。 市					外面、ヘラケズリ。	黒褐色。白色砂粒(小・中・大)やや	外面・内面に煤。
深 鉢 推定口径 外面 ヘラケズリ。 外ー暗赤灰色~灰白色。内・断ーにぶい橙色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、実母(小・中)少量、角関石(小・中)少量を含む。生駒西麓。 深 鉢 推定口径 外面 オデ。 外ー暗赤灰色~灰白色。内・断ーにぶい橙色。白色砂粒(小・中・大)やや多量を含む。生駒西麓。 深 鉢 推定口径 外面 粘土紐接合痕残存。繊維束 白色砂粒(小・中・大)を少量、雲母(小・中)、角関石(小・中)を少量 深 鉢 口縁部破片 内面 ナデ。 台む。生駒西麓。 深 鉢 口縁部破片 外面 ナデ。 外ー灰褐色。内・断ー褐灰色~にぶい格色。自発砂粒(小・中)少量、角関石(小・中)少量、角関石(小・中)少量、角関石(小・中)少量、角関石(小・中)少量、角関石(小・中)少量、角関石(小・中)少量、角関石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	96	炭	林	1E/C L1E	内面「ナデ。	多量、雲母(小・中・大)多量、角閉	
深 体 構定口径 外面 へラケズリ。 外ー暗赤灰色~灰白色。内・断ーにぶいを量、角閃石 深 鉢種 39.4(1/6) 内面 ナデ。 外面 ・ラケズリ。 多量、雲母 (小・中・大)やや ・ 大)やや ・ 中・大)やや ・ 中・大)を中量、角閃石 深 鉢 推定口径 外面 お土組接合痕残存。繊維束 白色砂粒 (小・中・大)を少量、雲母 によるケズリ。 外面 ナデ。 かー 広 まり ・ 助 ・ を少量 をか量 では、 中・大)を少量 をから をから をから をから をして おい・中) 少量、角閃石 (小・中) 少量、角閃石 (小・中・大)やや多 を は か面 ナデ。 深 鉢 口唇部にキザミメ (V字)。 外面 ナデ。 外面 ナデ。 外面 ナデ。 深 外面 ナデ。 外面 ナデ。 内・町)少量を含む。生駒西麓。 中) 少量を含む。生駒西麓。 中) 少量を含む。生駒西麓。 中) 少量を含む。生駒西麓。 中) 少量を含む。生駒西麓。				40. U(1/ U/		石(小・中)やや多量を含む。生駒西	
深 排定口径 外面 へラケズリ。 外ー暗赤灰色~灰白色。内・断ーにぶい橙色。白色砂粒 (小・中・大) やや 多量、雲母 (小・中) 少量、角閃石 (小・中) 少量、角閃石 (小・中) 少量を含む。生駒西麓。 深 鉢 推定口径 内面 十元。 外面 粘土紐接合痕残存。繊維束 日色砂粒 (小・中・大) を少量、雲母 (小・中) 人面 粘土紐接合痕残存。織維束 日色砂粒 (小・中・大) を少量、電母 (小・中) 大 高切石 (小・中) 大 つや多 量、 電母 (小・中) 小量、角閃石 (小・中・大) やや多 量、 電母 (小・中) 小量、角閃石 (小・中) 小量、角閃石 (小・中) 小量、角閃石 (小・中) 小量を含む。生駒西麓。						麓。	
深 体 排定口径 外面 ヘラケズリ。 い橙色。白色砂粒(小・中・大)やや 名量、雲母(小・中)少量を含む。生駒西麓。 深 体 推定口径 外面 粘土紐接合痕残存。繊維束 日色砂粒(小・中)次量、雪母(小・中)な少量、雲母(木・中)が量、100円。 人一灰黄褐色。内・断一にぶい橙色。 深 体 加面 井子。 大よるケズリ。 大なり量、雲母(小・中)な少量、雪母(小・中)を少量、雪母(木・中)、100円。 深 体 内面 ナデ。 台む。生駒西麓。 京 口縁部破片 内面 ナデ。 外一灰褐色。内・断一褐灰色~にぶい 橙色。白色砂粒(小・中・大)やや多 木面 小面 ナデ。 深 体 小面 ナデ。 村一灰褐色。内・断一褐灰色~にぶい 橙色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、 東面 ナデ。 南面 ナデ。 内面 ナデ。 中)少量を含む。生駒西麓。 中)少量を含む。生駒西麓。 中中)少量を含む。生駒西麓。 中)少量を含む。生駒西麓。 中)少量を含む。生駒西麓。					口唇部にキザミメ(D字)。	外一暗赤灰色~灰白色。内・断ーにぶ	焼成良好。体部外面の一
(水) (水) <th< td=""><td>44</td><td>以</td><td>**</td><td>推定口径</td><td>外面 ヘラケズリ。</td><td>い楢色。白色砂粒(小・中・大)やや</td><td>部に煤。</td></th<>	44	以	**	推定口径	外面 ヘラケズリ。	い楢色。白色砂粒(小・中・大)やや	部に煤。
深 鉢 株定口径 外面 粘土紐接合痕残存。繊維束 角色砂粒(小・中・大)を少量、雲母 (小・中)、角閃石(小・中)を少量 深 鉢 たよるケズリ。 (小・中)、角閃石(小・中)を少量、電母 (小・中)、角閃石(小・中)を少量 (小・中)を少量 (小・中)を少量 (小・中)を少量 (小・中)を小量 深 鉢 口唇部にキザミメ(V字)。 外一灰褐色。内・断一褐灰色~にぶい 格色。白色砂粒(小・中・大)やや多 (小面 ナデ。) 本一灰褐色。白色砂粒(小・中・大)やや多 (中面 ナデ。) 深 鉢面 ナデ。 中) 少量を含む。生駒西麓。 内面 ナデ。 中) 少量を含む。生駒西麓。 中) 少量を含む。生駒西麓。	5	\$	¥	39, 4(1/6)		多量、雲母(小・中)少量、角閃石	
深 鉢 相定口径 外面 粘土組接合痕残存。繊維束 外一灰黄褐色。内・断ーにぶい橙色。 深 鉢 たよるケズリ。 (小・中・大)を少量、雲母 (小・中)、角閃石 (小・中)を少量 内面 ナデ。 合む。生駒西麓。 深 鉢 口唇部にキザミメ (V字)。 外一灰褐色。内・断一褐灰色~にぶい 格色。白色砂粒 (小・中・大) やや多 中面 ナデ。 深 鉢面 ナデ。 量、雲母 (小・中・大) やや多 量、毎閃石 (小・中・大) やや多 量、毎閃石 (小・中) 少量、角閃石 (小・中) 少量を含む。生駒西麓。 中) 少量を含む。生駒西麓。						(小・中) 少量を含む。生駒西麓。	
深 体 体面 粘土組接合痕残存。繊維束 白色砂粒(小・中・大)を少量、雲母 (小・中)、角閃石(小・中)を少量 26.0(1/6) によるケズリ。 (小・中)、角閃石(小・中)を少量 内面 ナデ。 A - 灰褐色。内・断 - 楊灰色~にぶい 格色。白色砂粒(小・中・大)やや多 イ面 ナデ。 種色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、角閃石(小・中・大)やや多色面 ナデ。 深 鉢 口縁部破片 内面 ナデ。 量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中・大)やや多色面 ナデ。 中) 少量を含む。生駒西麓。 ・中) 少量を含む。生駒西麓。					口唇部にキザミメ(D字)。	外一灰黄褐色。内・断一にぶい橙色。	焼成良好。外面に煤。
(小・中)、角閃石 (小・中)を少量 (小・中)、角閃石 (小・中)を少量 (中・中)、角閃石 (小・中)を少量 (中・中)、角閃石 (小・中)を少量 (中・中) (小・中)を少量 (中・中) (小・中)を少量 (水) (小・中)を少量 (水) (小・中)を少量 (水) (小・中・大) やや多 (水) (小・中・大) やや多 (水) (小・中・大) (小・中・大) (小・中) (小・中) (小・中) (小・中) (小・中) (小量、角閃石 (小・中) (小量を含む。生駒西麓。 (水) (小・中) (小・中) (小・中) (小・中) (小・中) (小・中) (小・中) (小量、角閃石 (小・中) (小・中) (小量を含む。(上駒西麓。	98	以	**	推定口径	外面 粘土紐接合痕残存。繊維東	白色砂粒(小・中・大)を少量、雲母	
内面 ナデ。 含む。生駒西麓。 口唇部にキザミメ (V字)。 外一 人一 反褐色。内・断一褐灰色~にぶい 裕色。白色砂粒(小・中・大)やや多 樹色。白色砂粒(小・中・大)やや多 園、雲母(小・中)少量、角閃石(小 ・中)少量を含む。生駒西麓。	3	<u></u>	1	26.0(1/6)	によるケズリ。	(小・中)、角閃石(小・中)を少量	
深 鉢 口縁部破片 外面 ナデ。 株色。白色砂粒(小・中・大)やや多 横色。白色砂粒(小・中・大)やや多 量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を含む。生駒西麓。						含む。生駒西麓。	
深 鉢 口縁部破片 外面 ナデ。 内面 ナデ。					にキザミメ (V字)	外-灰褐色。内・断-褐灰色~にぶい	焼成良好。内面に煤。
A面 ナデ。	66	뮟	*	日縁郭師中	外面 ナデ。	橙色。白色砂粒(小・中・大)やや多	
中)少量を含む。生駒西麓。)	<u>,</u>	+			量、雲母(小・中)少量、角閃石(小	
						中) 少量を含む。生駒西麓。	

遺物番号	器	種	法 量 (現存率) (単位 cm)	成形•調整	色調•胎土	焼 成。備考
100	跌	茶	口縁部破片	ロ唇部にキザミメ(D字)。 外面 粘土紐接合痕残存。ナデ。 内面 ナデ。	外ー黒褐色。内・外ー黒褐色~にぶい 褐色。白色砂粒(小・中・大)多量、 雲母(小・中)少量、角閃石(小・ 中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。外面に煤。内面の一部に黒斑。
101	跌	茶	口縁部破片	ロ唇部にキザミメ(V字)。 外面 ロ縁部 - 粘土紐接合痕残 存。ナデ。体部 - ヘラインイ)。 内面 ナデ。	外 - 灰褐色。内 - にぶい赤褐色。断 - にぶい橙色。白色砂粒 (小・中・大) 少量、雲母 (小・中) 少量、角閃石 (小・中) 少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。外面・内面に 煤。
102	践	林	口縁部破片	外面 ナデののち、ヘラミガキ。 内面 ナデ。	にぶい褐色。第5章「土器胎土の砂礫 観察」に記載。	焼成良好。口縁部外面に 煤。口縁部内面に黒斑。
103	迷	***	口縁部破片	外面 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキ。	外・内ーにぶい黄橙色。断ー浅黄橙色 白色砂粒 (小・中・大) やや多量、雲母 (小・中) 少量、角閃石 (小・中)	焼成良好。口縁部~体部 外面・内面に煤。
104	跌	禁	口縁部破片	外面 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキ。	外-褐灰色~にぷい赤褐色。内・断- 灰褐色。第5章「土器胎土の砂礫観 察」に記載。	焼成良好。外面に煤。
105	践	***	推定口径 35.0(1/5)	外面 粘土紐接合痕残存。体部 - 繊維束によるケズリ。 内面 口縁部 - 粘土紐接合痕残存。 ナデ。	外・内・断ー褐灰色~にぶい褐色。 第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。 。	焼成良好。体部外面・体部内面に煤。
106	践	本	体部破片	外面 ヘラケズリ。 内面 ナデ。	外・断ーにぶい褐色~橙色。内-褐灰色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を開石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。外面の一部・内面に煤。
107	账	李	口縁部~体部破片	外面ヘラケズリののち、肩部にキザミメ(V字)。内面粘土紐接合痕残存。ナデ。	外- 橙色。内・断ーにぶい橙色。白色砂粒(小・中)少量、雲母(小・中) 少量、角閃石(小・中)少量を含む。 生物西麓。	焼成良好。

	T			,			
焼成。備考	<u>焼成良好。体部外面の一部に集。体部内面に赤部に集。体部内面に赤彩。</u> 彩。	焼成良好。	焼成良好。	焼成良好。内面に煤。	焼成良好。内面の一部に煤。	焼成良好。底部外面の一部・内面に煤。	焼成良好。内面に煤。
色調。胎士	外・断ーにぶい褐色。内ーにぶい橙色 ~赤色。白色砂粒(小・中・大)やや 多量、雲母(中)少量、角閃石(小・ 中)少量を含む。生駒西麓。	外・断一灰黄褐色。内一黄灰色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)やや多量、角閃石(小・ 中)やや多量を含む。	外・断ーにぶい橙色。内ー褐灰色。第 5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	外・内-黒褐色。断-暗赤褐色。白色砂粒 (小・中・大) やや多量、雲母(小・中) 少量、角閃石 (小・中)少量を含む。生駒西麓。	外・断ーにぶい橙色。内ー黒褐色~灰黄褐色。白色砂粒(小・中・大)やや多量。雲母(小・中)やや多量、角閃石(小・中・大)やや多量を含む。生駒西麓。	外・断ーにぶい橙色。内ー黒色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を含む。生物西麓。	外・断ー橙色。内ー黒褐色。第5章 「土器胎土の砂礫観察」に記載。
成形•調整	1 ヘラケズリ。 1 ヘラ状工具によるナデ。	1 体部ーヘラケズリ。底部ーナデ。1 ナデ。1 ナデ。	1 体部ーヘラケズリ。底部ーナデ。1 ナデ。1 ナデ。		i 体部 - ヘラケズリののち、 下半のみナデ。 i ナデ。	i 体部ーヘラケズリののち、 ヘラナデ。底部ーナデのの ち、周縁のみヘラミガキ。 i ナデ。	i 体部-ヘラケズリ。底部-ナデ。 ナデ。 i ナデ。
	外面 内面	外面 内面	外面内面	外面 内面	A 内 固	外面 内面	外面 内面
法 量 (現存率) (単位 cm)	頸 部 (1/6)	底径 6.0 (完存)	底径 5.4 (完存)	底径 5.0 (3/4)	底径 4.4 (完存)	底径 4.6 (完存)	底径 4.0 (1/2)
種	#	**************************************	横	鉢	***	耧	\
器	踩	脒	账	踩	朕	账	朕
遺物番号	108	109	110	111	112	113	114

焼 改・ 備 考	少,焼成良好。			1	【 焼成良好。外面の一部。	9 内面に煤。		141		- 焼成良好。底部~体部外			反 焼成良好。体部~底部外	・一面に黒斑。	N.N.	12		こ 焼成良好。外面の一部・	内面の一部に煤。	W-7		置 焼成良好。体部内面に	煤。		焼成良好。内面に煤。		,1,,	
色調。 胎土	外•断-灰褐色。内-黒褐色。白色砂	粒(小・中・大)多量、雲母(小・	中) 少量、角閃石 (小。中) 少量を含し、 + 中野無熱	む。生駒四簏。	外 - 黒褐色~にぶい赤褐色。内-黒	色。断-にぶい橙色~明赤褐色。白色	砂粒(小・中・大)多量、雲母(小・	中)少量、角閃石(小・中)少量を含	しい。生駒西麓。	外・断ー褐灰色~にぶい黄橙色。内-	黒色。第5章「土器胎土の砂礫観察」	に記載。	外ー黒褐色~にぶい橙色。内ー褐灰	色。断一にぶい橙色。白色砂粒(小・	中•大)多量、雲母(小•中•大)多	量、角閃石(小・中・大)多量を含む	生駒西麓。	外・断ーにぶい橙色。内一灰褐色一に	ぶい黄橙色。白色砂粒 (小・中・大)	やや多量、雲母(小・中)少量、角閃	石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	外•内•断-灰褐色~橙色。第5章	「土器胎土の砂礫観察」に記載。		外·断一淡橙色~橙色。内一黒褐色。	白色砂粒(小•中•大)多量、雲母	(小•中)少量、黒色~灰色礫多量を	如
成形。調整	外面 体部ーヘラケズリ。底部ー		内面 ヘフ状工具によるナデ。		外面 体部一ヘラケズリ。底部一	ナデののち、周緑のみヘラ	、ガキ。	内面・ナデ。		外面 体部-ヘラケズリ。底部-	ヘラ状工具によるナデ。	内面 ヘラ状工具によるナデ。	外面 体部-ヘラケズリ。底部-	・ディ	内面・ナデ。			外面 体部-ヘラケズリ。底部-		内面 ナデ。		外面 体部-ヘラケズリ。底部-	。	内面 ヘラ状工具によるナデ。	外面 体部-ヘラケズリ。底部-	ナデののち、周縁のみヘラ	ミガキ。	カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・<li< td=""></li<>
法 量 (現存率) (単位 cm)		底径 5.8 (完存)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		<u> </u>		底径 6.0 (完存)				底径 4.8 (完存)		4		底径 4.8 (完存) P			4		5.6 (1/3)			底径 3.4 (完存)			推定底径	4.6 (完存)	
器種		深鉢					深鉢				深解				深鉢								深、な			迩		
遺物番号		115					116				117				118				119				120			191		

焼成・備券	焼成良好。内面に煤。	焼成良好。底部外面の一部・内面に煤。	焼成良好。内面に煤。	焼成良好。体部下半~底部外面。底部内面に煤。		焼成良好。内面に煤。体部外面に剝離部分あり。	焼成良好。外面の一部・内面の一部・内面の一部に煤。
色調。 胎土	外ーにぶい橙色。内ー黒色。断ー明褐 灰色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小 ・中)少量を含む。生駒西麓。	外・内・福灰色~にぶい橙色。断ーにぶい橙色~赤褐色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量角関石(小・中)少量角関石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	外・断ーにぶい褐色。内-黒色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中・大)やや多量、角閃石(小・中・大)やや多量、角閃石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	外-にぶい稽色。内・断-黒褐色~灰 黄褐色。白色砂粒(小・中・大)やや 多量、雲母(小・中)少量、角閃石 (小・中)少量を含む。生駒西麓。	外-灰赤色~橙色。内-浅黄橙色。断-灰褐色。白色砂粒(小・中・大)少量、雲母(小)微量を含む。	外・断ーにぶい褐色。内ー黒色。白色砂粒(小・中)やや多量、雲母(小・中)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	外・内・断-暗赤灰色~にぶい赤褐色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量もあ石(小・中)少量を含む。生物西麓。
成形。調整	外面 体部-ヘラケズリ。底部- ナデののち、周緑のみヘラ ミガキ。内面 ナデ。糸の痕跡が残存。		外面 体部-ヘラケズリ。底部- ナデののち、周縁のみヘラ ミガキ。 内面 ナデ。	外面 体部-ヘラケズリ。底部- ナデののち、周縁のみヘラ ミガキ。 内面 ヘラナデ。	外面 体部-ヘラケズリ。底部- ナデののち、周縁のみヘラ ミガキ。 内面 ナデ。	外面 体部ーナデ。底部ーナデ。 内面 ナデ。	外面 体部ーナデ。底部ーナデの のち、周縁のみヘラミガキ 内面 ナデ。
法量(現存率) (単位 cm)	(完存)	底径 5.0 (完存)	底径 5.3 (完存)	底径 4.6 (完存)	底径 4.3 (3/4)	底径 4.2 (完存)	底径 5.2 (完存)
器種	深	胀	渁	珠	踩	紫	深蘇
遺物器品	122	123	124	125	126	127	128

焼成•備考	焼成良好。	焼成良好。体部~底部外面に煤。	焼成良好。内面の一部に煤。	焼成良好。内面に煤。	焼成良好。体部外面の一部に煤。	焼成良好。	焼成良好。外面の一部・ 内面に煤。
色調。 胎土	外-にぷい稽色。内・断-灰黄褐色。 白色砂粒(小・中・大)多量、雲母 (小・中)やや多量、角閃石(小・ 中)やや多量を含む。生駒西麓。	外-黒褐色~にぶい赤褐色。内・断- 灰褐色。第5章「土器胎土の砂礫観 察」に記載。	外・内ーにぶい橙色。断ー黒褐色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を含む。生物西麓。	外一灰褐色。内・断一黒褐色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を含む。生物の重を含む。生物西麓。	外・内・断ーにぶい橙色~橙色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を含む。生物西麓。	外・内-浅黄橙色。断-明褐灰色。白 色砂粒(小・中)少量、角閃石(小・ 中)少量を含む。	外・内・暗赤灰色。断・浅黄橙色。 白色砂粒(小・中・大)多量、雲母(小)微量、角閃石(小)微量を含む生駒西麓。
成 形 • 調 整	外面 体部-ヘラケズリ。底部- ヘラケズリ。 内面 ナデ。	外面 体部ーナデ。底部ーヘラミガキ。ガキ。内面 ヘラナデののち、体部上半のみヘラケズリ。	外面 体部ーヘラケズリ。底部ーヘラケズリ。底部ーヘラケズリ。 ヘラケズリ。 内面 ナデ。	外面 体部ーナデ。底部ーナデ。 内面 ナデ。	外面 体部-ナデ。底部-ヘラミガキ。 ガキ。 内面 ナデ。	外面 体部ーナデ。底部ーナデ。 内面 ヘラ状工具によるナデ。	外面 体部ーナデ。底部ーヘラケ ズリののち、ナデ。 内面 ヘラミガキ。
法量(現存率) (単位 cm)	底径 4.8 (完存)	底径 2.5 (完存)	推定底径 6.8 (1/3)	底径 2.2 (完存)	底径 7.0 (3/4)	推定底径 9.4(1/2)	底径 11.4 (完存)
器種	踩	送	紫	紫	渁	災	踩
遺物 番号	129	130	131	132	133	134	135

遺物番号	器	種	法量(現存率) (単位 cm)		成形。調整	色調。胎土	焼 成。 備 考
136	朕	*	推定底径 6.2(1/4)	人 内 面	がたナ	外・内一褐灰色~にぶい褐色。断一に ぶい褐色。白色砂粒(小・中・大)少量、雲母(小・中)少量、角閃石(小 ・中)少量を含む。	焼成良好。
137	朕	禁	底径 8.0 (完存)	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	体部 - 粘土紐接合痕残存。 ナデののち、一部ヘラケズ リ。底部ナデ。 体部 - ヘラ状工具によるナデ。底部 - ナデ。	外・内・断-灰黄褐色。白色砂粒(小・小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閉石(小・中)少量含む。生物西麓。	焼成良好。体部 底部外面・底部外面・底部内面・底部内面に煤。
138	脒	茶	株定底径 11.0(1/4) 内面	外 西 内	体部-ヘラケズリ。底部- ヘラケズリ。 ナデ。	外・断ー黒褐色~にぶい褐色。内一黒色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小 ・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。底部外面•体部~底部內面1000000000000000000000000000000000000
139	账	鉢	体部~底部破片	外面 内面	体部-ヘラケズリののち、 ヘラ状工具によるナデ。底 部-ヘラミガキ。 ナデ。	外・断ーに35い橙色。内一褐灰色。 白色砂粒(小・中・大)少量、雲母 (小・中)少量、角閃石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。底部内面に煤。
140	涭	*	推定口径 22.4(1/8)	八面 外面 内面	ロ唇部に突起。 外面 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキ。	外・内-黒褐色。断-にぶい褐色。 第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載	焼成良好。黒色磨研。
141	鮾	本	口縁部破片	<u> </u>	ヘラミガキ。 ヘラミガキ。	外・内一黒褐色。断一にぶい橙色。白色砂粒(小・中・大)少量、雲母(小・中)微量、角閃石(小・中)微量を含む。生物の鑑量を含む。生物西麓。	焼成良好。黒色磨研。
142	涭	44	口縁部破片	冬 乜 面 面	ヘラミガキ。 口縁部-ヘラミガキ。体部 -ナデ。	外・内ー黒色。断ーに3%V橙色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量音白重含む。生駒西麓。	焼成良好。黒色磨研。

過 を 場 の	器	種	法量(現存率) (単位 cm)	成形。調整	色調•胎土	焼成•備老
143	幾	***	体部破片	外面 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキ。	外- 褐灰色~淡橙色。内- 灰褐色。断 - 浅黄橙色。白色砂粒(小・中・大) やや多量、雲母(小・中)少量、角閃 石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。体部外面の一部に黒斑。
144	選	禁	推定口径 34.0(1/5)	ロ唇部に突起。 外面 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキ。	外・内-黒色。断-黒褐色~浅黄橙 色。第5章「土器胎土の砂礫観察」に 記載。	焼成良好。黒色磨研。
145	渱	鉢	推定口径 30.6(1/8)	ロ唇部に突起。 外面 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキ。	外 - 浅黄橙色~黒褐色。内 - 灰黄褐色 ~黒褐色。断 - 浅黄橙色。第 5 章 「土 器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。口縁部内外面 に黒斑。
146	渱	鉢	推定口径 32. 2(1/8)	外面 口縁部-ナデ。体部-ヘラ ケズリ。 内面 ナデ。	外・内~褐灰色~にぶい橙色。断-黒 褐色~浅黄橙色。第5章「土器胎土の 砂礫観察」に記載。	焼成良好。外面の一部・ 底面の一部に煤。粗製土 器。
147	幾	4	推定口径 27.4(1/6)	外面 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキ。	外・内-黒褐色~褐灰色。断-浅黄橙色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量、まるでいか)	焼成良好。黒色磨研。
148	叛	₩	体部破片	外面 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキ。	外・内・褐灰色~灰褐色。断ーにぶい橙色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中・大)やや多量、角関石(小・中)やや多量を含む。生駒田猫(小・中)やや多量を含む。生駒西麓。	焼成良好。外面の一部に黒斑。
149	郑	禁	体部稜 (1/8)	外面 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキ。	外・内-黒褐色。断-灰褐色~にぶい 橙色。白色砂粒(小・中・大)やや多 量、雲母(小・中・大)やや多量、角 関石(小・中)少量を含む。 生駒西 麓。	焼成良好。黒色磨研。

遺物番号	絽	種	法 量 (現存率) (単位 cm)		成形 明整	色調。 胎土	焼成•備考
	剣	禁	口縁部破片	外面 内面	ヘラミガキ。 ヘラミガキ。	外・内-黒褐色。断-橙色。白色砂粒 (小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を含さった。生物西麓。	焼成良好。黒色磨研。
158	幾	女	口縁部破片	外面 内面	ヘラミガキ。 ヘラミガキ。	外・内-黒褐色。断-浅黄橙色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)微量、角閃石(小・中)微量を含む。生駒西麓。	焼成良妊。黒色磨研。
159	涭	森	口縁部破片	外面人	ヘラミガキ。 ヘラミガキ。	外・内-にぶい赤褐色。断-橙色。第 5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。黒色磨研。
160	幾	₩	口縁部破片	外面 内面	ヘラミガキ。 ヘラミガキ。	外・断ー褐灰色。内ー黒色。白色砂粒(小・中)少量、雲母(小・中)微量、雪母(小・中)微量、角関石(小・中)微量を含む。生物西麓。	焼成良好。黒色磨研。
1	渱	李	□縁部~体部破片	外面 内面	ヘラミガキ。 ヘラミガキ。	外-黒褐色。内-黒色。断-浅黄橙色 第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。黒色磨研。
162	渕	李	体部破片	外面 内面	ヘラミガキ。 ヘラミガキ。	外-黒褐色。内・断ーにいか赤褐色。第 5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。黒色磨研。
163	幾	女	体部破片	外面 内面	ヘラミガキ。 ヘラミガキ。	外ーにぶい赤褐色。内-黒褐色。断- 橙色。第5章「土器胎土の砂礫観察」 に記載。	焼成良好。
164	叛	₩	推定口径 28.6(1/8)	外面 内面	ヘラミガキ。 ヘラミガキ。	外・内-黒褐色~灰褐色。断-浅黄橙 色。白色砂粒(小・中)少量、雲母 (小・中)微量、角閃石(小・中)微 量を含む。生駒西麓。	焼成良好。黒色磨研。
165	郑	錸	推定口径 12. 5(1/8)	外面内面	, , , , ,	外・内・断-明赤褐色。白色砂粒(小・中・大)多量、雲母(小・中)少量 を含む。	焼成良好。底部内面の一部に黒斑。

166 浅 鉢 口縁部破片 外面 ナデ。	遺物 番号	器種	法 量 (現存率) (単位 cm)		成形。調整	色調•胎土	焼 成・備 考
法 鉢 口線部破片 外面 ヘラケズリ。 浅 鉢 口線部破片 内面 ヘラミガキ。 浅 鉢 口線部~体部破片 外面 ヘラミガキ。 浅 鉢 口線部~体部破片 外面 ヘラミガキ。 対 口線部~底部破片 内面 ヘラミガキ。 対 口線部~底部破片 内面 ヘラミガキののち、円弧状の相でので、対すののち、七宝 対 口線部を広部破片 内面 イラミガキののち、七宝 対 口線部破片 内面 イラミガキ。 対面 ヘラミガキ。 人面 イラミガキ。 対面 イラミガキ。 人面 イラミガキ。 対面 イラミガキ。 人面 イラミガキ。 大。 人面 1線部破片 内面 イラミガキ。 ナデ。 大 対面 口線部は上の面 イラミガキ。				A 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面 面	ナデののち、ヘラミガキ。 ナデ。	外・断ー褐灰色~にぶい稽色。内一黒褐色。白色砂粒(小・山・ナ)もも名	焼成良好。体部外面の一部に甲斑
浅 鉢 口縁部破片 外面 ヘラケズリ。 浅 鉢 口縁部破片 内面 ヘラミガキ。 浅 鉢 口縁部~体部破片 内面 ヘラミガキ。 浅 鉢 口縁部~体部破片 内面 ヘラミガキ。 株 は部破片 内面 ヘラミガキのち、円弧状の面 へラミガキののち、七宝の面 トデ。 本 口縁部~底部破片 内面 ヘラミガキののち、七宝の重合、大変。 本 は部破片 内面 トデ。 水面 へラミガキののち、七宝水面 トデ。 水面 へラミガキののち、七宝水面 トデ。 水面 へラミガキののち、七宝水面 トデ。 水面 へラミガキ。 水面 口縁部下に突帯張り付け。 ナデ。 大 が面 口縁部はけ。 大面 へラミガキ。 大 が面 へラミガキ。 大元。 大 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は				<u> </u>	0	MIO 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	H5 V € 745 4/L 0
浅 鉢 口縁部破片 内面 ナデ。 浅 鉢 口縁部破片 内面 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキ。 外面 ヘラミガキ。 外面 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキののち、円弧状の様のでは、 の集合沈線。 内面 トデ。 内面 トデ。 外面 ヘラミガキののち、七宝 外面 ヘラミガキ。 内面 トデ。 内面 トデ。 内面 トデ。 内面 トデ。 内面 トデ。 鉢 口縁部破片 内面 トデ。 内面 トデ。 内面 トデ。 内面 トデ。 素 は 10縁部破片 内面 トデ。 内面 トデ。 素 は 10縁部破片 内面 トデ。 内面 トデ。 大面 口縁部下に突帯張り付け。 トデ。 内面 ヘラミガキ。				外面	ヘラケズリ。	外•内-黒褐色。断-浅黄橙色。白色	焼成良好。
法 本 1748 th 1962				内面	ナデ。	砂粒(小・中)少量、雲母(小・中)	ST. VIA
浅 鉢 口縁部破片 内面 ヘラミガキ。 浅 鉢 口縁部~体部破片 外面 ヘラミガキ。 浅 鉢 口縁部~底部破片 外面 ヘラミガキ。						微量、角閃石(小)微量を含む。生駒田藩	
浅 鉢 口縁部の体部破片 外面 ヘラミガキ。 ()				口配部	SにB突起。	り戻。 外・断ー黒褐色~にぶい稽色。内一黒	焼成良好。体部外面に黒
(及 時 口縁部~体部破片 内面 へラミガキ。 (外面	ヘラミガキ。	福色~赤褐色。白色砂粒(小・中)や	
(4) 補修孔1個あり。 外面 へラミガキ。 外の 分の (4) (4) (4) (4) (4) (5) (4) (4) (4) (4) (4) (5) (4)				内画	ヘラミガキ。	や多量、雲母(小・中)少量、角閃石	
法 鉢 口縁部~体部破片 本面 ヘラミガキ。						(小・中) 少量を含む。生駒西麓。	
浅 鉢 口緑部~体部破片 外面 ヘラミガキ。 色。 (大き) (小面 ハラミガキののち、円弧状 にふり の集合沈線。 (小面 カラミガキののち、円弧状 にふり かった面 カラミガキののち、七宝 かった面 ハラミガキののち、七宝 かった面 ハラミガキののち、七宝 かった面 ハラミガキののち、七宝 かった面 か面 カーデ。 (小面 ナデ。 (小面 ナデ。 (小面 カラミガキ。 (小面 カラミガキ。 (小力 では かった。 かった。 から いち				補修子	11個あり。	外・内ーにぶい稽色。断一にぶい黄橙	焼成良好。外面の一部、
大			口參斯~休敦雅片	外面	ヘラミガキ。	色。白色砂粒(小・中)やや多量、雲	内面の一部に黒斑。
浅 鉢 口縁部~底部破片 外面 ヘラミガキののち、円弧状 の面 対面 ナデ。 外面 ヘラミガキののち、七宝 文。 内面 ナデ。 対面 ロ縁部下に突帯張り付け。 ナデ。 カーデッカー カーボックラミガキ。				内面	ヘラミガキ。	母(小・中)少量、角閃石(小・中)	
浅 鉢 口縁部~底部破片 内面 ナデ。 鉢 口縁部~底部破片 内面 ナデ。 本 本のちミガキののち、日弧状入面 大きの間 ナデ。 内面 ナデ。 内面 ナデ。 水面 口縁部下に突帯張り付け。 ナデ。 大面 口縁部下に突帯張り付け。 ナデ。 大面 口縁部下に突帯張り付け。 カ面 しるきガキ。						少量を含む。生駒西麓。	
(表) 対 日緑部~底部破片 内面 ナデ。 (本部破片 外面 へうミガキののち、七宝 大。 (本部破片 内面 ナデ。 (大) 内面 ナデ。 (大) 内面 カデ。 (大) 大・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・				外面	ヘラミガキののち、円弧状	にぶい橙色。白色砂粒(小・中・大)	焼成良好。底部外面の一
内面 ナデ。 外面 ヘラミガキののち、七宝 大。 内面 ナデ。 入面 口縁部下に突帯張り付け。 大 体部破片 外面 口縁部下に突帯張り付け。 大 体面 口縁部下に突帯張り付け。 大デ。 大 体面 へラミガキ。					の集合沈線。	やや多量、雲母(小・中)少量、角閃	部に黒斑。
外面 ヘラミガキののち、七宝 文。 対面 ナデ。 内面 ナデ。 水面 口縁部下に突帯張り付け。 法 鉢 口縁部破片 内面 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキ。				内面	ナデ。	石(小・中)少量含む。生駒西麓。	
体部破片 大。 内面 ナデ。 外面 口縁部下に突帯張り付け。 大。 大元。 内面 ヘラミガキ。				外面	ヘラミガキののち、七宝	外・内一褐灰色~にぶい褐色。断一に	焼成良好。
内面 ナデ。 外面 口縁部下に突帯張り付け。 浅 鉢 口縁部破片 内面 ヘラミガキ。	171	茶	体部破片		×	ぶい褐色。白色砂粒(小・中・大)少	-
外面 口縁部下に突帯張り付け。 浅 鉢 口縁部破片 内面 ヘラミガキ。	I		- (X)	内面	ナボ。	量、雲母(小•中)少量、角閃石(小	
外面 内面 内容部下に突帯張り付け。 ナデ。 カデ。 内面 ヘラミガキ。				-		中) 少量を含む。生駒西麓。	
浅 鉢 口縁部破片 内面 ヘラミガキ。				外面	口縁部下に突帯張り付け。	外・内・断ーにぶい褐色。白色砂粒	焼成良好。
ス す 口を印吹					ナギ。	(小•中•大)少量、雲母(小•中)	
- 新西麓。 				内面	ヘラミガキ。	少量、角閃石(小・中)少量含む。生	
						駒西麓。	

• 胎 土 焼成・備考	外・断ー灰褐色~に3%い橙色。断-橙 焼成良好。 色。白色砂粒(小・中)やや多量、角 閃石(小・中)微量を含む。	外・内ー褐灰色~にぷい赤褐色。断ー 焼成良好。 浅黄橙色。第5章「土器胎土の砂礫観 察」に記載。	外ーにぶい赤褐色。内・断ーにぶい橙 焼成良好。 色~灰褐色。第5章「土器胎土の砂礫 観察」に記載。	外・断ーにぶい褐色。内一灰褐色。第 焼成良好。 5 章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	外・内・断ー橙色。第5章「土器胎土」焼成良好。 の砂礫観察」に記載。	, 内・断ーにぶい赤褐 , 第5章「土器胎士の 載。	外・断-にぶい黄橙色。内-橙色。第 5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	外・内・断ー黒褐色~にぶい橙色。第 5章「土器胎士の砂礫観察」に記載。
田開	文 色 图			外・断ーにぶい褐色。 5章「土器胎土の砂礫	外・内・断ー橙色。第 の砂礫観察」に記載。 	外ーにぶい橙色。P 色~にぶい橙色。第 砂礫観察」に記載。	外・断ーにぶい 5 章「土器胎土の	外•内•断一黑和 5章「土器胎土の
成形。調整	ロ唇部にキザミメ(D字)。 外面 口縁部ーナデ。体部ーヘラ ケズリ。 内面 ナデ。	ロ唇部にB突起、キザミメ。 外面 口縁部-沈線、沈線間に刺 突文。体部-縄文LR施文 ののち、沈線。縄文LR。 内面 ナデ。	ロ唇部にB突起、キザミメ。 外面 ロ縁部ー沈線、沈線間に刺 突文。体部-縄文LR。 内面 ナデ。	口縁端部にキザミメ。 外面 沈線、沈線間に刺突文。 内面 ナデ。	ロ唇部にキザミメ。 外面 沈線、沈線間に刺突文。 内面 ナデ。	口唇部にキザミメ。 外面 沈線、沈線間に刺突文。 内面 ナデ。	外面 羊歯状文。 内面 ナデ。	外面 沈線、沈線間に刺突文。 内面 ナデ。
法 量 (現存率) (単位 cm)	口縁部破片	口縁部破片	口縁部破片	口縁部破片	口縁部破片	口縁部破片	破片	体部破片
器種	ニーチュア 深	c·	ċ.	٠	i	ن	ċ	ċ
当物品	173	174	175	176	177	178	179	180

遺物番号	器	法 量 (現存率) (単位 cm)		成形。調整	色調•胎土	焼成•備老
181	٠.	体部破片	外面 内面	沈線、沈線間に刺突文。縄 文LR。 ヘラミガキ。	外・内ー黒褐色。断ー褐灰色。第5章 「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
182	٠.	体 部 (1/6)	外面 内面	沈線、沈線間に刺突文。縄 文L R: ナデ。	外・内・断- 灰褐色~にぶい橙色。第 5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
183	ċ	体部破片	外面 内面	羊歯状文。縄文R L。 ナデ。	外・断ーにぶい褐色~灰褐色。内ーに ぶい橙色。第5章「土器胎土の砂礫観 察」に記載。	焼成良好。内面に赤彩 痕。
184	6	体部破片	外面内面	沈線、沈線間に刺突文。 ナデののち、ヘラミガキ。	外-灰褐色。内・断-黒褐色~にぶい 黄橙色。第5章「土器胎土の砂礫観 察」に記載。	焼成良好。
185	<i>د</i> ٠	底部(完存)	外面 四面	縄文RL。 ヘラケズリ。	外・断ーにぶい褐色~黒色。内-黒褐色。第5章「土器胎士の砂礫観察」に 記載。	焼成良好。外面に煤。
186	浅	鉢 口縁部破片	外面内面	沈線、沈線間に刺突文。 ナデ。	外・断ーにぶい赤褐色。内ー褐灰色。 第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
187	浅蘇	本 口縁部破片	外面内面	沈線、沈線間に刺突文。 ナデ。	外・内・断ーにぶい赤褐色。第5章 「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
188	叛	鉢 口縁部破片	女 四 回	縄文RL。 ヘラミガキ。	外・断-灰褐色~にぶい赤褐色。内-黒褐色。第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。体部下半に黒 斑。
189	ċ.	体部破片	を を を を の し の に に に に に に に に に に に に に	縄文無節 K。 ナデ。	外・断-黒色~暗赤灰色。内-明赤褐色。第5章「土器胎士の砂礫観察」に 記載。	焼成良好。
190	<i>د</i> ٠	体部破片	本 石	沈線、縄文L R。 ナデ。	外・内・断ー橙色。第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。

焼 成。 備 考	焼成良好。	焼成良好。	焼成良好。	焼成良好。	焼成良好。内面に煤。	焼成良好。	焼成良好。内面に煤。	焼成良好。	焼成良好。	焼成良好。
色調。 胎土	外・内-梅灰色。断-黒褐色~灰褐 娘色。白色砂粒(小・中)少量、雲母 (小・中)微量を含む。	外・内・断-灰褐色~にぶい橙色。第 数 5 章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	外・内・断-灰褐色~にぶい黄橙色。 第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	外・内・断-褐灰色。白色砂粒 (小・ 歩中) 少量を含む。	外・内・断ーにぶい褐色~橙色。第5 核 章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	外-暗赤褐色。内-にぶい褐色。断- にぶい橙色。第5章「土器胎土の砂礫 観察」に記載。	外・内・断ーにぶい橙色。第5章「土 <u> </u> 器胎土の砂礫観察」に記載。	外-黒褐色。内-黒色。断-黒色〜浅 黄橙色。第5章「土器胎土の砂礫観 察」に記載。	外・内・断- 灰褐色~にぶい赤褐色。 第5章「土器胎土の砂礫観察」に記 載。	外・内ーにぶい橙色。断ー明褐灰色。 第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。
成形•調整	外面 沈線、縄文LR。 内面 ナデ。	外面 沈線、縄文LR。 内面 ナデ。	外面 沈線、縄文無節R。 内面 ナデ。	外面 沈線、縄文無節R。 内面 ナデ。	外面 縄文L K。 内面 ナデ。	外面 縄文L.R。 内面 ナデ。	外面 縄文L K。 内面 ナデ。	外面 縄文L.R。 内面 ナデ。	外面 縄文L.R. 内面 ナデ。	外面 縄文LRののち、一部ナデ 内面 ナデ。
法 量 (現存率) (単位 cm)	体部破片	体部破片	体部破片	体部破片	体部破片	体部破片	体部破片	体部破片	体部破片	体部破片
器種	٠٠	¢.	¢.	<i>د</i> ٠	ć.	¢.	¢.	¢.	ċ.	٠.
遺物 番号	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200

量 番 号	器種	法 量 (現存率) (単位 cm)		成形。調整	色調。 胎土	焼 成。 備 考
201	¢.	体部破片	外面 内面	縄文LR。 ナデ。	外一灰褐色。内一にぶい橙色。断一黒 色~にぶい橙色。第5章「土器胎土の 砂礫観察」に記載。	焼成良好。
202	ċ	体部破片	外面 内面	縄文L R。 ナデ。	外-黒褐色。内・断-褐灰色~にぶい褐色。第5章「土器胎土の砂礫観察」 に記載。	焼成良好。外面・内面に 煤。
203	<i>د</i> ٠	体部破片	外面内面	縄文L R。 ナデ。	外ーにぶい橙色。内・断ー黒褐色。白 色砂粒 (小・中) 少量、雲母 (小) 微 量を含む。	焼成良好。
204	٤	体部破片	外面 内面	縄文L R。 ナデ。	外 - 明赤褐色。内 - 灰褐色。断 - にぶ い橙色。第 5 章「土器胎土の砂礫観 察」に記載。	焼成良好。外面・内面の 一部に煤。
205	c·	体部破片	外面 内面	縄文L R。 ナデ。	外-黒褐色~褐灰色。内・断-灰褐色。 第5章「土器胎士の砂礫観察」に記載。	焼成良好。外面に煤。
206	c·	体部破片	人 石 面 面	縄文無節 L。 ナデ。 	外・内・断ーにぶい褐色。白色砂粒 (小・中) 少量を含む。	焼成良好。
207	c·	体部破片	本石 :	縄文無節R。 ナデ。	色~灰橋 黒色。第 に記載。	焼成良好。
208	ċ	体部破片	文 石 国 国	縄文R.L.。 ヘラミガキ。	外・内-黒褐色。断-にぶい褐色。 第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。外面・内面に 煤。
209	c·	体部破片	女 内 面 恒	縄文L R。 ナデ。 	外・内-黒褐色。断-明褐灰色。第5 章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
210		体部破片	女 石 一	縄文RL。 ヘラミガキ。	外・内-褐灰色。断-明褐灰色。第5 章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
211		体部破片	女 石 囲 囲	縄文無節R。 ナデ。	外・断ーにぶい黄橙色。内-灰褐色。 第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。

遺物番号	器種	法 量 (現存率) (単位 cm)		成形。調整	色調。 胎土	焼 吸。 備 兆
212	¿ ·	体部破片	外面 内面	結節縄文。縄文LR。 ナデ。	外・内ーにぶい橙色。断一浅黄橙色。 第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
213	¢.	体部破片	外面 内面	ナデののち、結節縄文。 ナデ。	外-黒褐色。内-褐灰色。断-にぶい 橙色。第5章「土器胎土の砂礫観察」 に記載。	焼成良好。
214	ċ	体部~体部破片	女 石 画 面	縄文R L。 ナデ。	外-橙色。内・断-黒褐色~浅黄橙色。第5章「土器胎土の砂礫観察」に 記載。	焼成良好。底部内面に煤
215	相	底径 2.6 (完存)	女 女 面 面	頸部下に沈線。体部-ヘラミガキ。底部-ナデ。 関部下、体部に粘土紐接合 腹残存。ナデ。	外-浅黄橙色~黒褐色。内-黒褐色。 断-浅黄橙色。第5章「土器胎土の砂 礫観察」に記載。	焼成良好。
216	涨	鉢 推定口径 22.2(1/5)	外面 内面	ナデののち、口縁部下にヘラ 状工具で刺突をめぐらす。 ナデ。	外-灰赤色。内-灰褐色~にぶい橙色。断-黒褐色。第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
217	ç.,	口縁部破片	を 国 国 国	ヘラ状工具によるナデのの ち、口縁部にヘラ状工具に よる押圧。 ヘラ状工具によるナデ。	外・内・断ー黒褐色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、角閃石(小・中) 少量を含む。	焼成良好。
218	<i>د</i> ٠	体部破片	枚 石 周 個	沈緞。 ヘラミガキ。	外・内・断ーにぶい褐色。第5章「土 器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
219	踩	鉢 口縁部~体部破片	女 内 面	ロ縁部ーナデののち、ヘラ 状工具による押圧。体部ーヘラケズリ。 ナデ。	外・内・断-灰褐色。白色砂粒 (小・中) 少量、角閃石 (小・中) 少量を含む。	焼成良好。内面の一部に煤。

遺物 界 品	器	種	法量(現存率) (単位 cm)	Ĭ.	成形。調整	色調。 胎土	焼成•備考
H				口唇部	唇部にキザミメ。	外-にぶい橙色。第5章「土器胎士の 焼成良好。	焼成良好。
UGG	15,	*	一一年二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	外面	二枚貝条痕ののち、ヘラ状 砂礫観察」に記載。	砂礫観察」に記載。	
077	<u>K</u>	4		. 1	工具による押し引き。		
				内面、	ナギ。		
				外面、	ヘラ状工具によるナデのの	へラ状工具によるナデのの 外・内-黒褐色。断-にぶい橙色。第一	焼成良好。
991	ž,	*	日如海州、加姆日	,	ち、ヘラ状工具に	5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	
777	<u>K</u>	1			よってコの字状の刺突。	-	
				内面 ′	ヘラミガキ。		

第5層

過多	器	重	法量(現存率) (単位 cm)	成形。調整	色調。胎士	焼成•備考
H				波状口縁。 外面 口縁部-ヘラケズリ。体部	外・内・断-灰黄褐色。白色砂粒(小・中)少量、雲母(小・中)後量、	焼成良好。体部外面に 煤。口縁部外面に黒斑。
224	账	本	37. 4(1/5)		角閃石(小・中)少量を含む。生駒西	
				内面 ナデ。	麓。	
				波状口縁。	外•内•断一灰黄褐色。白色砂粒(小	焼成良好。口縁部外面、
L	115	1	推定口径	外面 口縁部ーナデ。体部ーヘラ	•中)少量、雲母(小·中)少量、	口縁部から胴部下半内面
C77	送	★	16.6(1/3)	ケズリ。	角閃石(小・中)少量を含む。生駒西	に煤。
				内面・ナデ。	麓。	- 1
				波状口縁。	外一にぶい褐色。内・断一にぶい橙。	焼成良好。口縁部~胴部
0	ļ	4	推定口径	外面 ヘラケズリ。	白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲	外面に煤。
526	迷	女			母(小・中)少量、角閃石(小・中)	
					少量を含む。生駒西麓。	
			F) [外面 ナデ。	外一灰黄褐色。内一にぶい黄橙色。	焼成良好。口縁部~体部
227	災	林			断-灰黄色。第5章「土器胎土の砂礫	外面、体部下半に煤。
			11.2(1/4)		観察」に記載。	
				口唇部にキザミメ (D字)。	外・内・断一にぶい赤褐色。白色砂粒	焼成良好。口縁部外面に
000	<u> </u>	4	推定口径	外面 口縁部ーナデ、体部ーヘラ	(小・中) やや多量、雲母 (小・中)	煤。
877	送	\$	42, 4(1/7)		やや多量、角閃石(小・中)やや多量	
				内面 ナデ。	を含む。生駒西麓。	
			\$\frac{1}{2}\frac{1}\frac{1}{2}\f	外面 口縁部ーナデ、体部ーヘラ	外・内・断一にぶい黄褐色。第5章	焼成良好。口縁部外面・
229	账	*	作た口径 29.4(1/5)	ケズリ。 内面 ナデ。	「土器胎土の砂礫観察」に記載。	内面に黒斑。
					外一褐灰色。内•断一灰褐色。白色砂	焼成良好。外面・内面に
		:	推定口径		粒 (小・中・大) やや多量、雲母 (小	人樣。
230	账	禁	Ħ H	内面 ナデ。	•中) 少量、角閃石 (小・中) 少量を	
					含む。生駒西麓。	
				•		

	絽	種	法 量 (現存率) (単位 cm)	成形。調整	色調。 胎土	焼成•備考
357	迷	李	推定口径 30 6(1/6)	口唇部にキザミメ (D字)。 外面 ヘラケズリ。 内面 キデ	外・内・断-灰黄褐色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)	焼成良好。口縁部外面に 煤。口縁部内面に黒斑。
			00.001/07		シ星、AWA(ハ・サ)シ星で占む。 生駒西麓。	
				,	外・断ーにぶい黄橙色。内ー黒色。白	焼成良好。口縁部外面、
	爕	鉄	口黎部時上	内面 二枚貝条痕。	色砂粒(小•中•大)少量、雲母(小	内面に煤。
	<u>,</u>	i-			中)少量、角関石(小・中)少量を へか、いましては	
				14 IN 14 AU		
	ļ			版状口縁。	外・断ーにぶい黄橙色。内-黒色。第	焼成良好。口縁部外面に
	迷	林	口縁部破片		5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	黒斑。
				内面 ナデ。		
				口唇部にキザミメ(0字)。	外•内•断-灰黄褐色。白色砂粒(小	焼成良好。口縁部外面•
	以	**	口缘軟件	 外面 ナデ。	・中)やや多量、雲母(小・中)少	
	<u> </u>		L M& HINK/	内面 ナデ。	12 (小・中) 分	
i					駒西麓。	
				外面 口縁部ーナデ。体部ーヘラ		焼成良好。
	账	林	口縁部~体部破片		「土器胎土の砂礫観察」に記載。	
			The same in control co	内面・ナデ。		
				器	外。内。断一灰黄褐色。白色砂粒(小	焼成良好。口唇部に黒
,-	段	*	口參或確比	外面 口縁部下にキザミメ(D字)	・中・大) やや多量、雲母 (小・中)	斑。
-	ź	1	1 /X/h.ch.x/y/ 1	突帯貼り付け。	少量、角閃石 (小・中) 少量を含む。	
1				内面・ナデ。	生駒西麓。	
				外面 体部一ヘラケズリ。底部一	外・内・断一にぶい橙色。白色砂粒	焼成良好。体部下半外面
-	対	*	推定底径	ナデ。	(小・中) やや多量、雲母 (小・中)	に揉。
~	K	\$	4.4(1/3)	 内面 ナデ。	少量、角閃石(小・中)少量を含む。	,
					生駒西麓。	
1						

遺物	器	種	法量(現存率) (単位 cm)	成形。調整	色調。 胎土	焼 成・備 巻
238	炭	*	底径 5.6 (完存)	外面 体部-ヘラケズリ。底部- ナデののち、周縁のみヘラ ケズリ。 内面 ナデ。	- 外-にぶい褐色。内・断-灰黄色。第 5 章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
239	炭	***	推定底径 6.4(1/4)	外面 体部ーヘラケズリののち、 ナデ、底部ーナデ。 内面 ナデ。	外・断ーにぶい褐色。内ー褐灰色。 白色砂粒 (小・中) 少量、雲母 (小・ 中) 微量、角閃石 (小・中) 微量を含 む。生駒西麓。	焼成良好。
240	羰	李	推定底径 5.0(1/2)	外面 体部-ヘラケズリ。底部 ナデ。 内面 ナデ。	- 外・断-灰黄褐色。内-黒色。白色砂粒(小・中)やや多量、雲母(小・中) やや多量、雪母(小・中) 少量、角閃石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。
241	朕	李	推定口径 33.6(1/5)	外面口縁部下に突帯貼り付け。口縁部ーナデ。体部ーヘラ状工具によるナデ。内面ヘラ状工具によるナデ。	外・内ーにぶい黄橙色。断面-黒色。 第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。口縁部外面・ 内面に煤。口縁部内面に 黒斑。
242	朕	李	推定底径 20.0(1/6)	外面口縁部直下に突帯貼り付け。口縁部ーナデ。体部ーヘラケズリ。ケズリ。内面ナデ。	外・内-黒色。断-灰オリーブ色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母 (小・中)少量、角閃石(小・中)少 量を含む。生駒西麓。	焼成良好。
243	账	**	底部破片	外面 ナデ。 内面 ナデ。	外ーにぶい橙色。内・断ーにぶい褐 色。白色砂粒(小・中・大)やや多 量、雲母(小・中)少量、角閃石(小 ・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。体部下半外面に煤。
244	朕	類	底部破片	外面 ナボ。 内面 ナボ。	外・内・断ーにぶい黄稽色。白色砂粒 (小・中)少量、雲母(小・中)少 量、角閃石(小)微量を含む。生駒西 麓。	焼成良好。底部内面に煤

遺物番号	器	種	法量(現存率) (単位 cm)		成形・調整	色調。 胎土	焼 成。 備 考
245		禁	推定口径 15.2(1/6)	外 内	口縁部下に突帯貼り付け。 口縁部-ナデ。体部-ヘラ ミガキ。 ナデ。	外ーにぶい橙色。内一灰黄褐色。断一黄灰色。第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。体部外面・内面に煤。
246		本	推定口径 29.2(1/8)	無 女 石 面 面	補修孔(両面穿孔)が1孔あり。 外面 ヘラミガキ。 内面 口縁部-ヘラミガキ。体部 一ヘラ状工具によるナデ。	外・内-黒色。断-灰黄色。白色砂粒(小・中)少量を含む。	焼成良好。
247	/	李	口縁部破片	外面内面	ヘラミガキ。 ナデ。	外・内・断ー橙色。第5章「土器胎土 の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
248		禁	口縁部破片	外面内面	ナボ。ナナ、	外・内・断-灰白色。第5章「土器胎 土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
249	涭	44	口縁部破片	太 石	ヘラニガキ。 ヘラニガキ。 ・	外-にぶい赤褐色。内・断-灰黄褐色。白色砂粒(小・中)やや多量、雲母(小)少量、角閃石(小)少量含む。生駒西麓。	焼成良好。内面に煤。口縁部外面の一部に黒斑。
250	筬	禁	口縁部破片	口唇部 外面面 内面面	ロ唇部、突帯にキザミメ (D字)。 外面 二枚貝条痕。 内面 ヘラミガキ。	外・内・断ーにぶい橙色。第5章「土 胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
251	浅	禁	口縁部破片	女 内 国 国	口縁部下に突帯貼り付け。 口縁部下に沈線、ナデ。	外・内・断ーにぶい黄橙色。白色砂粒 (小・中)少量、雲母(小)微量、角 閃石(小)微量を含む。生駒西麓。	焼成良好。
252	浅	鍊	口縁部破片	外面 内面	口緑部下に突帯貼り付け。 口緑部ナデ。 ナデ。	外・断-灰黄褐色。内-黒色。白色砂粒(小・中)少量、雲母(小・中)少 量、角閃石(小・中)少量を含む。	焼成良好。
253	浅	禁	口縁部破片	か 回 回 回	口縁部下に突帯貼り付け。 ヘラミガキ。 ヘラミガキ。	外・内一にぶい赤褐色。断一灰黄色。 白色砂粒 (小・中) やや多量、雲母 (小) 少量を含む。	焼成良好。

 □ 縁部破片 □ 縁部破片 □ 十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二		色調•胎士	焼 吹・備 考
dr dr dr	ロ唇部にB 突起。キザミメ。 外面 - 口縁部 - 沈線、沈線間に刺 突文。体部 - 縄文L R。 内面 ナデ。	外・内・断ー黒褐色。第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
4r 4r	ロ唇部にキザミメ。 外面 沈線、沈線間に刺突文。 内面 ナデ。	外・内・断ーにぶい黄橙色。第5章 「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
4-	口唇部にキザミメ。 外面 沈線、沈線間に刺突文。 内面 ナデ。	外・内・断ー黒褐色。第5章「土器胎 土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
	口唇部にB突起。 外面 沈線、沈線間に刺突文。 内面 ナデ。	外・内-灰黄褐色。断-黒色。第5章 「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
	外面 沈線、沈線間に刺突文。 内面 ナデ。	外-黒褐色。内・断-灰黄色。白色砂粒(小・中)少量、雲母(小)少量、 黒色砂粒(小)少量を含む。	焼成良好。
	外面 縄文L.R. 内面 ナデ。	外・内・断ー黒褐色。第5章「土器胎 土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
体部破片	外面 縄文L K。結節縄文。 内面 ナデ。	外・内・断ーにぶい褐色。第5章「土 器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
体部破片	外面 縄文R.L。 内面 ヘラミガキ。	外・断-灰黄色。内-黒色。第5章 「土器胎士の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
体部破片 P	外面 縄文LR。 内面 ヘラケズリ。	外・内・断ー黒褐色。白色砂粒(小・中・大)少量、雲母(小・中)微量を含む。	焼成良好。
体部破片	外面 縄文I.R。 内面 ナデ。	外・内・断-黒褐色。白色砂粒(小・中)少量、雲母(小)微量を含む。	焼成良好。

_	_			
焼成•備老	焼成良好。	焼成良好。	焼成良好。	焼成良好。
色調•胎士	外・内・断ーにぶい褐色。第5章「土 器胎土の砂礫観察」に記載。	外・内・断-灰白色。白色砂粒(小・中)やや多量、雲母(小)少量を含む。		外・内・断ーにぶい赤褐色。第5章 「土器胎土の砂礫観察」に記載。
成形•調整	外面 縄文RL。 内面 ヘラミガキ。	外面 縄文L.R. 内面 ナデ。	外面 口縁部ーナデののち、ヘラ 状工具を押圧。体部ーヘラ ケズリ。 内面 口縁部ーナデ。体部ーヘラ ケズリ。	外面 口縁部ーナデののち、ヘラ 状工具による押圧。体部ー ヘラケズリ。 内面 ナデ。
法 量 (現存率) (単位 cm)	体部破片	体部破片	口縁部~体部破片	口縁部~体部破片
器種	٠.	¿	踩	<i>د</i> ٠
遺物 番号	264	265	266	267

第4層

遺物		u	法量(現存率)		1411	7.11	4
	器種	lm:1	(単(0	灰形。調整	色調。 胎 土	洗 攻 • 備 布
	٥٠		口縁部破片		口縁部ーナデ。体部ー沈線 区画内縄文RI。 ナデ	外・内・断- 灰黄褐色。第5章「土器 胎士の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
				7 国际	70	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
		Advance		波状口総	波状口縁。外面に粘土紐接合痕残	外・断ーにぶい橙色。内一黒色。白色	焼成良好。口縁部外面の
	c		1144444	存。		砂粒(小・中・大)やや多量、雲母	一部、口縁部内面に煤。
			LI核型的收入	1=	ナデ。	(小•中) 少量、角閃石 (小•中) 少	
					が十	量を含む。生駒西麓。	
1			ΙГ	波状口縁。	о 2011	外・内ーにぶい黄橙色。断一灰黄褐	焼成良好。口縁部~体部
, , , , ,	災	林		外面 へ	ヘラケズリ。	色。第5章「土器胎士の砂礫観察」に	外面に煤。
			35. 2(1/5)		ナデ。	記載。	
1				口唇部は	口唇部にキザミメ(D字)。	外•断-灰黄色。内-黒色。白色砂粒	焼成良好。内面に煤。
	渁	林	口縁部破片	外面二	二枚貝条痕。	(小•中)少量、雲母(小)微量、角	
				内面ナ	ナデ。	関石(小) 微量を含む。 生駒西麓。	
				外面 二	二枚貝条痕。	外•内•断一灰黄褐色。白色砂粒(小	焼成良好。口縁部内面に
	羰	林	口縁部破片	内面二	二枚貝条痕。	•中・大) やや多量、雲母 (小・中)	煤。
- 1						少量、角閃石(小・中)少量含む。	
			帯 い口 次	外面 ~	ヘラケズリ。	外•内•断一灰黄色。第5章「土器胎	焼成良好。口縁部~体部
	戏	林	1世代口任 90 9/1/6)	内面ナ	ナデ。	土の砂礫観察」に記載。	上半外面に煤。口縁部~
- 1			23. 4(1/ U)				体部内面に黒斑。
				外面口	口縁部一ヘラケズリ。	外-灰黄褐色。内・断-にぶい黄橙	焼成良好。口縁部~体部
	76	*	推定口径	内面力	ナデ。	色。白色砂粒(小・中)やや多量、雲	外面に煤。
	₹	\$	38, 4(1/6)			母(小・中)少量、角閃石(小・中)	
						少量を含む。生駒西麓。	
				紀	口唇部にキザミメ (D字)。	外・内・断-にぶい黄橙色。第5章	焼成良好。外面の一部に
			本	外面口	口縁部ーナデののち、集合	「土器胎土の砂礫観察」に記載。	煤。口縁部外面に赤彩。
. , ~	迷	林	c	<i>'</i> ⊅	沈線。体部一ヘラケズリ。		
			70,4(1/0)	内面~	ヘラケズリ。		

遺物番号	絽	種	法量(現存率) (単位 cm)	成形・調整	色調。胎土	焼 成 • 備 考
276	朕	*	口縁部破片	ロ唇部にキザミメ (D字)。 外面 ロ縁部ーナデ。体部-ヘラ ケズリ。	外一灰黄褐色。内・断ーにぶい黄橙色。白色砂粒(小・中)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を中)少量を含む。	焼成良好。
277	脒	本	口縁部破片	外面 口縁部ーナデ。体部-ヘラ ケズリ。 内面 ナデ。	外-褐灰色。内・断-黄灰色。白色砂粒(小・中)やや多量、雲母(小・中)中)か全多量、宝母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部~体部 外面に煤。
278	账	禁	推定口径 28.0(1/5)	外面 ナデ。 内面 ナデ。	外・内・断ーにぶい黄橙色。白色砂粒 (小・中)少量、雲母(小)微量、角 閃石(小)微量を含む。生駒西麓。	焼成良好。 口縁部内面に 煤。
279	迷	鉢	推定口径 35.2(1/5)	外面 口縁部ーナデ。体部ーヘラ ケズリ。 内面 ナデ。	外・内・断ーにぶい黄橙色。白色砂粒 (小)やや多量、雲母(小・中)少量 角閃石(小・中)少量を含む。生駒西 麓。	焼成良好。口縁部内面に煤。
280	烪	蒋	推定口径 31.4(1/6)	外面 口縁部ーナデ。体部-ヘラ ケズリ。 内面 ナデ。	外・断-灰黄褐色。内-黒色。白色砂 粒(小・中・大)少量、雲母(小・中)微量、角閃石(小)微量を含む。	焼成良好。体部外面、口 縁部~体部内面に煤。
281	账	類	推定口径 7.6(1/4)	体部-ヘラケズリ。体部-ナデ。	外・断ーにぶい黄橙色。内・断一灰色。白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小 ・中)少量を含む。	焼成良好。
282	朕	(4)	推定底径 5.4(1/4)	外面 体部ーヘラケズリ。底部ーヘラケズリののち、周縁のヘラケズリののち、周縁のみナデ。	外・内・断-灰黄色。白色砂粒 (小・中・大) やや多量、雲母 (小・中) 少量、角閃石 (小・中) 少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。

焼成•備考	焼成良好。底部外面に煤	焼成良好。	焼成良好。	焼成良好。	焼成良好。口縁部~体部上半内面に煤。	焼成良好。口縁部外面・ 内面に煤。	焼成良好。口縁部内面に黒斑。
色調。 胎土	外・内・断ーにぶい橙。白色砂粒(小中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角関石(小・中)少量を含む。生 臨元禁	1	外・内ーにぶい橙色。断一黒色。白色砂粒(小・中)やや多量、雲母(小・中)とや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量、茶色砂粒(小・中)少量を含む。	外・断-灰黄褐色。内-にぶい褐色。 白色砂粒(小・中・大)やや多量、雲 母(小・中)少量、角閃石(小・中) 少量を含む。生駒西麓。	外・内-灰黄褐色。断-赤褐色。第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	外・内・断-灰黄色。白色砂粒(小・中・大)少量、雲母(小)微量、角関石(小)微量を含む。生駒西麓。	外・断-にぶい黄橙色。断-黒色。第 5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。
成 形 • 調 整	外面 体部ーナデ。底部ーヘラケ ズリののち、周縁のみナデ。 内面 ナデ。	外面 体部ーナデ。底部ーヘラケ ズリののち、外縁のみナデ。 内面 ナデ。	外面体部 - 板状工具によるナデ。底部ナデ。内面 ナデ。	外面 体部-ヘラケズリ。底部- ナデ。 内面 ナデ。	ロ唇部にキザミメ (V字)。 口縁 部下にキザミメ (V字)。 突帯貼 り付け。 外面 口縁部~体部上半ーナデ。 体部中位一ヘラケズリ。 内面 ナデ。	ロ唇部にキザミメ (V字)。 外面 ロ縁部直下にキザミメ (D 字) 突帯貼り付け。 内面 ナデ。	ロ唇部にキザミメ(D字)。口縁部下にキザミメ(D字) 突帯貼り付け。 外面 ナデ。 内面 ナデ。
法 量 (現存率) (単位 cm)	推定底径 4.4(1/5)	底径 6.0(1/2)	推定底径 6.4(1/4)	推定底径 7.4(1/5)	推定口径 31.4(1/6)	口縁部破片	口縁部破片
器種	***	茶	**	操	*	**	李
遺物 番号	283	284 深	282	数 588	287 涨	888	289 深

焼 改。 備 考	焼成良好。内面に煤。	焼成良好。内面に煤。	焼成良好。	焼成良好。	焼成良好。体部中位外面、体部下半内面に煤。 口縁部の割口に煤。	焼成良好。外面に煤。	焼成良好。口縁部外面・ 内面に煤。
色調。胎土	外・断-灰黄褐色。内-黒色。白色砂粒(小・中・大)少量、石英(小・中)微量を含む。生駒西麓。	外・内・断ーにぶい黄橙色。白色砂粒 (小・中)やや多量、茶色砂粒(小・中)を含む。	外・内・断-灰黄褐色。白色砂粒(小中・大)少量、雲母(小・中)少量、 角閃石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	外・内・断一灰黄褐色。白色砂粒(小中・大)やや多量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量含む。生駒の西麓。	外・内・断-灰黄色。第5章「土器胎士の砂礫観察」に記載。	外・内・断ーにぶい黄色。白色砂粒 (小・中)少量、雲母(小)微量、角 閃石(小)微量を含む。生駒西麓。	高部にキザミメ(D字) 突帯文貼 外・内・断-灰黄褐色。第5章「土器 り付け。
成形。調整	ロ唇部にキザミメ (D字)。 外面 口縁部下にキザミメ (D 字) 突帯貼り付け。ナデ。 内面 ナデ。	外面 口緑部下にキザミメ(D 字)突帯貼り付け。ナデ。 内面 ナデ。	外面 口縁部下にキザミメ(D 字)突帯文。ナデ。 内面 ナデ。	外面 口縁部下に突帯貼り付け。 内面 ナデ。	口縁部下に突帯貼り付け。 外面 ヘラケズリ。 内面 ナデ。	ロ縁部直下にキザミメ (D字) 突 帯文貼り付け。 外面 ナデ。 内面 ヘラケズリ。	肩部にキザミメ (D字) 突帯文貼 り付け。 外面 口縁部ーナデ。体部-ヘラ ケズリ。 内面 ナデ。
法 量 (現存率) (単位 cm)	口縁部破片	口縁部破片	口縁部破片	口縁部破片	推定口径 18.8(1/6)	口縁部破片	体部破片
器種	读	鉢	鉢	禁	*	禁	楼
	账	烪	账	朕	账	账	账
遺物番号	290	291	292	293	294	295	

遺物番号	器	種	法 量 (現存率) (単位 cm)	成形。調整	色調。胎士	焼成•備考
297	账	茶	体部破片	肩部にキザミメ (D字) 突帯文貼 り付け。 外面 ナデ。 内面 ナデ。	外・内・断一灰白色。第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。内面に煤。
298	践	禁	口縁部破片	肩部にキザミメ (D字) 突帯文貼 り付け。 外面 ナデ。 内面 ナデ。	外・内・断一灰黄褐色。第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
299	跌	蓉	底部破片	外面 ヘラケズリ。 内面 ナデ。	外・内- 灰黄色。断- 灰黄褐色。第5 章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
300	# 11	7 H	推定口径 9.0(1/5)	外面 粘土紐接合痕残存。ナデ。 内面 板状工具によるナデ。	外・内・断ーにぶい黄橙色。白色砂粒 (小・中・大)少量、雲母(小)少量、角閃石(小)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。外面に煤。
301	11	Fz7	推定口径 5.2(1/4)	外面 ナデ。 内面 ナデ。	外・内・断-黒色。白色砂粒(小・中)少量、雲母(小・中)少量、角関石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。
302	漢	鉢	口縁部破片	外面・ナデ。 内面 ナデ。	外・内・断ーにぶい橙。白色砂粒(小・中)少量、雲母(小)少量、角関石(小)少量、角関石(小)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。口縁部内面に 煤。
303	幾	禁	口縁部破片	外面 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキ。	外・内・断ーにぶい黄橙色。白色砂粒 (小・中)少量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を含む。生 駒西麓。	焼成良好。
304	幾	禁	口縁部破片	ロ縁部直下に突帯張り付け。 外面 ロ縁部ーナデ。体部ーヘラ ケズリ。 内面 ナデ。	外・内・断-灰褐色。白色砂粒(小・中)やや多量、雲母(小・中)少量、 角関石(小・中)少量を含む。生駒西麓。	焼成良好。外面・内面に煤。

種		法量(現存率) (単位 cm)		+ H •	焼成•備考
1	禁	口縁部破片	外面 口縁部トに突帯貼り付け。 ヘラミガキ。 内面 ヘラミガキ。	外・内ー黒色。断一K黄褐色。白色砂粒(小・中)少量、雲母(小)少量を含む。	焼成良好。
	禁	口縁部破片	外面 口縁部下に突帯貼り付け。ヘラミガキ。内面 ヘラミガキ。	外・内・断 - 赤橙色。白色砂粒(小・中)やや多量、雲母(小) 少量、角閃石(小) 少量を含む。	焼成良好。
		口縁部破片	ロ唇部にキザミメ。 外面 沈線文。沈線文の間に刺突 文。縄文LR。 内面 ナデ。	外・内・断一灰黄褐色。第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。外面・内面に煤。
c.		口縁部破片	ロ唇部にキザミメ。 外面 沈線文。沈線文の間に刺突 文。 内面 ナデ。	外・内・断ーにぶい褐色。第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。口縁部外面の一部に黒斑。
1		口縁部破片	ロ唇部にキザミメ。 外面 沈線文。沈線文の間に刺突 文。縄文LR。 内面 ナデ。	外・内・断ーにぶい橙色。第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
1		口縁部破片	口唇部に突起。 外面 沈線文。沈線文の間に刺突 文。 内面 ナデ。	外・内・断ーにぶい黄橙色。第5章 「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
c.		口縁部破片	ロ唇部にキザミメ。 外面 沈線文。沈線文の間に刺突 文。 内面 ナデ。	外・内・断ーにぶい黄橙色。白色砂粒 (小・中)少量、雲母(小・中)少量 を含む。	焼成良好。
٠.		体部破片	外面 沈線文。沈線文の間に刺突 文。 内面 ナデ。	外・内・断-灰黄色。第5章「土器胎士の砂礫観察」に記載。	焼成良好。

備考				jc媒。		1に煤。			
焼 成・	焼成良好。	焼成良好。	焼成良好。	焼成良好。内面に煤。	焼成良好。	焼成良好。内面に煤。	焼成良好。	焼成良好。	焼成良好。
色調•胎土	外・内・断ーにぶい黄橙色。第5章 「土器胎土の砂礫観察」に記載。	外・内・断-灰黄褐色。白色砂粒(小・中)少量を含む。	外-にぶい黄橙色。内・断-黒褐色。 第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	外・内・断ーにぶい黄橙色。第5章 「土器胎土の砂礫観察」に記載。	外・内・断ーにぶい橙色。第5章「土 器胎士の砂礫観察」に記載。	外・内・断ーにぶい黄橙色。第5章 「土器胎土の砂礫観察」に記載。	外・内・断- 灰黄褐色。第5章「土器 胎土の砂礫観察」に記載。	外ーにぶい黄橙色。内-灰黄色。断- 黒色。第5章「土器胎土の砂礫観察」 に記載。	外・断ーにぶい黄褐色。内ー褐灰色。 第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。
成形。調	外面 沈線文。縄文LR。 内面 ナデ。	外面 沈線文。縄文LR。 内面 ナデ。	外面 沈線文。縄文RL。 内面 ナデ。	外面 縄文L R。 内面 ナデ。	外面 縄文LR。 内面 ナデ。	外面 縄文T.R。 内面 ナデ。	外面 縄文LR。 内面 ヘラケズリ。	外面 縄文R.L.。 内面 ナデ。	外面 ナデののち、竹管文。内面 ナデ。
法 量 (現存率) (単位 cm)	体部破片	体部破片	体部破片	体部破片	体部破片	体部破片	体部破片	体部破片	体部破片
器種	ۮ	ۮ	٠	٠	٠	٠	٠	٠	深
遺物 番号	313	314	315	316	317	318	319	320	321

	,	
S.P.7	焼成•備考	焼成良好。
	色調•胎土	にぶい橙色。第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。
	成形 • 調整	口唇部に櫛描列点文。 外面 ヘラミガキのち、櫛描直線 文。 内面 指押さえ、ナデ。
	法量(現存率) (単位 cm)	推定口径 24. 2(1/3)
	器種	쏌
	番 切	322

-96-

第2層

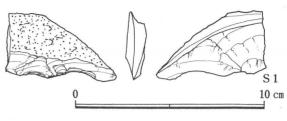
第2層	焼 成• 備 考	焼成良好。	焼成良好。原下層式。	焼成良好。	焼成良好。	焼成良好。	焼成良好。	焼成良好。	焼成良好。	焼成良好。
	色調•胎士	外・断一灰褐色。内一にぶい赤褐色。 雲母(小・中)少量、角閃石(小・ 中)少量、長石(小・中)少量を含 む。	外・断ーにぶい赤褐色。内ー褐灰色。 第5章「土器胎土の砂礫観察』に記載。	外・内-赤灰色~にぶい橙色。断-に ぶい橙色。第5章「土器胎土の砂礫観 察」に記載。	外ー黒色~赤褐色。内・断-赤黒色~ にぶい橙色。第5章「土器胎土の砂礫 観察」に記載。	外ー褐灰色~にぶい赤褐色。内・断一 明赤褐色。第5章「土器胎土の砂礫観 察」に記載。	外・断-灰褐色~にぶい褐色。内-黒 褐色~灰褐色。第5章「土器胎土の砂 礫観察」に記載。	外・内ーにぶい褐色。断ー褐灰色~に ぶい褐色。第5章「土器胎土の砂礫観 察」に記載。	外・内・断ーにぶい赤褐色。第5章 「土器胎土の砂礫観察」に記載。	外-赤褐色。内・断-にぶい赤褐色。 第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。
	成形 • 調整	ロ縁端部にキザミメ。 外面 ナデ。 内面 ナデ。	外面 ナデ。ヘラ状工具による圧 痕。 内面 ナデ。	外面口縁端部-扇形文。頸部- 櫛描文ののち、ヘラミガキ。内面ヘラミガキ。	外面 体部-ハケののち、ヘラミガキ。底部-ヘラミガキ。底部-ヘラミガキ。底部- 内面 体部-ヘラミガキ。底部- ナデ。	外面 体部・底部-ヘラミガキ。 内面 体部・底部-ヘラミガキ。	外面 体部・底部ーナデ。 内面 体部・底部ー指押さえ、ナ デ。	外面 ナデ。 内面 ナデ。	外面 口緑端部 - 簾状文 (左回り)。頸部-ナデ。 内面 ハケ。	外面 櫛描直線文。 内面 ヘラミガキ。
	法量(現存率) (単位 cm)	口縁部破片	頸部破片	推定口径 20.4(1/4)	底径 9.2 (完存)	底径10.5 (完存)	底径 7.6 (完存)	底径 5.8 (2/3)	口縁部破片	頸部破片
	器種	深	渁	栅	題	羅	獲	獲	宀	桕
	動 物 中	323	324	325	326	327	328	329	330	331

遺物 番 号	器種	法量(現存率) (単位 cm)		成形。調整	色調。 胎土	焼成•備考
332	個	頸部破片	A 面 面	簾状文。 ナデ。	外-明褐色。内・断-赤灰色。第5章 「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良妊。
333	金本	胴部破片	A 回 回	口緑端部は簾状文。体部は 簾状文ののち、ヘラミガキ。 ヘラミガキ	外・内- 橙色。断-にぶい橙色。第5 章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
334	金本	口縁部破片	A 面 四 回 回	口緑端部ー櫛描波状文。体部一簾状文。 部ー簾状文。 ヘラミガキ。	外・内-褐灰色~明褐色。断-褐灰 色。第5章「土器胎土の砂礫観察」に 記載。	焼成良好。
335	高坏	口縁部破片	外面内面	体部 - 櫛描列点文。 体部 - ヨコナデ。	外ーにぶい橙色。内・断ーにぶい橙色 一灰褐色。第5章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
336	画	口縁部破片	A 固 固	ロ縁部 - 櫛描列点文。体部 - ヘラミガキ。 ロ縁部 - ヨコナデ。体部 - ヘラミガキ。	外・断ーにぶい橙色。内一橙色。第5章 章「土器胎土の砂礫観察」に記載。	焼成良好。
337	土製円盤	径 約 5.3	人 国 国	ヘラミガキ。 ナデ。	外・断ー褐灰色。内ーにぶい赤褐色。 長石(小・中・大)やや多量、雲母 (小・中)少量、角閃石(小・中)少量を含む。	焼成良好。弥生土器甕を再利用。
338	土製円盤	径 約 4.4	外面 内面	ヘラミガキ。 ヘラミガキ。	外一黒褐色。内。断一褐灰色。長石 (小・中)少量、雲母(小・中)少量、角閃石(小・中)少量、角閃石(小・中)少量を含む。	焼成良好。
339	土製円盤	径 約3.3	人 国 国	ヘラミガキ。 ヘラミガキ。	福。 包	焼成良好。

2. 石 器

(a) 落ち込み (SO) 1出土土器

スクレイパーが1点出土している。 明瞭な刃部は作られていないが周辺 部の2ケ所のみに使用痕がみられる。 「使用痕を有する剝片」としたほう が良いかもしれない。石質はサヌカ イトである。



第42図 落ち込み(SO)1出土石器

(h) 土器集積(SW)1出土土器

石鏃27点(未製品)、石錐2点、スクレイパー4点、ピエスエスキーユ20点、打製石斧1点。石棒1点、石刃1点、石錘3点、敲打器1点、磨石1点の計62点が出土している。

石 鏃

27点全点図化した。S $2 \sim$ S 14は基部がわずかにくぼんでいる凹基三角鏃である。S $15 \sim$ S $17 \circ 3$ 点は平基三角鏃である。S 18は基部が欠損しているために形態がはっきりしないが、三角鏃と思われる。S $19 \sim$ S 24は五角鏃である。いずれも基部がゆるく彎曲する特殊な形態である。S $26 \sim$ S 28は仕上げを施される前に製作を放棄された未成品である。石鏃の石質はいずれもサヌカイトである。

石 錐

S30は逆三角形の形態をもつ石錐である。先端部がごくわずかに磨耗している。図化していないもう1点は、先端部の小破片である。石質は両方ともサヌカイトである。

スクレイパー

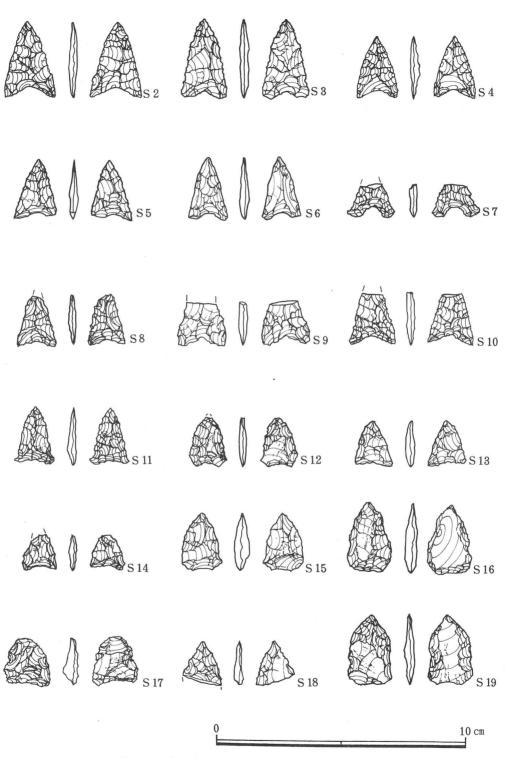
 $S31 \cdot S32 \cdot S3403$ 点は平面形態が三角形を呈し、その一辺に刃がつくられている。 3点とも横長剝片を利用しており、刃の反対側を厚くつくって縦断面が細長い三角形を 呈すのも共通している。S31は破損品である。S32は隅丸長方形の横長剝片の二辺に刃 をつくっている。石質は4点ともサヌカイトである。

ピエスエスキーユ

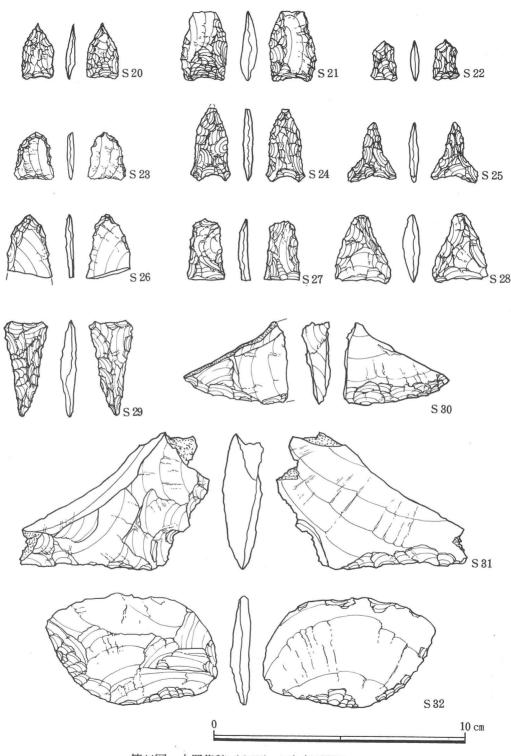
S34・S35・S37・S39・S41は剪断面をもつピエスエスキーユである。この剪断面は20点中10点にみられた。また、S40・S41のように、大形品には上下両端の階段状剝離が少ないのが特徴である。石質はいずれもサヌカイトである。

打製石斧

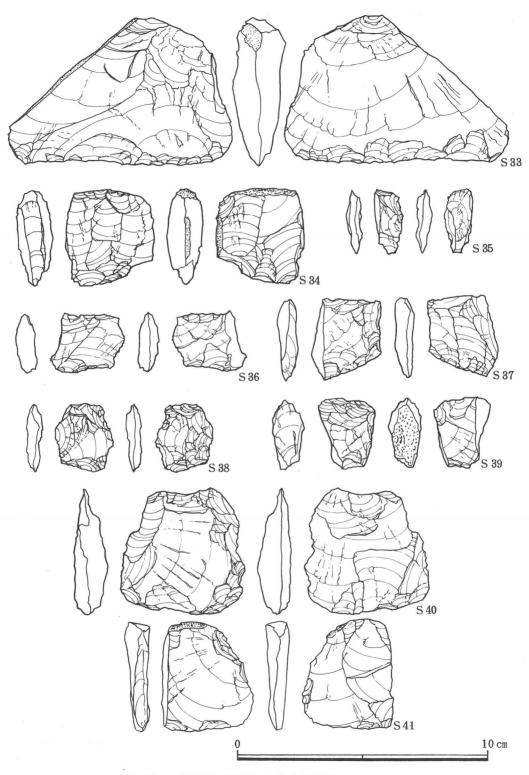
S42は刃部が欠損している打製石斧で、側縁に「つぶし」はみられない。加工から推



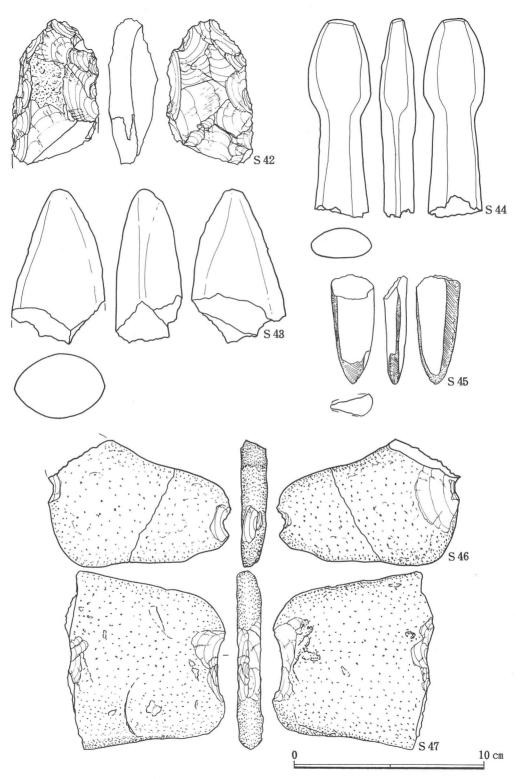
第43図 土器集積(SW)1出土石器(1)



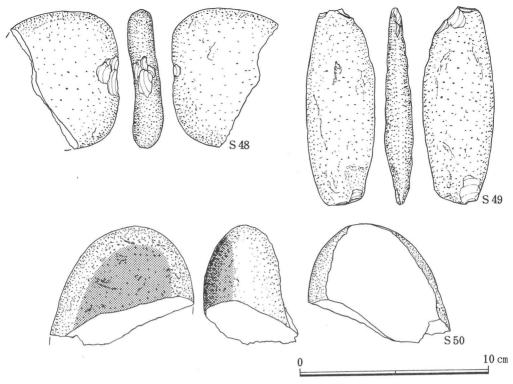
第44図 土器集積 (SW) 1出土石器(2)



第45図 土器集積(SW)1出土石器(3)



第46図 土器集積(SW)1出土石器(4)



第47図 土器集積(SW)1出土石器(5)

定すると、剝片石器ではなく石核石器のようである。

磨製石斧

S43は断面が楕円形の乳棒形磨製石斧である。仕上げは雑で、ところどころ整形加工である敲打痕が残る。石質は輝緑岩である。図化していない1点は刃部部分がうすく剝離した小破片である。石質は輝緑岩である。

石 棒

S44は断面が楕円形を呈する。頭部に文様はみられない。石質は点紋片岩である。

石 刀

S45は石刀の先端部分の破損品である。破損が著しく、断面から石刀ではないかと推定した。表面に仕上げの痕と思われる線条痕がみられる。石質は頁岩である。

石 錘

3点とも扁平な亜角礫を用い、長軸上の両端に打撃を数回加えて凹部をつくっている。 S46は熱によって表面が変色している。S46の石質は砂岩、S47は輝石安山岩、S48は 礫質砂岩である。

敲打器

細長くて扁平な亜角礫の長軸上の両端に敲打痕がみられる。石質は董青石ホルンヘルスである。

磨 石

楕円形の円礫を利用して磨石にしている。熱を受けて表面が変色している。石質は砂岩である。

(c) 第5層出土石器

石鏃19点(未成品2点)、石錐1点、スクレイパー3点、ピエスエスキーユ22点、敲 打器1点の計46点が出土している。

石 鏃

 $S51 \sim S60$ は三角鏃である。 $S51 \sim S55$ は基部が大きくくぼんでいる凹基に対し、 $S56 \sim S60$ は土器集積(SW)1の石鏃と同様にわずかに彎曲する凹基である。S61は五角鏃であるが、飛行機鏃に近い形態をもつ。S62はS25と同様の形態をもつと思われる。 $S63 \sim S65$ は破損品であるが、S63が三角鏃、 $S64 \bullet S65$ が五角鏃と推定される。 $S66 \bullet 67$ は未成品である。石質はいずれもサヌカイトである。

石 錐

S 68は先端部に簡単な調整を施しただけの、逆三角形の形態をもつ石錐である。石質はサヌカイトである。

スクレイパー

S69はS31•S32と同じ三角形のスクレイパーである。S70は素材の凹みをそのまま利用している。S71は丁寧な刃部加工をしている。石質はいずれもサヌカイトである。

ピエスエスキーユ

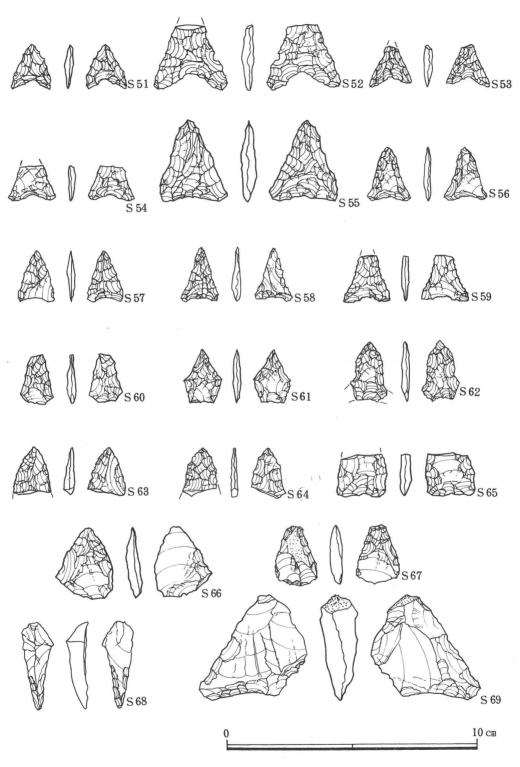
S72•S73はじめとして5点が剪断面を持つ。S80~S84は剪断面を打面として利用していたと思われる。そのため、いずれも平面形態が三角形、台形を呈す。このうち4点が近接した地点から出土していることも注目に値する。石質はいずれもサヌカイトである。

敲打器

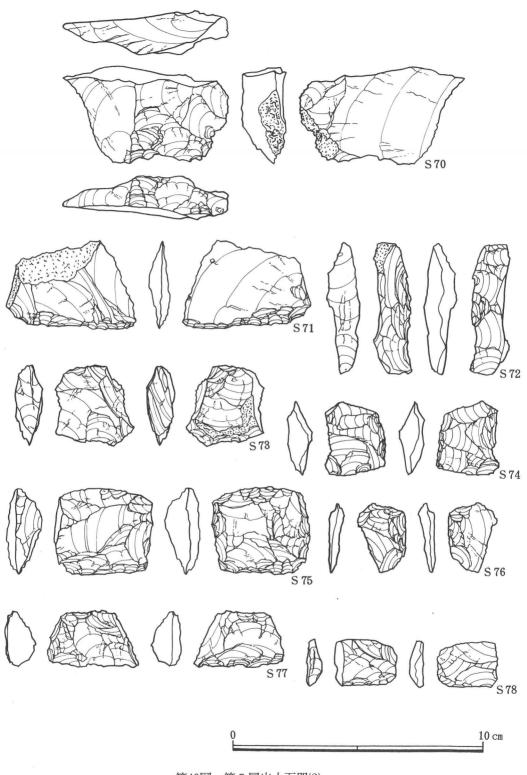
頭頂部と、底面部の周辺に敲打痕が集中する。形態が、東日本で縄文時代早期に盛行するスタンプ形石器に類似するが、系統は異なるものと思われる。石質はサヌカイトである。

(d) 第 4 層出土石器

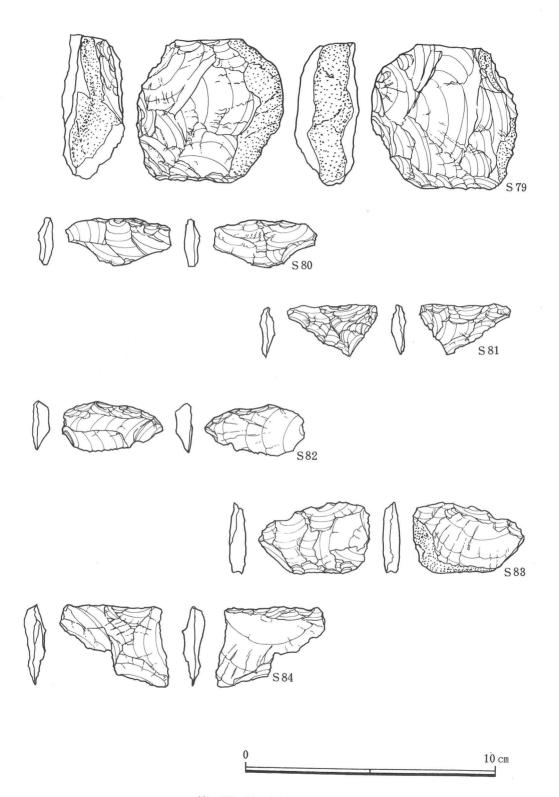
石鏃23点(未成品 3 点)、石錐 1 点、スクレイパー 2 点、ピエスエスキーユ21点、磨製石斧 2 点、石錘 1 点、磨石 1 点の計51点出土している。



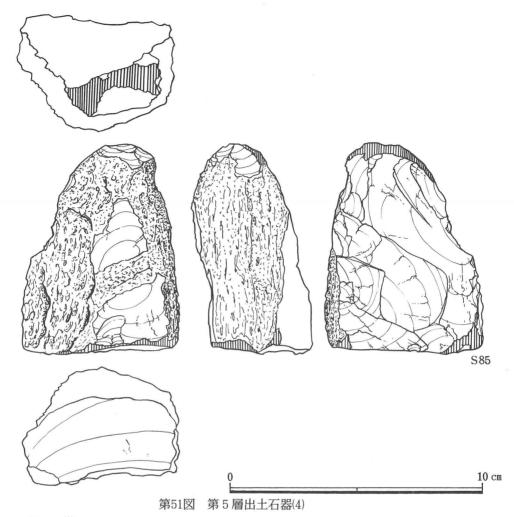
第48図 第5層出土石器(1)



第49図 第5層出土石器(2)



第50図 第5層出土石器(3)



石 鏃

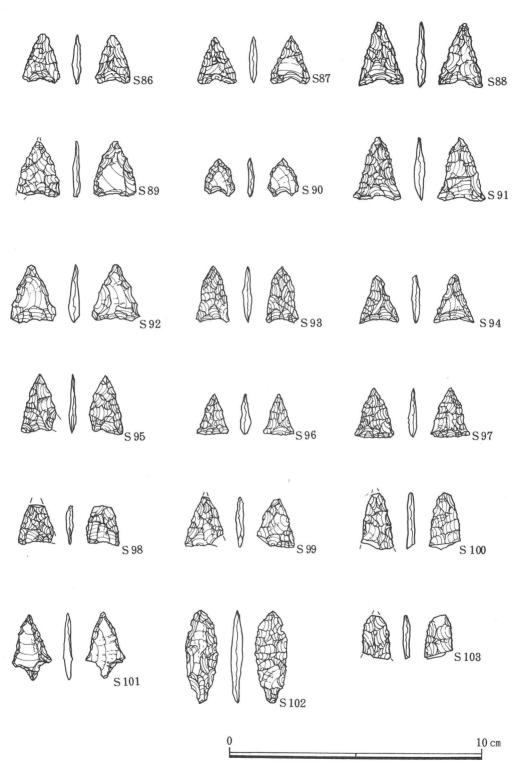
 $S86\sim95$ は基部がゆるく彎曲する凹基三角鏃で、 $S96\circ S97$ は平基三角鏃である。 $S98\sim S100$ は破損品であるが、いずれも三角鏃と思われる。S101 は有茎三角鏃で、調整が簡単なのが特徴である。S102 は尖基形石鏃で、S103 も同様の形態と思われる。 $S104\sim S107$ は未成品である。石質はいずれもサヌカイトである。

石 錐

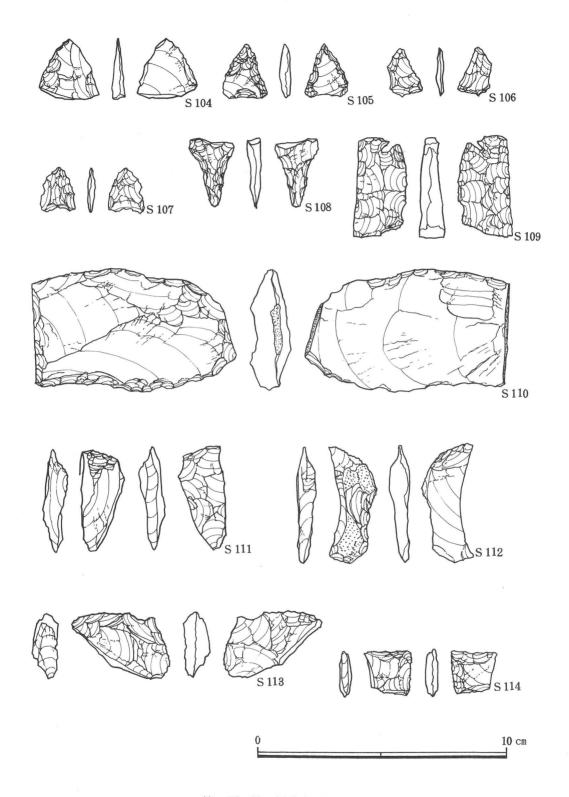
S108 は逆三角形の形態をした石錐である。先端部が少し磨耗しており、わずかに光沢をもつ。石質はサヌカイトである。

スクレイパー

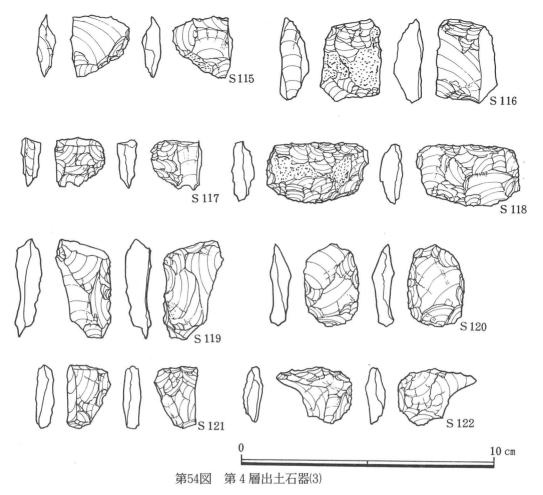
S109 は下半部の欠損したサイドスクレイパーである。上端の凹みは加工によってではなく、自然にできていたものである。S110 は縦長剝片を利用し、簡単な調整で刃をつくりだしている。石質は両方ともサヌカイトである。



第52図 第4層出土石器(1)



第53図 第4層出土石器(2)



ピエスエスキーユ

 $S101 \sim S117$ は剪断面をもつピエスエスキーユである。S122 は $S80 \sim S84$ と同様の剪断面を打面として利用している。石質はすべてサヌカイトである。

磨製石斧

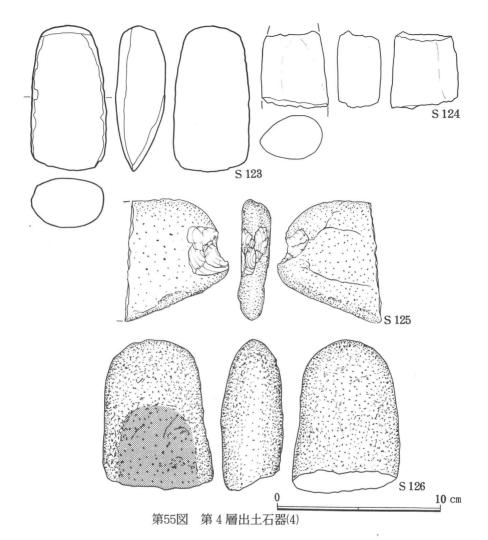
S123 は片面にだけ稜をもつ定角形磨製石斧である。稜をもつ面はきれいに磨き上げられているが、反対側の面は敲打したままである。石質は玄武岩質凝灰岩である。S124 は断面が楕円形の乳棒形磨製石斧である。各面とも中央部が磨かれているのが特徴である。石質は輝緑岩である。

石 錘

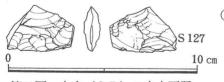
S125 は亜角礫を用いた石錘で、半分が欠損している。石質は砂岩である。

磨 石

S126 はやや肉厚の亜角礫を用い、片面の中央部に顕著な磨耗部がみられる。石質は



砂岩である。



第56図 小穴(SP)7出土石器

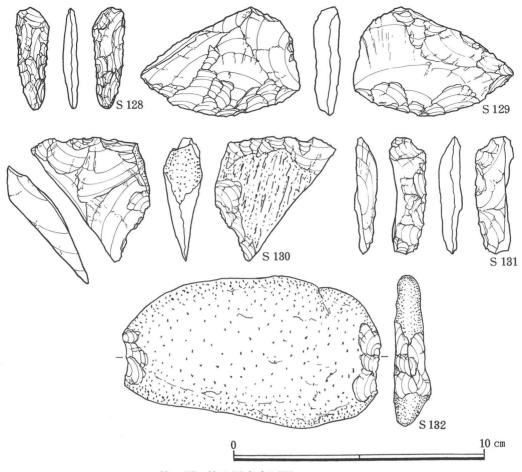
(e) 小穴(SP)7出土石器

スクレイパーの破損品が1点出土している。S30 やS33と同じ形態をもつスクレイパーの先端部と思われる。石質はサヌカイトである。

(f) 第2層出土石器

石錐 1 点、スクレイパー 1 点、ピエスエスキーユ 2 点、石錘 1 点の計 6 点が出土している。

石 錐



第57図 第2層出土石器

S128 は柳葉形の石錐である。先端部が磨耗し、光沢をもつ。石質はサヌカイトである。

スクレイパー

S129 は平面形態が三角形を呈するスクレイパーである。簡単な調整で刃をつくりだしている。石質はサヌカイトである。

ピエスエスキーユ

2点とも剪断面をもつピエスエスキーユである。石質はサヌカイトである。

石 錘

偏平な亜角礫の長軸上の両端に調整を加えて石錘にしている。石質は礫質砂岩である。

3. 植物遺存体

土器集積(SW) 1 から材木片 2 片、種子 1 個が出土した。材木片は針葉樹と広葉樹で、種子は常緑のカシ類 $(cyclo \cdot balanopsis)$ の子葉である。

4. 動物遺存体

奈良国立文化財研究所 松 井 章

出土種名表

魚 類 Class Pisces

タイ科の一種 Sparidae gen et sp. indet.

哺乳類 Class Mammalia

ニホンジカ cervus nipoon TEMMINCK

イノシシ Sns scrofa leucomystax LINNAEUS

筆者の手元に搬入された動物遺存体は、出土時の小さな単位毎に取り上げられたもので、その単位から、おおよその出土状態が推定可能である。それらの動物遺存体は縄文晩期の土層から、多くの土器破片と共に出土したものである。骨には、この様な遺跡ではありがちな青いビビアナイトの析出は見られない。しかし、大部分が土中で腐食して、原形を保って取り上げられたものは皆無に近い。その中でも、イノシシやニホンジカの臼歯、切歯のエナメル部、ニホンジカの鹿角は腐食に強く、かなりの点数が本来この遺構に埋没していたことを示す。

同定できた動物種では、ニホンジカが圧倒的に多く、イノシシがそれに続く。その他ではわずかにタイ類の歯骨、あるいは前上顎骨の破片が1点同定できただけである。以下、その概要と考察を述べる。

それぞれの種の部位別の出土量を見ると、ニホンジカでは、歯、特に臼歯の破片が多いことに気が付く。しかも、発掘時に取り上げられた単位を見ると、数個体、あるいは顎骨の破片を伴う例が多く、本来は上下の顎骨に植わった状態で埋没していたものが多かったと考えられる。それに続いて鹿角の破片も多い。歯のエナメル質も鹿角も、腐食に対して強く、残りやすい部位であることは事実であるが、指骨、手根骨、足根骨なども同様に残りやすい部位である。それにもかかわらずそれらは残っていない。やはり、元来からこの土坑にはニホンジカの頭部が多く存在した可能性を示す。イノシシもまた臼歯のエナメル質が多いことが挙げられる。しかしその数はニホンジカに比べると非常に少ない。概して、東日本ではニホンジカがイノシシに比べて多く、西日本では逆になる傾向があるが、この遺構からの出土状態が、なんらかの人間の文化的な選択を示しているとすれば興味深い。

従来、畿内の縄文、弥生時代の遺跡出土の動物遺存体は、貝塚、溝、井戸の埋土からの例が大部分で、今回のように、土坑から多量の土器と共に出土したものは少ない。同定できなかった小破片にも火熱を受けたことが明瞭な例が少なくなく、他の遺跡でのこれまでの例とは異なる。今後、他の出土遺物との平面的な分布と考え併せ、考察を行いたい。

第3表 動物遺存体一覧表

出土位置	種 類	部位:左右:概要	備考
土器集積(SW)1	ニホンジカ	肩甲骨 右 遠位端	
上里傳達(cw) 1	ニホンジカ	下顎骨第一3後臼歯 左	
土器集積(SW)1	イノシシ	頸骨 右 体部破片	<u> </u>
土器集積(SW) 1	ニホンジカ	上顎骨 左 臼歯破片	
土器集積(SW) 1	イノシシ	下顎 臼歯破片	
土器集積(SW) 1	ニホンジカ	上顎 臼歯破片 右 × 2	
土器集積(SW) 1	イノシシ	上顎第2後臼歯破片	摩耗激しい
土器集積(SW)1	ニホンジカ	上顎臼歯破片 × 3	
土器集積(SW) 1	ニホンジカ	肩甲骨 右 破片	
I BU Att City Cours		中手 又は 中足骨	
土器集積(SW) 1	ニホンジカ	近位端破片	
I BE AN IN COUNTY	イノシシ	切歯破片	
土器集積(SW)1	ニホンジカ	中手 又は 中足骨 遠位端破片	
土器集積(SW) 1	イノシシ	上顎骨 右 破片	
土器集積(SW)1	ニホンジカ	上顎臼歯破片	
土器集積(SW)1	ニホンジカ	距骨 右	
土器集積(SW)1	ニホンジカ	肩甲骨 右	
土器集積(SW)1	ニホンジカ	上顎臼歯破片	
土器集積(SW)1	ニホンジカ	鹿角片	
土器集積(SW)1	イノシシ	切歯破片	
土器集積(SW)1	ニホンジカ	肩甲骨 右 切傷有り	
土器集積(SW)1	イノシシ	下顎骨 左	
	ニホンジカ	上顎骨 右 第2、3後臼歯	第3後臼歯 未
土器集積(SW)1	ニホンジカ	尺骨 右	
土器集積(SW) 1	ニホンジカ	中手、中足骨破片	
Luc X (A (Oil) I	イノシシ	切歯 破片 × 2本分	
上器集積(SW)1	イノシシ	下 第2後臼歯	磨耗無し
	ニホンジカ	上 臼歯破片 左	
土器集積(SW)1	イノシシ	第3後臼歯 左	
土器集積(SW) 1	ニホンジカ	下顎臼歯破片	
上器集積(SW)1	ニホンジカ	鹿角片 臼歯破片多数	
and one partition of the	イノシシ	犬歯 切歯破片 臼歯破片多数	o ⁷¹
土器集積(SW)1	ニホンジカ	鹿角片	
土器集積(SW)1	ニホンジカ	臼歯破片	
土器集積(SW)1	ニホンジカ	臼歯破片 鹿角破片	
土器集積(SW)1	ニホンジカ	鹿角破片	
	ニホンジカ	下顎骨 左 破片	
土器集積(SW)1	ニホンジカ	臼歯破片	
土器集積(SW)1	ニホンジカ	上顎臼歯破片 左 第3後臼歯	
土器集積(SW) 1	ニホンジカ	上後臼歯 左 鹿角片	
uu//\[1,01/1]	ニホンジカ	上顎骨破片 右 第3前臼 歯-第3後臼歯	M3摩耗なし

土器集積(SW) 1	Ш	土位置	種 類	部位:左右:概要	備考
土器集積(SW)1	-) NH ''3
土器集積(SW)1 ニホンジカ 下角 角座部 右 土器集積(SW)1 ニホンジカ 下角 角座部 右 上器集積(SW)1 ニホンジカ 距骨 右 上部業積(SW)1 ニホンジカ 上野骨 右 短野 2 minl曲 上野 3 後日歯 第 2 minl曲 上野 3 後日歯 第 2 minl曲 上野 3 後日歯 所 第 2 minl曲 上野 3 後日歯 所 其 minle 上野 4 minle 中手 6 minle 中上 7 minle minle 中上 7 minle minle minle 中上 7 minle m					摩耗少ない
土器集積(SW)1 ニホンジカ 距骨 左 第 2 前日歯 一 第 4 前日歯 上野 8 6 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	土器	景積(SW) 1			77-143
上器集積(SW)1	土器	异稹(SW) 1	ニホンジカ	下角 角座部 右	
土器集積(SW)1 二ホンジカ 歯 第2 向日歯 一全で破片 土器集積(SW)1 イノシシ 廃角破片 土器集積(SW)1 ニホンジカ 廃角破片 土器集積(SW)1 ニホンジカ 廃角破片 土器集積(SW)1 ニホンジカ 下顎骨 左 破片, 歯無し 甲手骨 左 竣位端 土器集積(SW)1 ニホンジカ 下顎臼歯 破片 ※ 2 共に左 同日歯 破片 ※ 2 共に左 同日歯 破片 ※ 2 共に左 同日歯 破け ※ 3 後日歯 破片 土器集積(SW)1 ニホンジカ 日歯 破片 ※ 2 共に左 同日歯 破け ※ 3 後日歯 破け ※ 2 共に左 同日歯 破け ※ 4 ボンジカ 日歯 破け ※ 5 高 ※ 5 高 ※ 5 高 ※ 5 高 ※ 5 高 ※ 5 高 ※ 5 高 ※ 6 日歯 破片 ※ 5 高 ※ 6 日歯 破片 ※ 7 新旬日歯 破け ※ 5 高 ※ 7 新旬日歯 破け ※ 2 - 3 後日歯 なけ ※ 5 高 ※ 7 新旬日歯 破け ※ 5 高 ※ 7 新旬日歯 右 を 5 高 ※ 7 新旬日歯 を 7 下ឡ間日 を 7 新旬日歯 を 7 下ឡ間日 を 7 下ឡ間 を 7 下ឡ間 を 7 下ឡ間 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を	土器	异稹(SW) 1	ニホンジカ	距骨 右	
大器集積(SW)1	土器	集積(SW) 1		第2後臼歯 上顎骨 左 第2前臼歯-	萌出中
土器集積(SW)1 イノシシ 下顎骨 左 破片 歯無し 土器集積(SW)1 ニホンジカ 下顎切歯 在 ×2 無に左 前日間 破片 第1-3後 距骨骨 左 遠位端 土器集積(SW)1 イノシシ 第3後日歯 破片 ※2 共に左 前日歯 破片 ※2 共に左 前日歯 破片 ※2 共に左 前日歯 破片 ※2 共に左 前日歯 破片 ※3 後日歯 破片 ※2 共に左 前日歯 破片 ※3 後日歯 破片 ※4 層 ニホンジカ 鹿角破片 土器集積(SW)1 ニホンジカ 庭角破片 摩耗 土器集積(SW)1 ニホンジカ 庭角破片 摩耗 土器集積(SW)1 イノシシ 下顎骨 左 第3後日歯 破片 上器集積(SW)1 土器集積(SW)1 ニホンジカ 上顎日歯破片 第1・第3後日歯 破片 第1・第3後日歯 破片 第1・第3後日歯 破片 第2・3後 日歯 破片 第2・3後 日歯 破片 第2・3後 日歯 破片 第2・3後 日歯 破片 第5 層 ニホンジカ 日歯 破片 第2・3後 日歯 破片 第6日歯 右			ニホンジカ		
土器集積(SW) 1 ニホンジカ 鹿角破片 ※2 土器集積(SW) 1 イノシシ 第3後日歯破片 ※2 共に左 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 上顎臼歯破片 ※2 共に左 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 日歯破片 摩耗 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 臼歯破片 摩耗 土器集積(SW) 1 イノシシ 下新骨 左 第3後臼歯破片 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 巨歯破け 単株 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 上頸白歯破片 ニホンジカ 上頸骨破片 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 上頸骨破片 ニホンジカ 上頸骨破片 ニホンジカ 上頸骨破片 第2-3後 第 第 5 層 ニホンジカ 下顎臼歯破片 第2-3後 第 第 第 1 第		w	タイ類	歯骨破片	
土器集積(SW) 1 ニホンジカ 下顎切歯 左 × 2 min Ed aw ch x 3	土器	集積(SW) 1	イノシシ	下顎骨 左 破片 歯無し	
土器集積(SW) 1 前日歯破片 第1-3後 度骨 破片 遠位端 土器集積(SW) 1 イノシシ 第3後日歯 × 2 共に左 前臼歯 破片 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 日歯破片 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 日歯破片 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 超 破片 上器集積(SW) 1 ニホンジカ 脱角破片 上器集積(SW) 1 ニホンジカ 日歯 破片 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 日歯 破け 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 上顎日歯破け 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 上顎日歯破け 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 上顎日歯破け 第 5 層 ニホンジカ 下顎白歯破け 第2-3後 第 5 層 ニホンジカ 日歯破け 第2-3後 第 6 ニホンジカ 日歯破け 第4 前日歯・第4前日歯・第4前日歯・第6日歯破けに 第 7 層 ニホンジカ 日歯破け 未萌出 第 4 層 ニホンジカ 下顎白歯破け 未萌出 第 4 層 ニホンジカ 下顎白歯破け 未萌出 第 4 層 ニホンジカ 下顎白歯破け 未前出 第 4 層 ニホンジカ 下顎第2-3後日歯 右 第1-3後日歯破け 第 4 層 ニホンジカ 上顎田歯 第1-3後日歯破け 上顎日歯 第1-3後日歯破け 第 6 層 にホンジカ 廃角破け 上顎田歯 第4前日歯・単足骨 遠位端 第 6 層 にホンジカ 廃角破け 上顎日歯 第1-3後日歯 中足骨 遠位端	土器	集積(SW) 1	ニホンジカ	鹿角破片	
土器集積(SW)1 ニホンジカ 上顎臼歯破片 土器集積(SW)1 ニホンジカ 臼歯破片 土器集積(SW)1 ニホンジカ 庭角破片 土器集積(SW)1 イノシシ 下顎骨 左 第3後臼歯破片 土器集積(SW)1 イノシシ 第1、第3後臼歯破片 土器集積(SW)1 ニホンジカ 臼歯 破片 土器集積(SW)1 ニホンジカ 上顎臼歯破片 土器集積(SW)1 ニホンジカ 上顎骨破片 第 5 層 ニホンジカ 下顎白歯破片 第 5 層 ニホンジカ 上顎骨破片 第 5 層 ニホンジカ 白歯破片 第 5 層 ニホンジカ 白歯破片 第 6 ニホンジカ 白歯破片 第 7 層 ニホンジカ 日歯破片 第 8 月 日歯破片 未明出 第 9 日歯破片 未明出 中手・中足骨破片 虚位端 第 4 層 ニホンジカ 下顎第2-3後臼歯 右 第 4 層 ニホンジカ 下頭第2-3後臼歯 右 第 4 層 ニホンジカ 上顎 向 上顎白歯 総て破片 第 4 層 ニホンジカ 上頭 向 上頭 向 総て破片 第 4 層 ニホンジカ 上頭 向 上頭 向	土器	集積(SW)1	ニホンジカ	前臼歯破片 第1-3後 臼歯 距骨 破片	
土器集積(SW) 1 ニホンジカ 臼歯破片 摩耗 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 鹿角破片 摩耗 土器集積(SW) 1 イノシシ 下顎骨 左 第 3 後臼歯破片 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 臼歯 破片 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 臼歯 破片 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 上顎臼歯破片 第 5 層 ニホンジカ 下顎白歯破片 第 5 層 ニホンジカ 上顎骨破片 第 5 層 ニホンジカ 臼歯破片 第 5 層 ニホンジカ 臼歯破片 第 5 層 ニホンジカ 臼歯破片 第 6 ニホンジカ 白歯破片 第 7 層 ニホンジカ 日歯破片 第 8 日歯 空ホンジカ 日歯破片 第 9 日歯 空ホンジカ 日歯破片 第 10 上頭田歯 第 4 前日歯 一第 第 10 ニホンジカ 上頭田歯 中手 第 10 上面 空間 空間 総て破片 日歯 位不明 ニホンジカ 上面 部 日歯 空間 上面 部 総で破片	土器	集積(SW)1	イノシシ	第3後臼歯 ×2 共に左 前臼歯 破片	
土器集積(SW) 1 ニホンジカ 庭角破片 摩耗 土器集積(SW) 1 イノシシ 下顎骨 左 第 3 後臼歯破 片	土器	集積(SW) 1	ニホンジカ	上顎臼歯破片	
土器集積(SW) 1 二ホンジカ 鹿角破片 摩耗 土器集積(SW) 1 イノシシ 下顎骨 左 第 3 後 日歯破片 土器集積(SW) 1 二ホンジカ 日歯 破片 土器集積(SW) 1 二ホンジカ 上顎日歯破片 土器集積(SW) 1 二ホンジカ 上顎骨破片 第 5 層 二ホンジカ 下顎白歯破片 第 5 層 二ホンジカ 巨歯破片 第 5 層 二ホンジカ 白歯破片 第 5 層 二ホンジカ 白歯破片 第 5 層 二ホンジカ 白歯破片 第 6 三ホンジカ 日歯破片 第 7 層 二ホンジカ 日歯破片 第 8 日 二ホンジカ 日歯破片 未明出 第 9 二ホンジカ 一十手・中足骨破片 遠位端 第 9 二ホンジカ 上顎 第 2 - 3 後 日歯 右 第 9 二ホンジカ 上顎 第 2 - 3 後 日歯 右 第 9 二ホンジカ 上頭 第 1 - 3 後 日歯 破片 第 9 二ホンジカ 鹿角破片 第 9 二ホンジカ 上頭 第 1 - 3 後 日歯 は 第 9 二ホンジカ 上面 第 1 - 3 後 日歯 中 第 9 二ホンジカ 上面 第 2 - 3 後 日歯 中 <td>土器</td> <td>集積(SW) 1</td> <td>ニホンジカ</td> <td>臼歯破片</td> <td></td>	土器	集積(SW) 1	ニホンジカ	臼歯破片	
土器集積(SW) 1 イノシシ 下顎骨 左 第 3 後日歯破 片 土器集積(SW) 1 イノシシ 第 1、第 3 後日歯 破片 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 上顎日歯破片 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 上顎骨破片 第 5 層 ニホンジカ 下顎臼歯破片 第 5 層 ニホンジカ 上顎骨破片 第 5 層 ニホンジカ 上顎骨破片 第 5 層 ニホンジカ 上顎骨破片 第 5 層 ニホンジカ 日歯破片 第 5 層 ニホンジカ 日歯破片 第 6 ニホンジカ 日歯破片 第 7 層 ニホンジカ 日歯破片 第 4 層 ニホンジカ 中手・中足骨破片 遠位端 第 4 層 ニホンジカ 下顎第 2 - 3 後日歯 右 第 4 層 ニホンジカ 上顎 第 1 - 3 後日歯破片 第 4 層 ニホンジカ 上顎 第 1 - 3 後日歯破片 開海層位不明 ニホンジカ 鹿角破片 側溝層位不明 ニホンジカ 上顎日歯 第 4 前日歯 / 第 4 前日歯 / 第 4 前日歯 / 第 4 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	土器	集積(SW) 1	ニホンジカ	臼歯破片	
土器集積(SW) 1 イノシシ 第1、第3後日歯 破片 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 日歯 破片 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 上顎日歯破片 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 上顎骨破片 第 5 層 ニホンジカ 下顎臼歯破片 第 5 層 ニホンジカ 上顎骨破片 第 5 層 ニホンジカ 日歯破片 第 5 層 ニホンジカ 日歯破片 第 6 ニホンジカ 日歯破片 第 7 層 ニホンジカ 日歯破片 第 4 層 ニホンジカ 日歯破片 第 4 層 ニホンジカ 中手・中足骨破片 遠位端 第 4 層 ニホンジカ 下顎第2-3後日歯 右 第 4 層 ニホンジカ 上顎 第1-3後日歯破片 第 4 層 ニホンジカ 上顎 第1-3後日歯破片 開溝層位不明 ニホンジカ 鹿角破片 側溝層位不明 ニホンジカ 上顎日歯 第4前日歯 「第4前日歯 「第26日歯 日本 側溝層位不明 ニホンジカ 上顎日歯 第4前日歯 域片	土器	集積(SW) 1	ニホンジカ	鹿角破片	摩耗
土器集積(SW) 1 ニホンジカ 日歯 破片 土器集積(SW) 1 ニホンジカ 上顎骨破片 第 5 層 ニホンジカ 下顎臼歯破片 第 5 層 ニホンジカ 上顎骨破片 第 5 層 ニホンジカ 上顎骨破片 第 5 層 ニホンジカ 上顎骨破片 第 5 層 ニホンジカ 日歯破片 第 5 層 ニホンジカ 日歯破片 第 6 ニホンジカ 日歯破片 第 7 層 ニホンジカ 日歯破片 第 4 層 ニホンジカ 中手・中足骨破片 遠位端 第 4 層 ニホンジカ 上顎第2 - 3後日歯 右 第 4 層 ニホンジカ 上顎 第1 - 3後日歯破片 第 4 層 ニホンジカ 上顎 第1 - 3後日歯破片 開溝層位不明 ニホンジカ 鹿角破片 側溝層位不明 ニホンジカ 上顎日歯 第4前日歯 第4前日歯 第4 前日 遠位端 銀で破片 上頭日歯 中足骨 遠位端	土器	集積(SW) 1	イノシシ	下顎骨 左 第3後臼歯破 片有り	
土器集積(SW) 1 ニホンジカ 上顎臼歯破片 第 5 層 ニホンジカ 下顎臼歯破片 第 5 層 ニホンジカ 下顎臼歯破片 第 2 - 3後 第 5 層 ニホンジカ 上顎骨破片 第 5 層 ニホンジカ 日歯破片 第 5 層 ニホンジカ 日歯破片 第 6 ニホンジカ 日歯破片 世の臼歯破片 第 4 層 ニホンジカ 日歯破片 未萌出 第 4 層 ニホンジカ 下頭第2 - 3後臼歯 右 第 4 層 ニホンジカ 下頭第2 - 3後臼歯 右 第 4 層 ニホンジカ 上顎 第1 - 3後臼歯破片 第 4 層 ニホンジカ 上顎 第1 - 3後臼歯破片 開溝層位不明 ニホンジカ 上顎臼歯 中足骨 遠位端 銀行 ニホンジカ 上頭白歯 中足骨 遠位端 銀帯層位不明 ニホンジカ 上頭白歯 中足骨 遠位端 総て破片	土器	集積(SW) 1	イノシシ	第1、第3後臼歯 破片	
土器集積(SW)1 ニホンジカ 上顎骨破片 第 5 層 ニホンジカ 下顎臼歯破片 第2-3後 第 5 層 ニホンジカ 上顎骨破片 第2-3後 第 5 層 ニホンジカ 上顎骨破片 ニホンジカ 臼歯破片 第 5 層 ニホンジカ 臼歯破片 10 第 4 層 ニホンジカ 日歯破片 10 第 4 層 ニホンジカ 下顎第2-3後日歯 右 10 第 4 層 ニホンジカ 下顎第2-3後日歯 右 10 第 4 層 ニホンジカ 上顎 第1-3後日歯破片 10 開溝層位不明 ニホンジカ 鹿角破片 10 側溝層位不明 ニホンジカ 投資協 第4前日歯 第4前日歯 第4前日歯 第46日歯 中足骨 遠位端	土器	集積(SW) 1	ニホンジカ	臼歯 破片	
第 5 層 ニホンジカ 下顎臼歯破片 第 2 - 3後 第 5 層 ニホンジカ 上顎骨破片 第 5 層 ニホンジカ 臼歯破片 第 5 層 ニホンジカ 臼歯破片 第 5 層 ニホンジカ 臼歯破片 第 4 層 ニホンジカ 下顎臼歯、第 4 前臼歯 - 第 (中有り) 第 4 層 ニホンジカ 白歯破片 第 4 層 ニホンジカ 中手・中足骨破片 遠位端 第 4 層 ニホンジカ 下顎第 2 - 3 後臼歯 右 第 4 層 ニホンジカ 上顎 第 1 - 3 後臼歯破片 側溝層位不明 ニホンジカ 鹿角破片 側溝層位不明 ニホンジカ 上顎臼歯 第 4 前臼歯 一第 遠位端 銀子砂片 塩砂片 塩砂片	土器	集積(SW) 1	ニホンジカ	上顎臼歯破片	
第 5 層 ニホンジカ 下顎臼歯破片 第2-3後 日歯	土器	集積(SW)1	ニホンジカ	上顎骨破片	
第 5 層 ニホンジカ 上顎骨破片 第 5 層 ニホンジカ 日歯破片 第 5 層 ニホンジカ 日歯破片 第 5 層 ニホンジカ 日歯破片 第 4 層 ニホンジカ 日歯破片 第 4 層 ニホンジカ 日歯破片 東 4 層 ニホンジカ 日歯破片 東 4 層 ニホンジカ 中手・中足骨破片 遠位端 第 4 層 ニホンジカ 阪鉄 2-3後日歯 右 第 4 層 ニホンジカ 大顎第2-3後日歯破片 日 ニホンジカ 大野 第1-3後日歯破片 側溝層位不明 ニホンジカ 鹿角破片 側溝層位不明 ニホンジカ 投資協 中足骨 遠位端 総て破片	第	5 層	ニホンジカ	下顎臼歯破片	
第 5 層 ニホンジカ 日歯破片 第 5 層 ニホンジカ 日歯破片 第 4 層 ニホンジカ 下顎日歯 第 4 前日歯 - 第 (世の日歯破片有り) 第 4 層 ニホンジカ 日歯破片 第 4 層 ニホンジカ 中手・中足骨破片 遠位端 第 4 層 ニホンジカ 下顎第 2 - 3 後日歯 右 破片 第 4 層 ニホンジカ 上顎 第 1 - 3 後日歯破片 側溝層位不明 ニホンジカ 鹿角破片 側溝層位不明 ニホンジカ 名後日歯 中足骨 遠位端 総て破片	第	5 層	ニホンジカ	下顎臼歯破片 第2-3後 臼歯 右	
第 5 層 ニホンジカ 臼歯破片 第 4 層 ニホンジカ 下顎臼歯 第 4 前臼歯一第 片有り 第 4 層 ニホンジカ 臼歯破片 第 4 層 ニホンジカ 中手・中足骨破片 遠位端 第 4 層 ニホンジカ 板片 東京 上顎 第 1 - 3 後臼歯 右 側溝層位不明 ニホンジカ 鹿角破片 側溝層位不明 ニホンジカ 名後臼歯 中足骨 遠位端 銀子 上顎臼歯 第 4 前臼歯 第 総て破片	第	5 層	ニホンジカ	上顎骨破片	
第 4 層 ニホンジカ 下顎臼歯 第 4 前臼歯一第 片有り 第 4 層 ニホンジカ 臼歯破片 未萌出 第 4 層 ニホンジカ 中手・中足骨破片 遠位端 第 4 層 ニホンジカ 破片 第 4 層 ニホンジカ 破片 第 4 層 ニホンジカ 大顎第2-3後臼歯 右 破片 第 4 層 ニホンジカ 上顎 第1-3後臼歯破片 右 側溝層位不明 ニホンジカ 超角破片 側溝層位不明 ニホンジカ 名後臼歯 中足骨 遠位端 総て破片 依好 破片	第	5 層	ニホンジカ	臼歯破片	
第 4 層 ニホンジカ 臼歯破片 未明出 第 4 層 ニホンジカ 中手・中足骨破片 遠位端 第 4 層 ニホンジカ 下顎第2-3後臼歯 右破片 第 4 層 ニホンジカ 下顎第2-3後臼歯 右破片 第 4 層 ニホンジカ 上顎 第1-3後臼歯破片 側溝層位不明 ニホンジカ 鹿角破片 側溝層位不明 ニホンジカ 名後臼歯 中足骨 遠位端 総て破片	第	5 層	ニホンジカ	臼歯破片	
第 4 層 ニホンジカ 中手・中足骨破片 遠位端 第 4 層 ニホンジカ 下顎第2-3後臼歯 右破片 第 4 層 ニホンジカ 上顎 第1-3後臼歯破片 側溝層位不明 ニホンジカ 鹿角破片 側溝層位不明 ニホンジカ 2後臼歯 中足骨 遠位端 総て破片	第	4 層	ニホンジカ	下顎臼歯 第4前臼歯-第3後臼歯破片	
第 4 層 ニホンジカ 下顎第2-3後臼歯 右 破片 第 4 層 ニホンジカ 上顎 第1-3後臼歯破片 右 側溝層位不明 ニホンジカ 鹿角破片 側溝層位不明 ニホンジカ 上顎臼歯 第4前臼歯-第 遠位端 総て破片右 破片	第	4 層	ニホンジカ	臼歯破片	未萌出
第 4 層 ニホンジカ 上顎 第1-3後臼歯破片 側溝層位不明 ニホンジカ 鹿角破片 側溝層位不明 ニホンジカ 3後臼歯 第4前臼歯 第 総て破片	第	4 層	ニホンジカ	中手•中足骨破片 遠位端	
右	第	4 層	ニホンジカ		
側溝層位不明 ニホンジカ 上顎臼歯 第4前臼歯 第 3後臼歯 中足骨 遠位端 総て破片 右 破片	第	4 層	ニホンジカ	上顎 第1-3後臼歯破片 右	
側薄層位不明 ニホンジカ 3後臼歯 中足骨 遠位端 総て破片 右 破片	側溝	層位不明	ニホンジカ	鹿角破片	
側溝層位不明 ニホンジカ 下顎骨破片	側溝	層位不明	ニホンジカ	3 後臼歯 中足骨 遠位端	総て破片
	側溝	層位不明	ニホンジカ	下顎骨破片	

第4章 まとめ

今回の調査区では弥生時代の遺物包含層は既に破壊されていたが、その下層に存在する縄文時代の遺物包含層を検出することができた。恩智遺跡は縄文時代から始まる遺跡であることは今里幾次氏によって戦前から指摘されており(註1)、恩智川調査区でも二次堆積層出土の縄文時代前期から晩期の土器の報告がされている(註2)が、恩智遺跡で縄文時代の遺物包含層を面的に調査できたのは今回の調査が初めてであった。本調査地の第4層から第6層からは主に縄文時代晩期中葉の土器が出土したが、恩智川調査区で出土した縄文時代前期の土器はみられないこと、摩滅した後期の土器が晩期の包含層にふくまれていること、層位の検討等から第6層の下層にも間層をはさんで遺物包含層が存在していると考えられることから、この調査地付近での遺跡の開始は今回の調査で検出した縄文晩期をはるかにさかのぼるものと思われる。

本調査地の第4層から第6層は縄文土器破片を多量に含んでいたが、第6層には特に土器廃棄に伴う多量の土器破片が集中していた(土器集積1)。この集積には土器の他に多量の獣骨が含まれていたが、その出土状況から食べかすの骨を土器とともに廃棄したものであろうと思われる。また、祭祀的性格をもつミニチュア土器・土製品・石棒が含まれていたことより、廃棄に伴うなんらかの祭祀が行なわれたと考えられる。このような土器捨て場は普通集落の縁辺にみられること(註3)や、調査地の北方に土器集積が続くことから、集落の中心は「天王の杜」方向に存在したものと思われる。

また、本調査地では縄文時代晩期前半の滋賀里 $I \cdot II$ 式の土器はほとんど出土しておらず、恩智川調査区でも同様にこの時期の土器は1 片も出土していないことから、滋賀里 $I \cdot II$ 式は恩智遺跡では主体的に存在していないものと考えられる。なお、恩智遺跡の南方 1.5 kmに位置する柏原市大県遺跡では滋賀里 $I \cdot II$ 式の土器が多量に出土しており、恩智遺跡で多量に出土した滋賀里II式の土器はほとんどみられない。また、恩智遺跡と大県遺跡は距離もあまり離れていないことから、縄文時代においてはこの両遺跡は補完関係にあったものと思われよう。

第6層・第5層と同様に縄文時代晩期滋賀里Ⅲ b式の土器を多量に含む第4層か滋賀里IV式・船橋式・長原式の土器も少量含まれており、ほそぼそではあるが長原式まで遺跡が営まれていることがうかがわれる。また、第4層の上層には長原式の時期に起こった山の土砂崩れによる粗砂の堆積がみられた。なお、土砂崩れののち本調査地では大部分が破壊されていたが、本調査地周辺では長原式以降も遺跡は営まれており、第2層の出土土器や周囲の調査地の状況から弥生時代中期に恩智遺跡は大発展するものと考えられる。

註

- 1. 今里幾次『河内恩智の縄文土器』『日本考古学』 1-3 (1948)
- 瓜生堂遺跡調査会『恩智遺跡 I II 』 (1980)
- 3. 長野県阿久遺跡、山梨県釈迦堂遺跡などの例がある。

第5章 土器胎土の砂礫観察

八尾市立刑部小学校 奥 田 尚

1. はじめに

土器の表面に見られる砂礫を裸眼と倍率30倍の実体鏡とで観察した。観察した土器は破片であるため、同一個体を2試料以上の観察試料としている可能性もある。観察事項は、砂礫種とその粒形・粒径・量・色である。また、石英と角閃石については、粒形から他形と自形の区分をした。粒形は角、亜角、亜円、円の4段階で表した。雲母については、板状と粒状に区分した。火山ガラスは貝殻状、束状、筒状、フジツボ状に区分した。粒径はmm単位で表した。量は、ごくごく僅か、ごく僅か、僅か、中、多い、非常に多いの6段階で表した。

2. 砂礫について

土器の表面に見られる砂礫種は、花崗岩、閃緑岩、流紋岩、砂岩、泥岩、チャート、片岩、 火山ガラス、石英、長石、黒雲母、角閃石である。

花崗岩:色は灰白色である。粒形は角、粒径が0.5 mm~8 mmである。造岩鉱物のかみ合わせは、石英・長石、石英・長石・黒雲母である。

関緑岩:色は灰色である。粒形は角、粒径が0.5 mm~1 mmである。造岩鉱物のかみ合わせは、 石英・角閃石である。

流紋岩:色は白色である。粒形は角、亜角、亜円で、粒径が1 mm~8 mmである。石英の斑晶が認められるものがある。石基は玻璃質である。

砂 岩:色は灰色、暗灰色である。粒形は亜角、亜円で、粒径が0.5 mm~1.5 mmである。構成砂粒は細粒である。

泥 岩: 色は灰白色、暗灰色である。粒形は亜角、亜円で、粒径が0.5 mm~1.5 mmである。

チャート: 色は灰色、黒色、茶褐色である。粒形は亜角、亜円で、粒径が 0.5 mm~ 7 mmである。

片 岩:色は灰色である。粒形は亜円、粒径が 0.5 mm~ 1 mmである。石英質片岩、泥質片岩 である。

火山ガラス:色は無色、黒色で、透明である。粒形は筒状、貝殻状、フジツボ状で、粒径が $0.2\,\mathrm{mm}\sim1\,\mathrm{mm}$ である。

石 英:色は無色、赤褐色で、透明である。粒形は角、粒径が 0.2 mm~3 mmである。複六角 錐をなす場合、三角形の結晶面が見られる場合がある。

長 石:色は無色、白色で、透明である。粒形は角、粒径が0.2 mm~5 mmである。

黒雲母:色は黒色、金色で、金属光沢がある。粒形は板状、粒径が0.2mm~3mmである。 角閃石:色は黒色である。粒形は角で、粒状、柱状である。粒径は0.2 mm~5 mmである。柱 状を示す角閃石には、結晶面で囲まれている場合、一部に結晶面が認められるもの がある。

3. 類型区分

土器の表面にみられる砂礫種構成をもとにⅠ類型~伽類型に区分した。表面に見られる砂 礫の少ないもの、油煙等が付着して観察不良のものを区分不能とした。

流紋岩質岩起源の砂礫を主とし、砕屑岩が含まれ、自形の角閃石が認められる

	· I	類型
自形の石英が認められ、花崗岩類起源の砂礫からなる —————	П	類型
流紋岩質岩起源の砂礫を主とする —————————	$II \epsilon$	a 類型
流紋岩が認められなく、自形の石英がごくごく僅かに含まれる ――――	ΙΙt	類型
流紋岩が認められなく、自形の石英がごく僅か~僅かである ————	Πc	類型
流紋岩が認められなく、自形の石英が中である ―――――	${\rm I\hspace{1em}I}$ d	1類型
花崗岩類起源の砂礫を主とし、砕屑岩が含まれ、自形の石英が認められる ―	Ш	類型
花崗岩類起源の砂礫を主とする ————————————	IV	類型
砕屑岩が認められない —————————————————————		類型
砕屑岩が認められる —————————————————————	IV b	類型
花崗岩類、斑糲岩類起源の砂礫からなり、角閃石が比較的多い ————	V	類型
角閃石に結晶面が認められない —————————————————————	V a	類型
角閃石に結晶面が認められる —————————————————	V b	類型
花崗岩類、斑糲岩類起源の砂礫を主とし、自形の石英が僅かに認められる ―	VI	類型
花崗岩類、斑糲岩類起源の砂礫を主とし、自形の石英、結晶面のある角閃石が	認めら	れる
	VII	類型
自形の石英が比較的少ない ————————————————————————————————————	VII a	類型
自形の石英が比較的多い —————————————————————	VII b	類型
I 類型〜WI類型のいずれにも属さないもの	VIII	類型
表面に油煙等が付着して観察が不良のもの、砂礫が少ないもの ———	区分	不能
類型の特徴		
類型の特徴について述べる。		

4.

Ⅰ類型:構成砂礫種は、鉱物片として、花崗岩、流紋岩、砂岩、泥岩、チャート、片岩、火 山ガラス、鉱物片として、石英、長石、雲母、角閃石である。花崗岩は粒形が角で、量 がごく僅かである。流紋岩は粒形が角、亜角、円で、量がごくごく僅かである。砂岩は 粒形が亜角、亜円で、量がごくごく僅か~僅かである。チャートは粒形が亜角、亜円で、 量がごくごく僅か~僅かである。片岩は粒形が亜角、亜円で、量がごくごく僅かである。 火山ガラスは貝殻状、フジツボ状で、量がごく僅かである。石英は量が中~多いである。 自形の石英が多い場合とごくごく僅か~僅かの場合とがある。長石は僅かである。雲母 は板状で、量がごくごく僅かである。角閃石は量がごくごく僅か~ごく僅かである。自 形の角閃石はごく僅か~非常に多い場合まである。

- ■類型:構成砂礫種は、岩石片として、花崗岩、流紋岩、チャート、火山ガラス、鉱物片として、石英、長石、黒雲母、角閃石である。花崗岩は粒形が角で、量がごくごく僅かである。流紋岩は粒形が角、亜角で、量がごくごく僅か~僅かである。チャートは1試料にのみ認められ、粒形が亜角、量がごくごく僅かである。火山ガラスは貝殻状、筒状で量がごくごく僅か~僅かである。石英は量が僅か~多いであり、自形を示すものはごくごく僅か~多いである。長石は量がごくごく僅か~ごく僅かである。黒雲母は量がごくごく僅か~ばかである。角閃石は量がごくごく僅か~僅かである。
- Ⅲ類型:構成砂礫種は、岩石片として、花崗岩、砂岩、チャート、鉱物片として、石英、長石、黒雲母、角閃石である。花崗岩は粒形が角で、量がごくごく僅かである。砂岩は1 試料にのみ認められ、粒形が亜角、量がごくごく僅かである。チャートは粒形が亜角で、量がごくごく僅かである。石英は量が中で、自形をなすものはごくごく僅か~中である。長石はごく僅か~中である。黒雲母は板状で、ごくごく僅か~ごく僅かであ。角閃石は量がごくごく僅か~ごく僅かの場合と多い場合とがある。
- Ⅳ類型:構成砂礫種は、岩石片として、花崗岩、閃緑岩、流紋岩、チャート、火山ガラス、鉱物片として、石英、長石、黒雲母、角閃石である。花崗岩は粒形が角で、量がごくごく僅か~ごく僅かである。閃緑岩は僅か1試料にのみ認められ、粒形が角で、量がごくごく僅かである。チャートは粒形が角で、亜角で、量がごくごく僅かである。石英は量が僅か~多いである。長石は量がごくごく僅か~多いである。黒雲母は板状で、量がごくごく僅か~ごく僅かである。角閃石は量がごくごく僅か~僅かである。
- V類型:構成砂礫種は、岩石片として、花崗岩、火山ガラス、鉱物片として、石英、長石、 黒雲母、角閃石である。花崗岩は粒形が角で、量がごくごく僅かの場合が多く、僅かの 場合もある。火山ガラスは2試料にのみ認められ、粒形が貝殻状、量がごくごく僅かで ある。石英と長石は量がごくごく僅か~僅かである。稀に中の場合もある。黒雲母は板 状で、量がごくごく僅か~僅かである。角閃石は量が中~非常に多いである。Vb類型 に属する試料中の角閃石には結晶面が認められるものが、ごくごく僅か~僅かに含まれ

る。

Ⅵ類型:構成砂礫種は、岩石片として、花崗岩、鉱物片として、石英、長石、黒雲母、角閃石である。花崗岩は粒形が角で、量がごくごく僅か~中で、自形の石英がごくごく僅か~僅かの場合と多い場合とがある。長石は量がごくごく僅か~僅かである。黒雲母は板状で量がごくごく僅か~僅かである。角閃石は量が中~非常に多いである。

Ⅷ類型:構成砂礫種は、岩石片として、花崗岩、火山ガラス、鉱物片として、石英、長石、黒雲母、角閃石である。花崗岩は粒形が角で、量がごくごく僅かである。火山ガラスは貝殻状、筒状で、量がごくごく僅かである。石英は量がごくごく僅か~中で、自形を示すものがごくごく僅か~多いである。長石は量がごくごく僅か~僅かである。黒雲母は板状で、量がごくごく僅か~中である。角閃石は量が多い~非常に多いであり、結晶面があるものはごくごく僅か~ごく僅かである。

5. 砂礫の採取地

当遺跡を中心にして近距離で、土器胎土中の砂礫種構成と同じ砂礫種構成を示す場所を求める。

恩智遺跡の西方には河内平野が開け、大和川が運んで来た砂礫からなる沖積層が分布する。東方には生駒山地があり、花崗岩類からなる岩石が分布するとされていた。最近、恩智神社付近に、斑糲岩がごく小範囲に分布することが米田敏幸氏により指摘されてきた。遺跡が位置する「天王の杜」南側の砂礫は花崗岩類起源の砂礫を主とし、僅かに角閃石が認められ、砕屑岩が認められない。大和川の砂礫は、花崗岩類起源の砂礫を主とし、砕屑岩がごくごく僅かに認められる場合もある。大和川の砂礫種構成と一致または酷似するものはIV類型に属する土器の砂礫構成である。恩智神社北方の斑糲岩の媒乱砂には花崗岩類起源の砂礫が僅かに加わったものがあり、V類型に属する土器の砂礫種構成に酷似または類似する。 I 類型に属する土器の砂礫種構成は、流紋岩質岩起源の砂礫を主とし、砕屑岩が含まれ、角閃石に自形が認められることから、鳥取市千代川下流域の砂礫を主とし、砕屑岩が含まれ、角閃石に自形が認められることから、鳥取市千代川下流域の砂礫を主とし、砕屑岩が含まれ、角閃石に自むが認められることから、鳥取市千代川下流域の砂礫を主とし、花崗岩類起源の砂礫が含まれることから、花崗岩類の分布地域で、流紋岩質岩が広く分布している地域の砂礫種構成であると推定される。このような条件に合う地域としては、奈良県宇陀郡の大宇陀町や莵田野町付近に広く分布する室生火山岩の分布地近くが推定される。

他の類型については砂礫の採取地を推定しがたいが他地域の砂礫種構成である。

砂礫の採取地付近が土器の製作地であるとすれば、IV類型とV類型に属する土器は恩智付近で製作されたものであり、I類型に属する土器は鳥取市千代川下流域から、II類型に属する土器は大字陀町から莵田野町にかけての付近から運ばれたものであると推定される。

第4表 土器胎土の砂礫種構成表

	型												rd.	T			~~~		~	T	~	T			m	T	ro	T		Π	۹		<u></u>		<u>-</u> -		р
	類		-	٠	-		,	٠	Т	١	-		П		П		=		=		=				П		Ħ		=		=				П		
蘇	+	黙	用		棋		井		単		単		単		単		崩		崩	(単		単		棋		#		#		#		#		棋		単
	Æ	30倍										-																				-	-				
	石	音 裸眼	凝	趰	辉:	#	辉	#	辉	褻	綾	<u>д</u>					辉		凝		疲		徙		趰		雅	+	鈑		辉	-	~~	-	Æ	-	
1	民	8	တ	EE			S					ш		+			S		S		Š		တ	_	S	-	တ		S		S		တ	- 1	S	+	#-W
1	母角		W-**		辉	校						-		-	雅-S	Ŏ	雅-W	極	N-稀	極		极	#-W	+	N-後 N-格	敬	№	敬	M-M		S-稀 N-微	極	M-缎	教	凝!	数	
		裸眼 30倍			S							+		+		板		板	*		ς		¥		¥			極	¥					+	M-稀 S	敬	
	石額	30倍 裸						-				+	W-雅		M-级 M-		M-稀 M		M-稀			-			M-稀 M-	_	W-W	\perp	M-缎		N-稀 N-	-	M-缎 M-	+	M-缎 M-	_	# #
鉱		裸眼 30	[種			-			#-₩	E 35	N-僅		¥	-	N-稀 M-		M-僅 M-		₩				雅-W	-+	L-稀 M-		M-稀 W	+	*	-	N-称 W-	\rightarrow	W-疆 W-		N	+	×
	英一	30倍 裸	-1 ф- 1	B-象	#-₩	₩	∰-₩	趰	M-後 M-	_		₩	[僅	趰		*		邇	L-3	<i>A</i> 4	M-3				#	ے	II	-	L-3	麺	鈑					建	多雜
		裸眼 30	-7 8-7	뜨	N-僅 N-			亜角 E	×		-S		M-僅 [-	-	N-僅 N-	Œ		Э	M-僅 [-	<u>еэ</u>	#	-	N-僅 N-		M-僅 M-	<u> </u>	M-僅 M-	G23	Г- ф -Г	<u>съ</u>)	W-₩-W	<u>m</u>	<u> </u>	<u>ел</u>	*	-	-7 -7 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1
	5ス 石	30倍 精	r.		锤	Щ	×	HH			S-健	Щ	×			回廊	M-稀 M	Щ	×		×		*		×		×				×					+	<u>.</u>
	火山ガラ	裸眼 3			*	7					S				W	ш	×																				
	犻	 			W-裸	亜角	W-W	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	雅-W	亜円	W-₩	田角																									
	工	裸眼																																			
日	1	30倍	1-銀	亜角	W-拇	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	₩-W	田田田	L-雜	亜角	W-稀	田田																									
	4	権服	1-銀	亜角	-	亜角	WW	亜角		亜角		亜角	N-雅	亜角												,											
	业	30	L-琳	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	W-探	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田			-	亜角	W-探	亜角																									
	谣	├			M 褻	亜角			├	亜角																											
	3/10	30		·····	- C-僅	亜角	雅-W	田田田	W-W	亜角	M-雅	亜角																									
	â	4年間	h M 後	1 亜角	k M 銀	1 亜角	VIE.		-tml		- JE-	m	-mi		vira	m	vic.		vtn		ME.		νn				vin.										
並	数品	38	W-W	—	-	1 亜角	二二二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	E	×	年	(多-7	#	1-僅	#	1-雅	田	N-稀	— 年	-	一	L-和	亜角	1-操	1 亜角	vin		W-探	角		1 亜角				_			
	旭	+			1-銀	亜角			M 後	——— ŒT									M	— 年			N-級	無	雅-J	無			M-#	無						-	***************************************
	談品	3																																		_	
	岩田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	+	±mid	角			_		_								X I E	角									x4E	角	×4E	無	x4E	角	x4E	毎	×IE	角	雑 年
	花崗					-	_			T			雅	無		***	孫 W-稀	無							继	角	W-探	44	微 1-稀	鱼	条 L-稀	角	孫 L-稀	無	-7	角	<u> </u>
-	種 花		鉢 L-僅		4		田田	_	温	_	t		L-琳		4		<u> </u>	*	-		温	_	温	_	×		明	_	生 1-微		明 1-稀		明 M-稀		×		<u> </u>
	BK:		账	(中期末)	18		器種不明	(大澗系)	器種不明	(大洞系)		ĸ	#			ĸ		民	器種不明	(大洞系)	器種不明	(大洞系)	器種不明	(大洞系)	器種不明	(大洞系)	器種不明	(大洞系)	爾 (外	中類)	器種不明	(大洞系)	器種不明	(大洞系)	器種不明	(大洞系)	器種不明 (大洞系)
1	國		\vdash	21	00,	021		8/-1	90	781	1	7 47	0 7	140		761		154 154		111	001	180	70,	184	FUC	*07	955			325	-	C/1	-	CAT	906	3	313
	出十位置		土器集積	(SW) 1	土器集積	(SW) 1	土器集積	(SW) 1	土器集積	(SW) 1	١.	の置	土器集積	(SW) 1	土器集積	(SW) 1	上器集積	(SW) 1	上器集積	(SW) 1	上器集積	(SW) 1	土器集積	(SW) 1	土器集積	(SW) 1	相	2	ے ا	7	土器集積	(SW) 1	土器集積	(SW) 1	土器集積	(SW) 1	第 4 層

Г	副				Т		T			T		Т	-	T				T			Т	-	T		T		Г		T		Т	-
	ጟ		II b	E		ПС		II d	D II		Πd		Ħ		Ħ		=	N N		IV a		Na	1	7 1	2	7		N S		N a		Νa
蘇	+	戦	単	#	Ĕ.	棋		棋	単		棋		# #	-	棋 ——	-	#	#	 {	棋	+	 #	Ħ		#		-	 #	1		-	 棋
	日	30倍																														
	中	裸眼																T														
	日		N-後	S-W		S-僅	₩-S	1	S-銀		彩—S	×-×	١	₩-5	1	L-0		M-僅		S-僅	雅-S		W-僅		S-倕		S-後		雅-S		S-銀	
梦	角閃	盟					M-W		M-W	-	¥-¥	//		W-W		1		=		S	3		×		M-懂 S-		Ś		S		+	
	母	+	S-8 疲 帮	S-S	政:	S-S 象 市			+	-	₹ 後 市 ≍	+		+		1-銀	極	蛐		雑君	逐	図	鞖	政	 	南	极	政	黎	故	₩-₩	TEX.
		田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	Š	+					+	\rightarrow				+-		+	横	*	政	-S	-	——	数 8-銀	板	 	板	_	板板	-		+	一
	石雲	+-	数		-	¥	M-W 教			-	₹ 後 荒	1-		-		¥-1-数		7	-14-	 	+		-W	762	×	#2	#-W	#	*	一一	_	
監		30	Ø-M-	4 -1 - #	-		145		W-₩	4		M-微		M-W		M-飯		M-₩		W-W	W-僅		N-锁		W-探		N-锁		新-F		M-僅	
	赋	-	M-後	W-W		#	M-报		N-僅	-	—— 後	1-僅		M-00		ф-W		1-報		M-俄	M-僅		年-1		#-W		N-株		N-探		₩-₩	
		30保	—————————————————————————————————————		田 .	<u>-</u>	± ± ±	H H	¥ .	H :	<u>N</u> 语	# ±	E ●	₩ ₩	#	1-僅	田	<u>№</u>		M-僅	ф-Ж		W-W		M-8		₩- ₩		-₩			
	石	機鼯	M-微	M-稀	_ -	-	M-僅		₽			M-銀		M-僅		₩-₩		M-僅		M-彼	M-僅		M-僅		∰-#				W-#			
	ブラス	30保		多-8	mx																		S-倕	画						****	S-稀	迴
	火山ガラ	裸眼				-																									0,	
	护	30倍						***************************************						-				-														-
	北	機能					-			+																						\dashv
	<u>-</u>	30倍			1		T			T		T				雅-1	亜角															-
日	チャー	裸眼					+			t		凝	亜角			1-7 4 1			1					+								
	业	30倍 #		-	+		-			+		×	HH	-	-		Ħ		+					-		1		-				
		裸眼 30			+		+			-		-					-		-					-	,	-						_
	岩泥	-			+		-			-		-		xir:	,m																	
	-14	夏 30倍			-		-				-			L-#	亜角				_					1								
1	(2)	(推照)																														
班	123	30倍																													·	
	峞	裸眰																														
1	业	30倍																														7
	民線	裸眼	4.00							T									1					1								
-			W-W 後 年	M-W	ET \$2	 € Œ				\dagger		雅-W	無	W-探	年	P-健	更	M-w	E	雅·伊	W-继	無	年 1	田		1	愈-1	無		-		
1 1	141.		五種一] —]	軖	級 -M	E		L-稀 M	無	W-W			田	~	-	M-W 第一年	×	-		-	雅 4	E			N-稀	角		-
	種		(弥生 [留			T +4	4		H	F	7	4- PA					野~	_	· W	開	1		-+		1			*		祖	\exists
	n 14		<u></u>	器種不明	(米)				中間	(大門末) 聖 緒 子 田	『 無 イ 』 (大酒系)			器種不明	(大洞系)	甕 (弥生	中類)	器種不明十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	米国人		器種不明	(大洞系)	器種不明	米奥人	器種不明	米里と	器種不明	(大洞系)	器種不明	(大洞系)	器種不明	(大洞系)
	2 uh			 	2		#	-		바		B			-		-			送	-	+						+		-		-
	Į H		⊠ A Ltvtgi	256	5	- 7	163	ŏ	215		259	026	717	136	107	326		310	- Control of the Cont	145	174		189		190		196		197		201	
	出土位置		2 層	5	お事品十	(SW) 1	土器集積	(SW) 1	上器集積 (SW) 1	-	2 國	18		18		2	- 1	4 層	1	土器集積 (SW) 1	土器集積	(SW) 1	* 横.	-	集積・	1 1	無償 一	-	集積	-	集積	
	표		無	無	+	S	十	(S)	H 5	3	無	拥		#	- 1	##		無	-	工器 (Si	器十二	S)	上路集櫃(I (MC)	上器集積	5	上器集積	(SW) 1	一士器集積	(SW) 1	上器集積	(SW) 1

	厗		rs .	rg	l a	rg	P	q	p	Q	T .		l a	rd -		l a	Τ_		Τ_	
	歡		N	IV 8	IN 8	IV	IN	IN	IN	IV	IVb	IV b	>	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	Va	>	Va	Va	Va	Va
蘇			単	単	棋	兼	単	兼	棋	棋	棋	兼	単	単	棋	無	兼	棋	単	棋
	日	限 30倍																		
	石	倍 裸眼	逦	趰	趰	1 000	 	兼	≱ ⊞I	歉	舞	榖	#	44	44	毌	#	44	44	#
垫	臤	艮 30倍	重 S-僅	■ № 僅	S-健	重 M-僅	图-S	数 S-寒	B-S	数 S-赛	æ-s	家S	11-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	M-36	¥-₩	#-W-菲	#-	8-8	L-3	非-7 [
	母	き 裸眼	稀 W-僅	後 M-僅 板	雑 蒑	X M-僅	42 12	新 M-000		A M-碳	4× 1×	-W -12	M-僅	一	雅-W 3	M-僅		M-後	M-僅	45 12
	ctı	見 30倍	条 茂	¥	-S	2	-W	8 S-雜	VIE IN	A S-稀 7	A S-後	\sigma_s	<u> -</u>	2	6 M-街	M-僅 板	-S	2	S-稀 板	¥−₩ ₹
	石	き 裸眼	x4E	×	*	A	<u>-</u>	M-稀 板	h-稀 板	M-和 被	M-稀 板	*	M-h 被		4-7 年 夜	×	N-稀 板	ļ		N-稀 板
鉱		30倍	雅-S	雅-S	更-7]	雅-S i	-M		雅-W			₩-₩			雅-W	雅-S		M-W	M-彼	
- }		裸眼	級-M	雅	W-健	———	雅-W	新-M-	#-W		W-雅	M-雅		雅-1	W-W	M-微	W-僅		M-後	雅-W
	英	30倍	M-8	±-¥	₩.	M-W	W-∰	#-W	+ -1	₩.	M-3	₩-₩	W-W	雅- S	雅-J	WE-W	年-7	W-雅	<u>+</u> -1	級-M
	口	裸眼	W-僅	一.	~	M-7#		W-僅	W-僅	M-級	₩-₩	M-⊛	雅-1			M-W		##-W	雅-1	
	ガラス	30倍		W-W 飯 回		** 簡	S-s 糖 疤													
	火山ガラ	裸眼																		
	业	30倍																		
	址	裸眼																		
	ے ا	30倍								M-稀 亜角	N-稀 用角	S-新 無								
中	4	裸眼					4-1			M-稀 垂角	二二二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二									
	业	30倍																		
	兇	裸眼																		,
	ЭĮĘ	30倍																		
	金	裸眼																		
- 1		30億						M-稀 角	雑 角	M-微 角										
	1X.1	機服						-		L-帮 無	作 田									
- 1-		30倍 ‡									M-W 二 年									
- 1		裸眼 3									Z									
- 1-		30倍 拇			雅-M			N-稀 角	L-稀 角	M-雅 角		集 年					雅 便		新 年	
	40H F	裸眼 30	W-W 後 年		×			W		L-稀 角		-J 年	雑 年	维 年	後 年		L-僅 角		<u> </u>	雅 年
	種	粒		新 公	(3)	野企	私	林	_T		新 記 記	+	- <u> </u> -	<u>-1</u>	- <u>1</u>	野の		野	野田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	-] *
	器		器種不明 (大洞系)	器種不明 (大洞系)	器種不明 (大洞系)	器種不明(大洞系)	既	籢	斑	器種不明 (大洞系)	器種不明(大洞系)		账	账	幾	器種不明(大洞系)	器種不明(大洞系)	器種不明(大洞系)	器種不明 (大洞系)	践
4	8 # 2 m		308	309	312	320	130	153	159	214	264	325	23	117	144	179	185	202	210	227
	出土位置		4 層	4 層	4 @	4 圖	上器集積 (SW) 1	土器集積 (SW) 1	上器集積 (SW) 1	上器集積 (SW) 1	<u>ه</u>	2 🖩	上器集積 (SW) 1	上器集積 (SW) 1	上器集積 (SW) 1	上器集積 (SW) 1	上器集積 (SW) 1	上器集積 (SW)1	上器集積 (SW) 1	S B
	표		無	胀	無	無	T SI	±#	上器 (SI	上書 (SI	無	無	H S	TH S	TA SS	TH S	H S	TH S	TH S	無

	料	П				Τ			. T		T											T		_	Т		T		_		
	型		Λ		Va		> a	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		Va		Va	Va	Va		Va	V	2	Λ	.a >	Va		<u>م</u>	ΛP		Λb		ΛÞ	Λb		ΛÞ
菜	+1	蜾	#	1	棋		#	崩	E	単		棋	棋	単		棋	#	#	Ħ	ij.	棋		#	棋		単		棋	#		無
	柏	30倍							Ī																						
	型	裸眼																													and the second
		30億	£-1 €-1		¥-%	8		W-8		₩ —		#	%-₩	来 		L-3	S8		₩-W		8S ₩	M-8	鈪		建	% ;	锤	S-8 種	M-76	页.	w ≆
愁	ĸ		N-中 L		# 			W-₩	-+	L-多-J	-+	W-僅	M-⊛ 	M-38	-	J. ————————————————————————————————————	S		*		N-⊞	M-th-M		W-⊞	-	W-₩		₩ ₩	W-⊞-W	+-	#
	母			敬		+-	-			-	-+		-	-			-	放	裵	板	S-健 斯·	+					-+	S-S 飯 茂			S-8 飯 茂
		艮 30倍	-W		斯 W-銀	V.	•	*	-	느	数	M-w 飯 酸	価 M-後 板 板			■ N-俄	数 N-中	極	中 S-微	粒	-S					-				-+-	
	制	5 裸眼	k M-稀	-14-5	#-W # #	-	一一	×			_	-b	-W		-	A—任	M-⊛	442	中-W €	**	vie.	A-微		*		一 一 一		₹	¥		M-M- 簑
鉱	白	30倍	N-微			N-第		N-探		W-雅		L-碳	W-稀	器-S		辉-1			W-W		雅-S	S-S		雅-S			-+	健-S	雅-S	4	
	烕	裸眼	年-7				1	W-探				M-僅				[]					W-僅					雅-W		雅-W			W-W
	粜	30倍	雅-W		M-僅	S 每		(A)		雅-1		一種	雅-S	æ-S		雅-W	雅-S		M-僅		雅-S	W-健	!	L-後		T 種	,	W-W	¥-₩		雅-S
	日	裸眼	W-#			W術	<u> </u>	1-銀				N-₩					雅-W		[-報		N-微			M-鍛		雅-W			雅-W		
	ラス	30保	æ	Щ		Ī																									
	火山ガラス	裸距																													
	並	30倍																							1				-	1	
		裸眼 3(+			-						-												1			\dashv	
	不不不	30倍 模				\dagger					1				-										1		1			+	
中	1					+					-				-							-	-		-					+	
	和	中 裸眼				+									-							-			-					+	
	314	夏 30倍				-									\dashv							-			-		+			-	
	吲	裸服				_								-																4	
	犻	30保																													
	念	棋題																													
	驰	30倍																													
111	流数	裸眼																													
	JIP	30倍				+																					1				
	談	裸眼 3				+		-														+			-		1				
	部配	30倍 排	雅-W	毎		淮	E #E	-		雅	毎	# 年				L-稀 角			雑	無		+				#-W	年			+	
	堰	-	-W					+	榧	-W			雅 伍	-		<u> </u>	 	無	-		邇 4	r A#		X8€		******	Æ		雅 :	H	
-	拓	横腳		—— И	m -	**		×		<u>'</u>		<u> </u>	×	-		EF.	是 [-報		三 1-後		-	-+-	+4 1 ===================================		-	雅	-	14	建 ₹		₩
	揮		2	は	器種不明四方國子	7	盘	*	Ä	森	(長原式)	林	器種不明(大流交)	器種不明	(大洞系)	器種不明(大洞系)	深鉢(原	A	(弥生	<u>-</u>	(弥生		益	林	'	热		林	林		表 な (大酒米)
	器		,	迷	器和	5	账	B	迷	账		账	器十	器	<u>ل</u>	器火	総	万層共)	糊	- 日本	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ř H	账	黙	2	账		践	账		<u>美</u> 大
1	翼		100	235	267		294	900	967	298	2	299	317	318		319	9	324	000	330	331		49	92	2	63		102	104		187
F			1	1	PEO	+	m		8 0	Œ		Œ	뛢			TEN I	1	80	i	10	180	神	<u> </u>	類	-	養養	_	≢積 □	長時	_	集積 1
	出土位置		1	iC 無	紙5		第	1	# T	強		無	第 4	継		無		形	1	.7 张	無 2	十器隼裙	(SW) 1	土器集積	(SW) 1	土器集積	(SW) 1	土器集積 (SW)1	上器集積	(SW)	土器集積 (SW)1

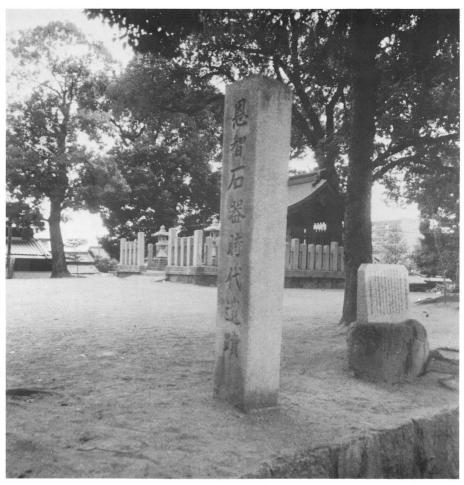
	型	1										-		П				T				T								T		T		T		T		1
	ጟ		γ		Λ	-	N N		\ \		Λ		Ν	-	Λ.	-	Λ		Λ	-	ΛP		Λ	-	M	!	M	!	IA		IV		M		M		M	
	+	虹	#		#	1	#	Į.	#	ŧ	棋		崩		#	1	#		用	Ĭ	単		#	(崩	[崩		#		単		棋		単	I	棋	
	口	30保																																	and the same of			
- }		権照																																		1		
- 1	四日	30億	S Ø	田	S ポ			日徴	S 8	服	W-非		S W	領	上	銀	#-W	田寒	<u>N</u> -₩	田便		-+	₩-#	-+	M-7		₩-₩		W-非	-	₩-₩		₩-		<u>~</u> ₩	-+	 -	
-	無	権服	W 数		W-僅		₽-1		N便		₩-₩		₩-₩		<u>₹</u>				¥-%		MW		M8	-+	雅-1				雅-1		<u>~</u> ₩	-	₩ -W		 		M-個	
	団	30倍	S 画	政	雅 S	蒑	N-微	蒑	N-僅	類	W-僅	極	S-8	厳	雅-S	梴	¥	Ф	S-報	极	多-參	政	多-多		S-⊛	極				-+	S-		雅-S		ς	_	M-僅	- 1
	槲	裸眼	W-倕	梴			M-微	敬	N-銀	極	W-僅	觙	<u> </u>	極			W-僅	極									W-僅	類			N-僅	-			# #		M-M	<u> </u>
鉱	日	30保							æs		æ S		M-鍛		W W		雅		紫- 8		W-W		M-彩		M-飯						W-₩		雅-S				二	
⊕	政	裸眼			雅 N		W W								W 独		№僅		N-飯		1-舞		W-₩		W-僅						 象		雅-W		W-W		二二年	
	揪	30保	S 🕀		æs		雅		N-锁		N-微		雅		M-鍛		M-飯				M-⊛		M-彼		₩-₩	雅	M-僅	E-僅	N-敍	田銀	∰-₩	飯	S 寒	建田	M-W	±2	₩ 微 凝	110
٠	石	裸眼					æ		雅 雅								M-銀		雅 雅		N-破				1]()				M-僅				雅		雅	
	ラス	30億					æ	Щ																														
	火山ガ	裸服																																				
	业	30倍																																				
	北	機能																																				
4	<u>د</u> ا	30倍																																				
7	4	裸服																																				
	扯	30倍																																				
	诟	裸眼																																				
	ЭĮФ	30保																																				
	3	権服																																				
	ЭĮФ	30億																																				_
护	流紋	臣	-																																			_
	班	+	-																																			
	思禁	裸題	-	-			T																															
	犻	30保	+				2年-7	無			雅-S	毎				•			#-W	無	雅-W	無	雅-1	無	1-個	無	[雅	年			雅T	無			年 :	#		
	花面	Щ	_	年	W-雅	無	+	毎	/- 雅-J	無	 	無					雅1	無		無			W-操		+ -1	無		無	N-株	無	雅]	-				\neg	雅 #	Ę
	煙	1	-		 		一一		1	总	*	4	画	<u> </u>	不明	₩ ₩			画	_	(弥生		(弥生		(弥生		t	4		※	*		人 現		**		(弥生	
	器		器種不明	(大酒条)	器種不明		深鉢	下層式)		迷	4	ĸ	深鉢	下層式)	器種不明	(大洞系)	器種不明		淡珠	万屬以)	闕	日本	林	中類)	>	中類	Ŗ	K	器種不明	(大酒茶)	别	\$	器種不明	(中華社)	账) 注 数	£
1				202		218	000	750		733	CHC	007	000	200		722	200	167	100	321	290	670	999	555		170		#	100	001	9.41	147	988	2	284		328	
	出土位置。		七器集積	(SW) 1	土器集積	(SW) 1	土器集積	(SW) 1		無い	# ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## #		,	の配		肥	-	五 元	,	升 画	· 加		1	型 2 张	0	7 元	土器集積	(SW) 1	土器集積	(SW) 1	加	ס	題	,	年 4 厘		第 2 層	

	科							.		T		T		T						Τ		Τ		T	T		T		T		T		Τ		Τ	
	粟			M			WII.a		WI a		Ма	!	ΜII	M S	2		VII a		Μa		Мa		VII b	MI b		MIδ		Q IIV		MID		MIÞ	E	Q T	:	F
载	+1	7		#	Ħ	ŧ	排	•	#	[棋	1	#	排	É	Į	II.	1	Ħ.	1	# #	1	#	単	1	棋	+	#	+	#	<u> </u>	#	ŧ	 Щ	1	#
	力	題 30件		-					***************************************																											T ALTERNA
	石 輝	幸 裸眼	-		NV.	→		***		- X-E	7 vis		-de-			_			.45	ļ.,		ļ			_										ļ	
4	問名	30	-			田	¥-₩	-	<u>-</u> -		- 2		田寒	₩.	田館	#-S	田部	张-S	佐田	₩-₩	銀	ポ-S	田寒	-	5 6	8 6 6	□ 	(E)	. ^	田飯	S W	田寒	S 8	冠	11-非	
	租	模距			₩-₩		圏		M 服	- F	 =	L-H		¥-%		W-僅		M-8		M-8		₩ -₩		□ -1	1	 	1-8		N-僅		₩ H		₩ %		1-3	
	中	30倍	w 数		W 健	検	M 鍍		[] ! ≥	大 美	医病	¥ +	Ŏ	N-探	政	M-微	蒑	W-僅	Ŏ	题-S	敬	S-僅	쩑	雅-S	2	三 年	S-w	敬	W-僅	蒑	M-飯	敐	M-锁	蒑	S-锁	12
	槲	裸眼			M 画	政	雅 W		∏ ! ≥	版 第	東京	M	核	通-W	梴	W-僅	敚	#	敬			M-锁	厳		#	三 年	<u>≼</u>		-1	墩			 	政	N-飯	
	冶	30倍	推						世	2		雅		N-缆						S-赛			******		T		W-W		N-锁		·L-赛		M-微		N-稀	
鉱	畝	模眼	WE WE				M A		舞	表 N	<u>₹</u>	雅-7											-	-7	T		M-後 N		N-報		N-僅		-		N-探	
	帐	30倍		維	(多)	緩	雅]	-+-	定 t	福福		蛐	簸	L-1	飯	N-锁	鉋	[]-雅	辉	翁	飯	S-赛	鲥		· 美	E 12		W/	珊	锤	 	垂		邇	M-稀 M	飯
	石	裸眼	-	LEI			雑		E (滋	 }	=	æ	雅	(E)	雅	ш	T 大概1	Œ	S S	teri	S=-T	[22]	L-飯 M	N-18		3 00	(m)	×	Ex	M-僅 [-	Ex		<u>.</u>	×	E±.1
	K	30倍 持	-	-	雑	100	×	1		×	-			×	-	雅	Щ	스		×					+	=	+-				-W		M-微			
	火山ガラ	裸眼 30	-		S	-		+		-						×								**-S	-		-	*******								
	加入					_		-				-							-						+		-									
	214	录 30倍						\downarrow		-															-											
	不不不	5 裸眼						+		-															-											
中	1	1 30倍						1				-															١.									
-	+	裸眼				1																														
	亚	30億																																		
	읾	裸眼																																		
	啡	30保																																		
	金	裸服																								-								1		
		30億				Ī					~																									
1/U	ÆΙ	裸眼				1									\dagger		1	-	1			-	+											-	雅-]	田
-	-	30倍				+		-							+		+				-		+				-		-	-		+		+	<u> </u>	\dashv
- 1	虚と上	裸眼 3		\dashv	-			+					+		+		+		+		-	-	-		\vdash							+		+		-
-		30倍 拇		\dashv		+		激	£ 4E	建	年	徙	町				+	-	-	雅	田		+		-				X I E	毎	**	*		,	4E 1	
1	阳上			田	姓 £	Er !	у н	21 / 28 / 1			毎	M-稀	4		,	ale s	EF :	4E ,		<u> </u>	_		JET .	eru, sab	v4r	dre		-	¥		ý L-鍛	-+	de l		生	_
	種		스	-		1	(株) 12 14 14 14 14 14 14 14 14		禁	-		مد	-+		Ĥ.	性 4	-+	作 1			田 :	⊛-7 × ⊛ 1	-+	 編 年		無				-	<u> </u>		<u> </u>	E		_
,	14-1		(弥生		4M		d₩		d₩		∯ Hei	盆		盘		禁	11,	多。	_	高坏(弥生		林		為	器種不明	(大洞系)	器種不明	(米寛米)	森		益		盘	1	站在个玩	(米厘米)
	## 		糕	## ##	账		践	-	送	Į,	K	账			-		1	H H	£	高 -	(新 田)	戕		账	器種	K	路	R	账		既		账	27	格	3
期	神中		334		37		46		146	000	677	238		245		248		332		336		105		110	0	183	186		273		275		289		200	
7	土位直		2		上部集債 (SW) 1	1 / 1	H路集價 (SW) 1	十器集緒	(SW) 1		0	5		5	Ī	DE C		2		2 屋	1	上路渠墳(500)	(SW) I	土路無債 (SW) 1	土器集積	0 1	上器集積	-	4		4		4	# 17# # 17#	H \$\$ ₩ \$\vec{\text{M}}{\text{Coll.}}	1
-	H		無		H	2 =	H	+	S	#	- 1	無		無		無		無		無	5	H	5	H HS)	器十	(SW)	出	(SW)	無		無		無	1 40	H H	5

	田		Γ						ય	初7	1 4)7)	初初	T :	75	7	777	3	"	3	777	3	声	3	E 173	312	1	7177	Т	312	1	淵	Т	777
	凝		!	₩	15	Ħ	1	#	区分不能	区分不能		区分イ肥	区分不能		区分不能	1	X分 大能	1	区分イ肥	1	X分 不能	1 2 2	△ガイ形	17.7	ムガイ肥	M X 4 X 积 X		区分不能		マケス部		区分不能		区分不能
载	+	乗	1	#	Ħ	ŧ.			無	単		 斯	単	-	#		#		 #		 熊	Į	 #	┼	- #	#		#		#		単	_	#
	冶	30保																																
	葷	棋題																											1				T	
	冶	30保	1-#		S-僅	彩	M僅	雅	多8		雅-S	彩	₩-₩	发-S				W-僅		#-S								S-#	+	能-S			雅-S	
松	<u>E</u>	機能	1 -₩-W	-	0,	,	-	ш	03		M-锁 S	(x)	M-微 N	S				N-彼 M		M-稀 S		-		-			-	S	+	S			S	
	母	30倍 特	M-微 M		S-後	殸	雅-S	極	#-W	≱ 	S-雅 W	板	S-後 M-	4		雅-7	放	+	敬	×		進	極	雅	蒑			変 ⅰ	段	生	政	年 花	() ()	12
		裸眼 30	M-僅 M-			敬		極	M-級 市	<u> </u>	+	板				-	敬	稀 SW微	放			-S		-	展			多-S	-	程-S-健	-	S-S-新希	S-S	市
	石		-		×				-W		垂 N-稀		느			N-後		W-W				-		M-锁		x4E	-			新-W-精	-	×4E	+	
誤	. `	艮 30倍	新-W-新		数 N-稀		新-M-稀			vdr:	¥ M-僅		聚-S	-		-		_		-J				v/r		(F M-探	_	.ml		M-便		-S-雅	_	
	兩	計 機能	#-W		. M-微	1 mal	W-報			W-探	I M-俄			-						M-微				W-W		N-級		W-僅	-	¥-⊛		#-W	1	
	承	30保	W-W		₩ <u>-</u> 1	E	[]	H H	-1 ⊕-1	a	W-僅		W-稀	₩-		W-稀		N-微	雅	₩ -₩	田田	N-W		N-銀		M-微		W-僅	1	W-優			S-飯	
	日	裸眼	年-1		#-1		₩-₩		W-僅	M-W	N-微			1-銀						M-W				W-探		那-W						N-排		
	火山ガラス	30倍									雅-S	皿						雅-S	Щ															
	火山7	裸眼																																
	护	30保														T													1					
	北	裸眼															***************************************				tronson.								\dagger				1	
	<u>ا</u>	30億					#-W	亜角			T				-												1		T				T	
Φ	F + -	機能					_																						1		1		\vdash	
	驰	30倍					-	-	-																-		1		-		+		-	
		裸眼 3															***************************************										+		+				-	
	船	30倍 構						-			-			-													-		+		-		-	
								-		-		-											_	x4E	4		+		-		+		-	
	船	10倍 裸眼				_												x4F	JIT.	xd=	лг			雅-1	亜角		+		-		1		-	
- 1	赵	0.5	vie:	.mc							-							W-W	(III.	M-F	亜								_		1		_	
- 1	旭	30倍 裸眼	[-一稀	田角							_																		1		1		_	
	额	30億																																
	民	傑眼																																
	如	30倍	W-班	軖	Y-1	田	W-雅	田			年-7	無	第 年											雅-1	無				12.5	M-46	E			
- 1	花壐	裸眼 30倍	雅-1	毎	雅-1	無	雅-W	無			W-W	無	雑 角			W-稀	角			進-1	無						ı							
	価				*			₩ 	私	益	*		林	て明	₩ (¥		(张	田田			(¥)		(X)	いい	()	野に	¥ !	三 2	1	 F (デ (学 (学	く明	(岁
	器		器種不明	(大洞系)	既		器種不明	(大洞米)	账	搬	#	٠	羝	器種不明	(大洞系)	器種不明	(大洞系)	器種不明	(大洞系)	器種不明	(大洞系)	器種不明	(大酒祭)	器種不明	(大河米)	器種不明		路植不明(十)	に関末と問題を開発し	を使った。	米里と	器 種 不 男 (大酒祭)	器種不明	(大洞系)
	2 0	,	250	20	287	-	315	1	42 %	161	169	_	164 海	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		181		188	\dashv	192	-	193	-	98 198	\dashv		+	508	ļ ē		- -	212	913	
	9 H	B		_		4		4		-				_											_	207	1			211	1			j
	出土位置		u	۰	4		4		土器集績 (SW) 1	上器集積 (SW) 1	土器集積	(SW) 1	土器集積 (SW) 1	土器集積	(SW) 1	土器集積	(SW) 1	土器集積	(SW) 1	土器集積	(SW) 1	土器集積	(SW) 1	土器集積	(SW) 1	上器集積	7 (1)	上部果横 (SW) 1	1 日本	X X X X X X X X X X	1 (%C)	土器渠墳 (SW)1	土器集積	(SW) 1
	<u> </u>		Ħ	R	無		無		ŦĬ [©]	H S	111	S.	÷ F	1	ડ	#	S	#	S	#	S	#	S	#	S	# 5	2	# °	1	٦ ^ج		T S	+	S

	副		777#	万小形	マハナ米	ガイ語	マムス能	ガイ馬	マント生	JAN HE	マムナ鉄	7) JYRE	ロントイを	ガイボー			斑糲岩の	粒有り		
斑	十	Lean.			-												斑	拉		
並	五	帝 塊	#	#		# 	#	E	#	₩	Ħ	*	Ħ	ii ——						
	14	30保																		
	型	裸眼																		
物	問 石	30億	S 後	出	¥-8				W-W		週 -S		W-探		M -S		-1 86		W-僅	田雅
	角	裸眼			W-数				W-探				W-₩		N-锁		-J		年-7	
	中	30保			雅-S	敚	M-鍛	敚	M-锁	極					N-Œ	敬			N-僅	板
	瞅	裸眼			N-探	厳	N-稀	蒑	¥-₩	换					M-缎	殸			₩ -Œ	板
鉱	日	30保			黎- S		₩ -₩		₩-₩				%- ₩		L-4		₩-#		₩.	
(4)	赋	裸腔					雅士		#-W		S0		W-雅		1 □		M-僅		× 38	
	採	30保	N-僅	田			⊕-W		雅-W		1-0		多-彩	雅					L-3	
	怕	裸眼	1-寒				M-倕								1-3				¥-₩	
	177	30倍	雅 S	絙	W-W		M-飯	Щ												-
	火山ガラス	裸眼																		-
	驰	30倍																		
	址	裸眼																		
早	<u>_</u>	30保					1-報	亜角												
7	4	裸眼																		
	犻	30倍																		
	阏	裸眼												-						
	驰	30保																		
	金	機能																	-	
	驰	30倍	1-寒	無																
孙	消数	機能																		
	驰	30億																		
	以談	機節																		
	3/0	30倍											W-稀	無	-1	無		•		
	抗碅	機能。	雅	毎					雅-1	無			-		N-僅 「	無			雅-1	毎
	種		不明 N		五		八明	<u> </u>		₩ ₩	八明	₩ —	7年		-	*	*			_
	맒		器種不		深鉢(原下	圖八)	器種不明	(大洞条)	器種不明	(大洞系)	器種不明	(大洞条)	高坏(弥生	中期)		5	# O Ekg	まつ はずる	き	#
	\$ 0	曲 九	-	017	-	177		\$c2	i C	100	21.0	010	200			面	各公分班分升产农共	ムしろうと	た;3.4(50)1 の曲	1 (00)
ľ		₩	5種	_	5種	_	B	ĐŪ	B	Đ	H	ĮĮ	B	B0		0	74 44 1	Į Į	7 7. 7	2
	出土位置		土器集積	(SW) 1	土器集積	(SW)		o ₩	#	£	#		c #		ŧ	ĸ	H	Ęį m	料	
					·						·							- 15	30 -	

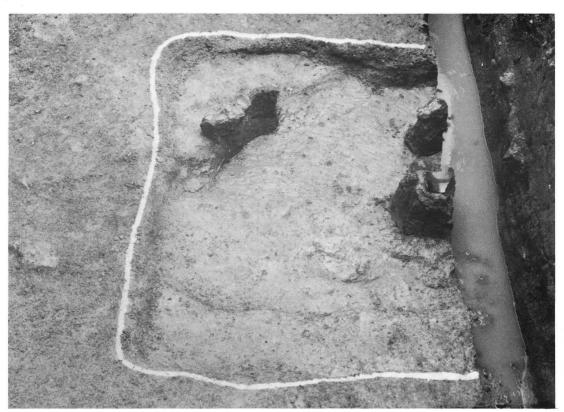
僅=量が僅か 微=量がごく僅か SS=粒径 0.2 mn未満 量は裸眼に 非=量が非常に多い 多=量が多い 中=量が中 稀=量がごくごく懂か 30倍=実体鏡の倍率が30倍 同じ —=以下の粒径がある。 B=自形あるいは 裸眼=裸眼観察



「天王の杜」風景(北東から)、石柵の向こうが調査地



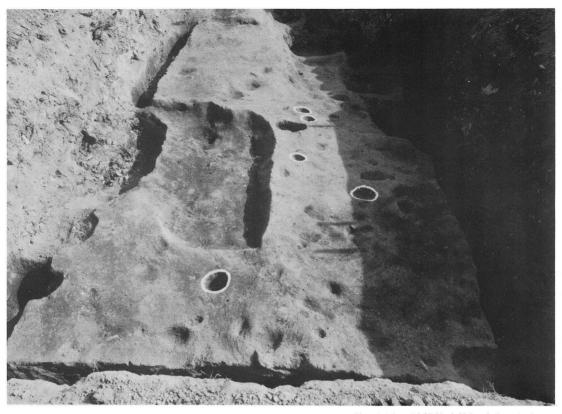
調査地 調査前全景(北から)



落ち込み(SO)1検出状況(北から)



第6層土器集積検出状況(北から)



第4層上面遺構検出状況(北から)



第3層上面遺構検出状況(北から)



第6層 ニホンジカ下顎骨(右)出土状況(南から)



第6層 獣骨(種不明椎骨破片)·土器出土状況



第6層 獣骨(イノシシ環椎)出土状況



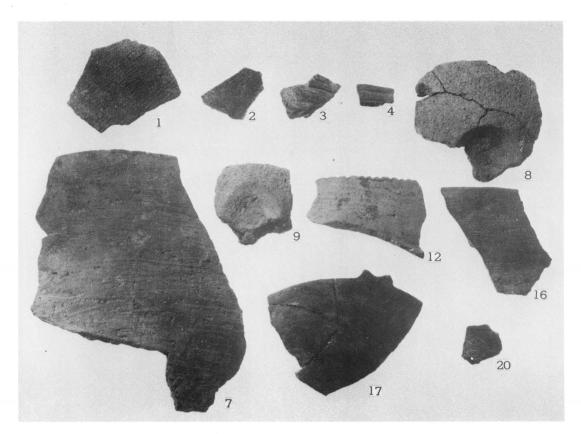
第6層 獣骨(種不明)出土状況

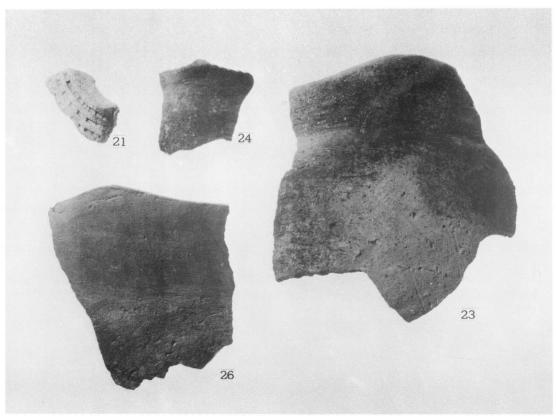


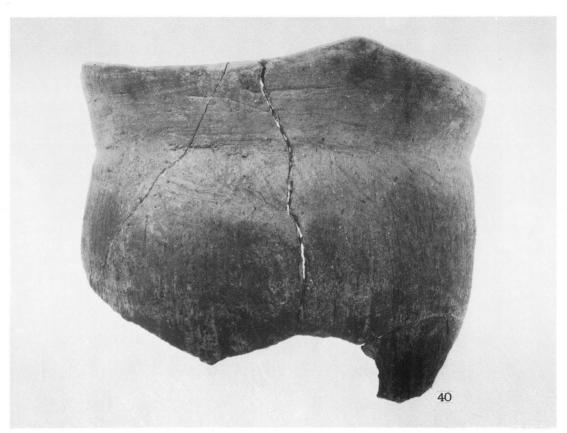
第6層 獣骨(ニホンジカ頭骨)出土状況

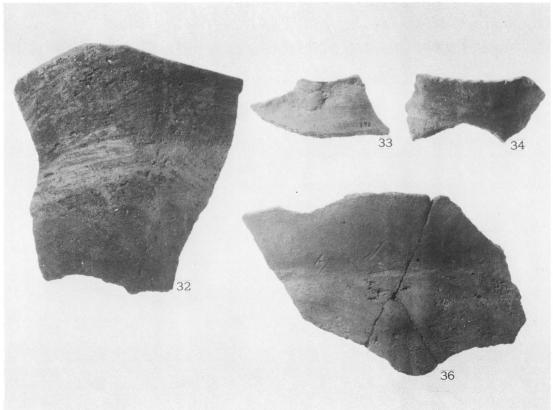


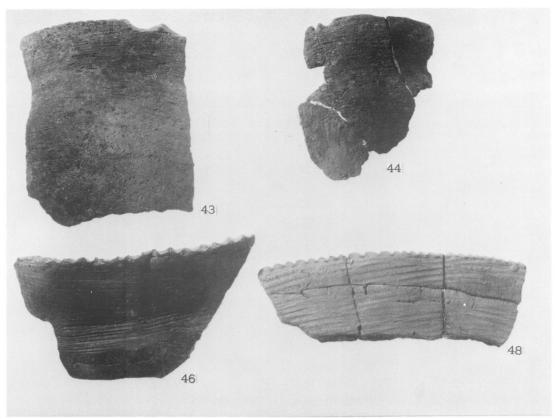
第6層 獣骨(種不明肋骨·四肢骨破片)出土状況

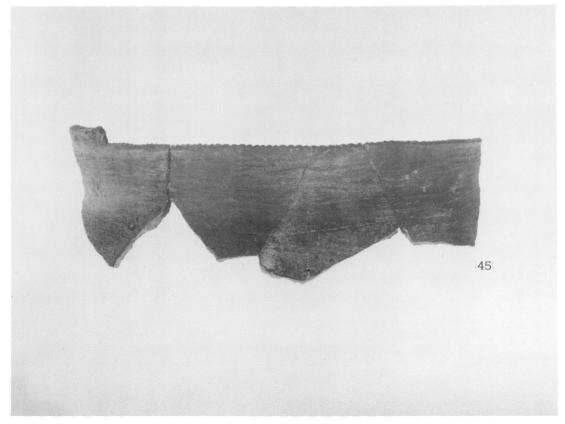


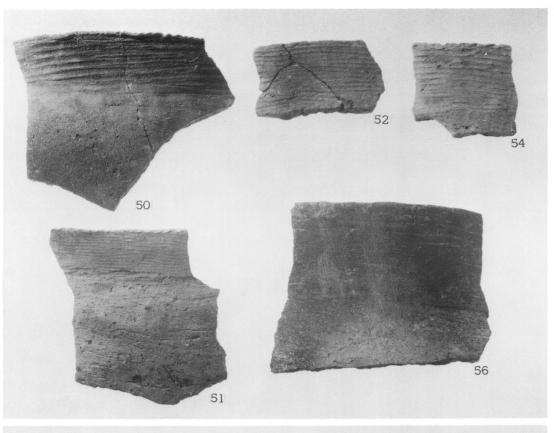


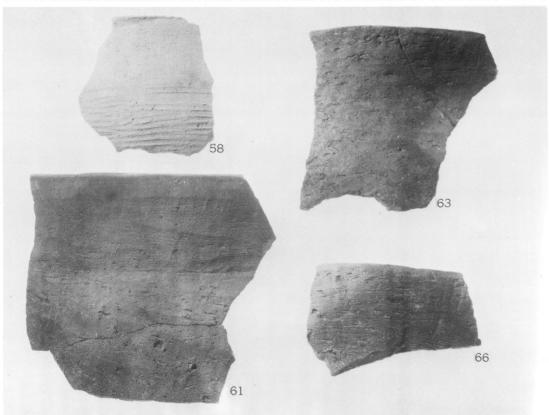






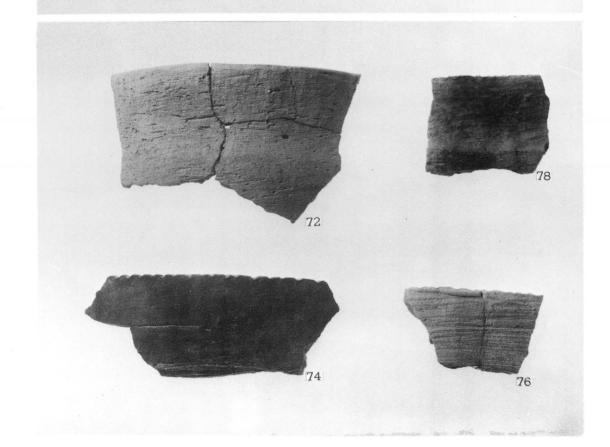




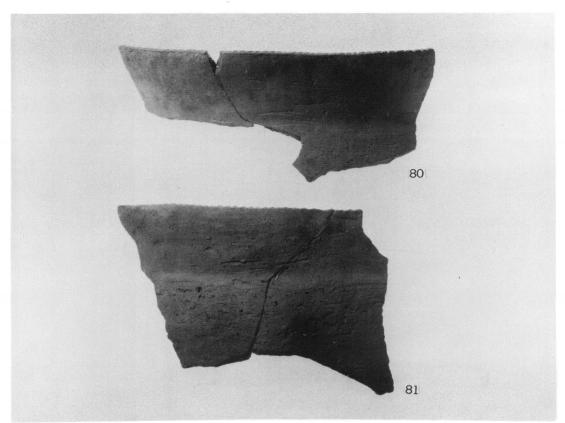


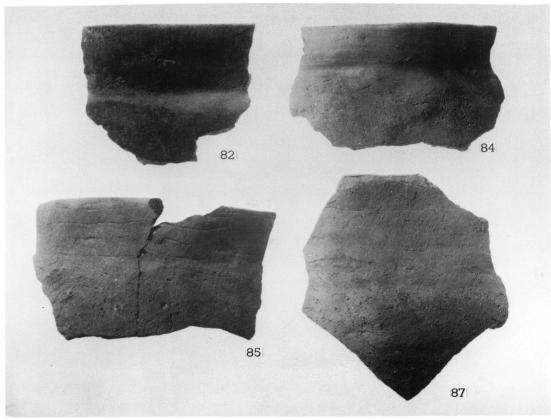


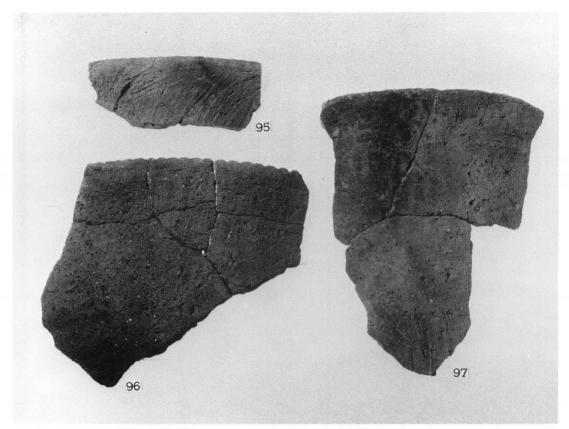


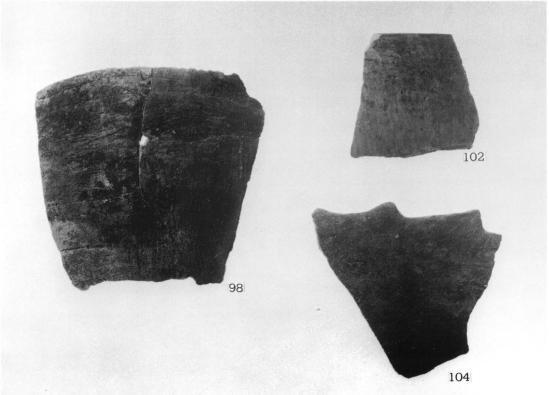




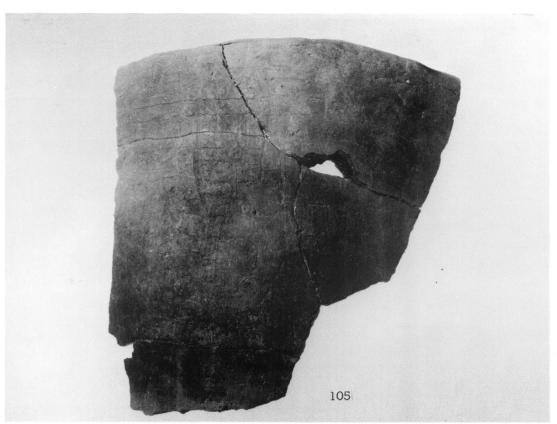




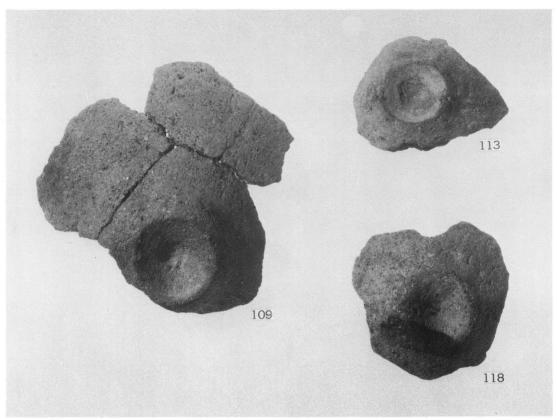


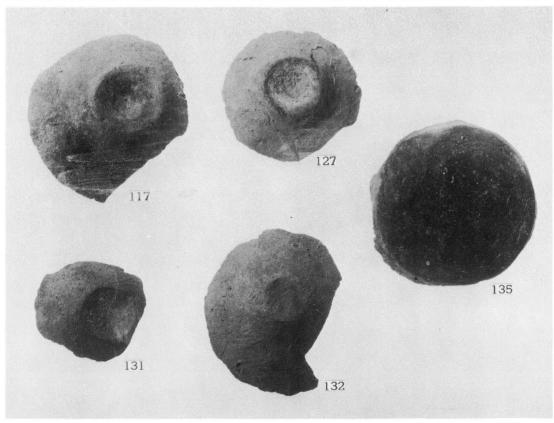






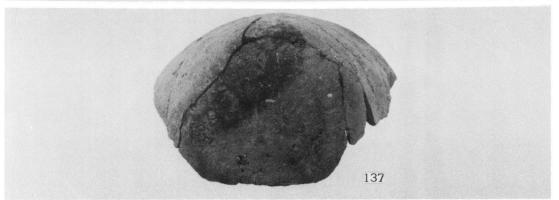


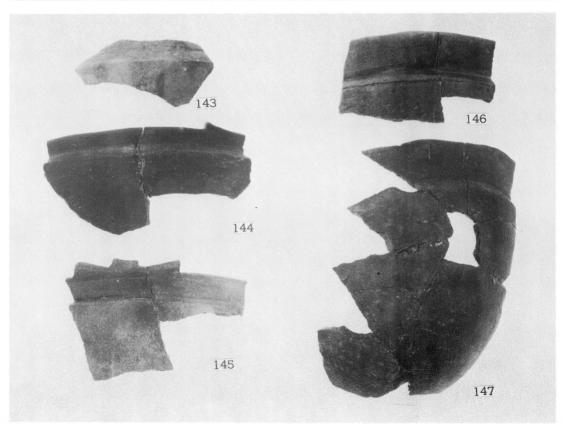












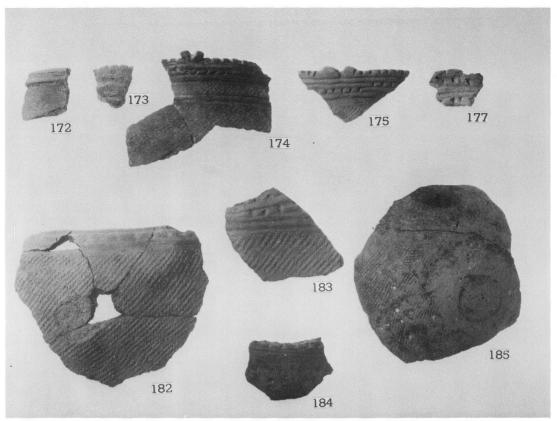


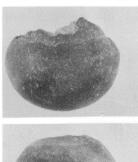




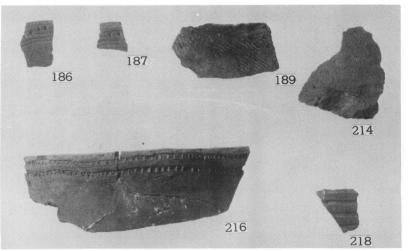


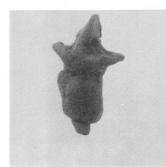




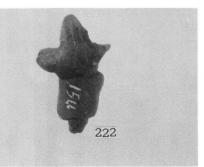


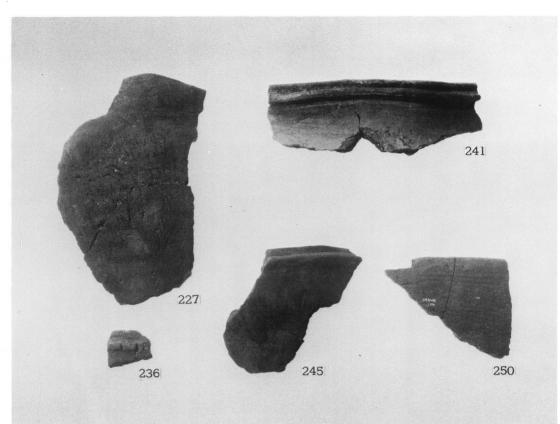


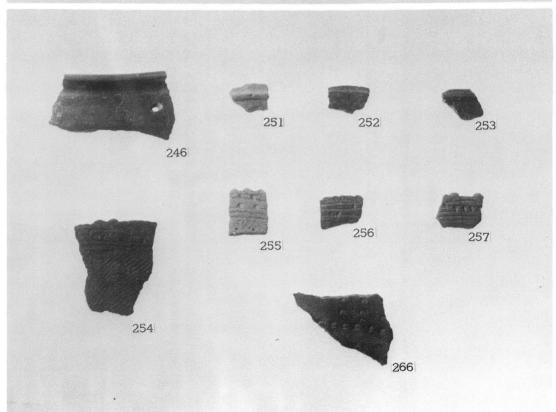


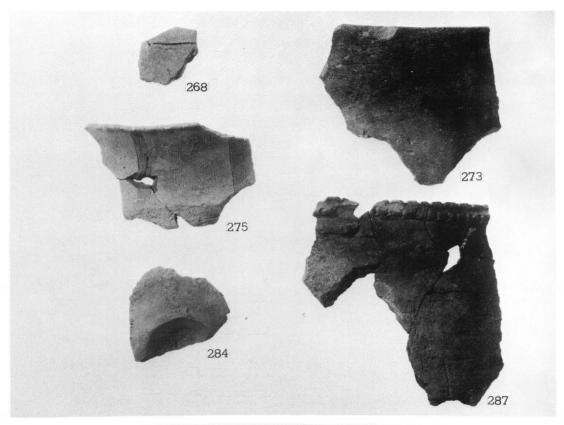


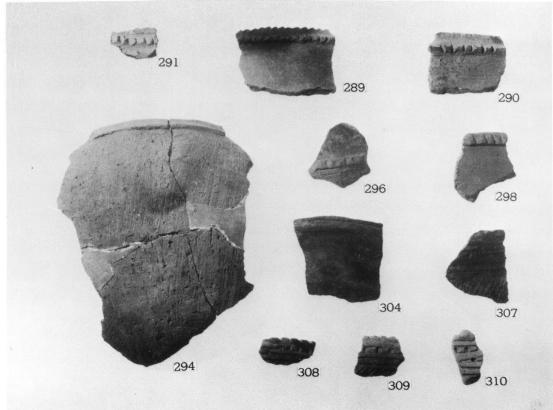


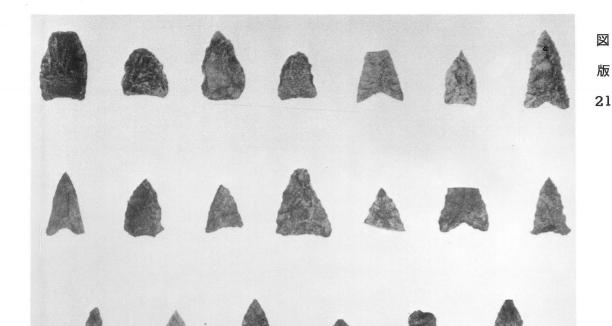




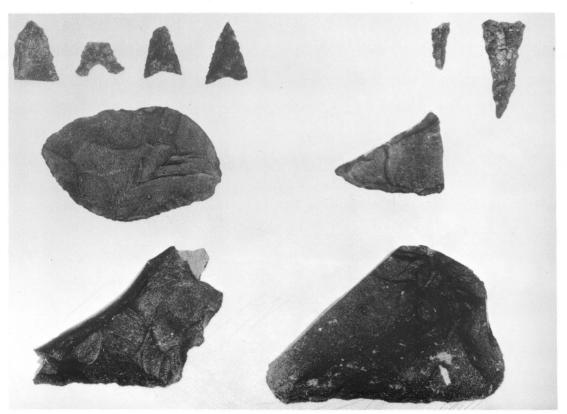




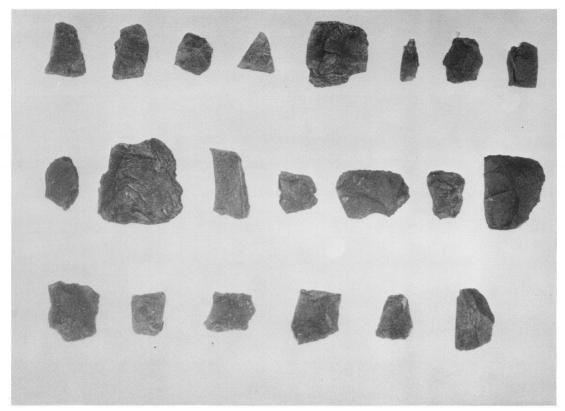




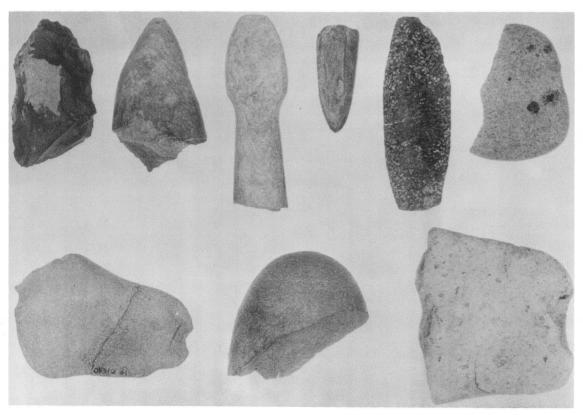
第6層 出土石器



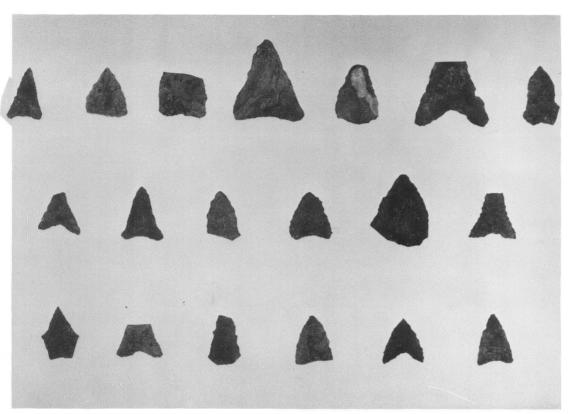
第6層 出土石器



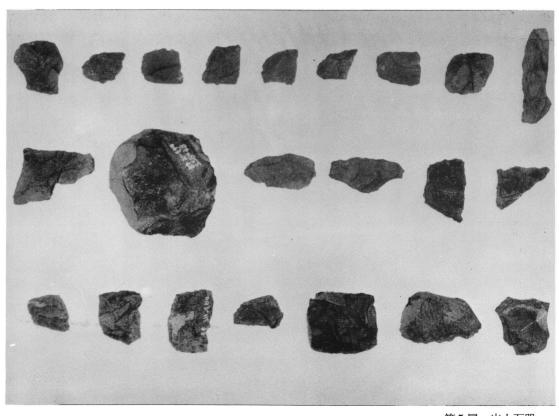
第6層 出土石器



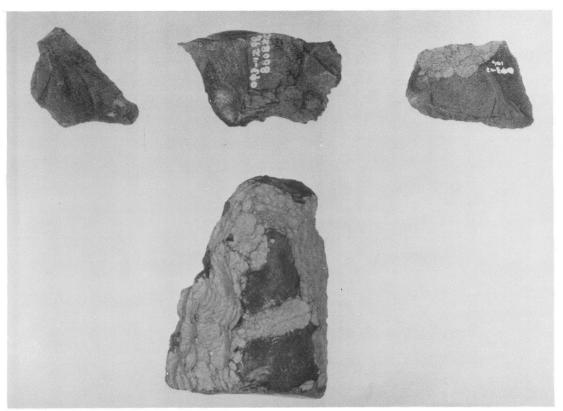
第6層 出土石器



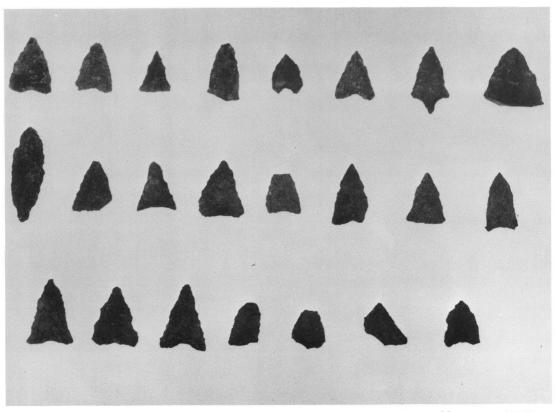
第5層 出土石器



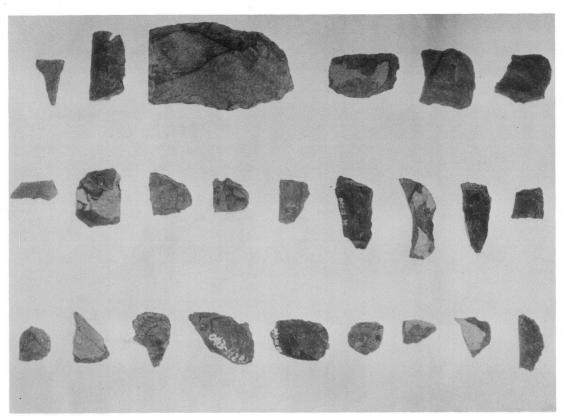
第5層 出土石器



第5層 出土石器



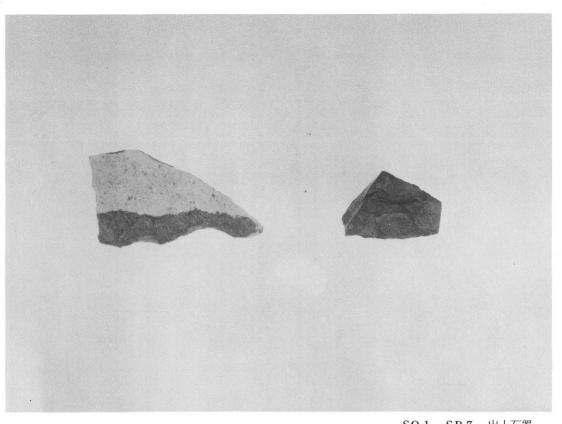
第4層 出土石器



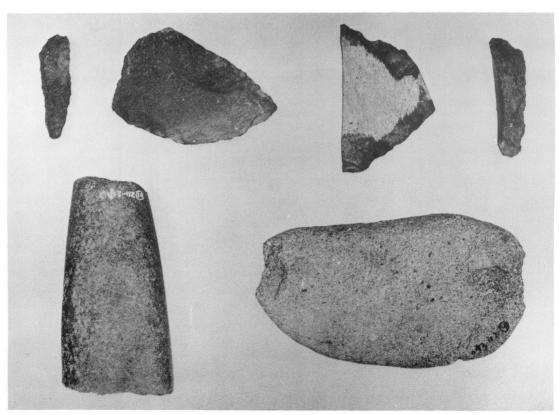
第4層 出土石器



第4層 出土石器



SO 1 · SP 7 出土石器



第2層 出土石器

